

督ヲ要スルノ制ヲ定メ從來山林濫伐ノ爲メニ砂石ヲ押流シ川底等漸次埋塞シ洪水ノ害アリ又修理ノ事業ハ悉ク等閑ニ附シ農業上利害ノ影響最モ甚シカリシモ本年其制度ヲ定メタルハ農業ノ利益實ニ著大ナリトス

千八百三年農務通常經費ハ九十四萬二千四百七十法臨時經費ハ七百二十九萬六千十四法ニシテ合計八百二十三萬八千四百八十四法ナリトス

千八百四年英國ト際チ生シ宣戰シタルトモ佛國政府ハ是ヨリ先キ内政ヲ治メ地方ニ安全ヲ與ヘ保護ヲ加ヘ以テ内外戰亂ノ跡ヲ修理セシト頗ル勉強シタルカ爲メニ農民一休ノ位置ヲ改良進歩シタルヲ最モ著シク且農業獎勵ノ方法ハ依然同徹ノ方向ヲ執リ善良ノ種馬ヲ市場ニ出ス者ニハ褒賞金ヲ與ヘ種馬ハ精撰シ之ヲ買上ケ綿羊ヲ人民ニ拂下ケ各地ノ苗樹仕立場ニハ新種ノ苗樹ヲ培養スルヲ志スラリヤ」
「農キニハンデー地方ニ瑞西國產ノ牝牡牛ヲ放テ飼養ヲ試ミタリレニ

其後益繁殖シ其成績最モ好シ殊ニ本地產種ノ改良ヲ助ケタルノ効著大ニシテ他地方ノ人民中此結果ヲ傳聞シ該國產牛ノ購入ヲ官ニ出願スル者多キニ至レリ

アレヤンノ麻製造家ブゾール氏ハ麻ノ皮剝キ法ヲ發明シタリ其法ハ列氏七十五度ノ熱湯ニ綠石鹼ヲ和シ之ニ麻ヲ浸レ置ク一二時間ニシテ其皮ヲ剝キ以テ法トス依テ内務卿ハ調査委員ヲ命ジ之ヲ試驗セシメタルニ好結果ナルヲ以テ其用法及試驗ノ概略ヲ配シ各地方官ニ回達シテ普ク人民ニ知ラシメタリ此發明ヨリシテ皮剝方ヲ簡易ニシ年々數百萬ノ利益ヲ収メ麻作ノ業チシテ一層盛大ナラシメタリ
内地ニ原野地其他不毛地アリ政府ハ全四年ヲ以テ該地ノ開拓事業ヲ起シタリ又全年ハ農作豐饒ニシテ穀物ノ產出太ク多シ商業ノ制限ヲ寬ニシ穀物ノ外國輸出ヲ許シタリ是ヨリ漸次貿易ノ方向ヲ轉シ徐々ニ自由主義ヲ執ルノ階梯トセリ
全年内務卿ノ交迭アリシヤブゾール氏去リシヤンビエー氏入りテ其

任ヲ襲ヘリ
 千八百四年農務通常經費ハ八十萬三千四百三十二法隨時費ハ二十七
 萬法ニシテ合計百七萬三千四百三十二法ナリトス
 千八百四年五月政府ニ大改革ヲ行ヒ共和ヲ廢シ更ニ帝政ヲ建テ那爾
 帝位ニ即キ那爾一世ト稱シタリ此改革ハ農業上非常ノ關係ヲ有シ巴
 里府農會ノ如キハ帝國農會ノ名稱ヲ受ケタリ又其常置委員ヲ六拾名
 ニ限リ内務大臣ノ監督ヲ受ケ農業ニ關スル一切ノ改良進歩ノ計畫ヲ
 委任シタリ是ヨリ農會ハ益政府ノ保護ヲ蒙リ補助金ヲ受ケ漸次其勢
 カヲ強大ニシタリ又新ニ規則ヲ設ケ農會ノ會議ヲ公會トシ地方官ニ
 シテ巴里府ニ在ルキハ其場ニ列スルヲ許シタリ
 千七百九十三年ノ法律ヲ以テ邑有地ヲ廢レ之ヲ邑民ニ分頭シ悉ク私
 有地ニ附レタリ然レニ其配當上ニ非常ノ苦情ヲ起シ訴訟件最モ頻繁
 ナルノモナラス地方經濟ノ利ヲ害シタリ依テ千八百五年此法律ヲ全
 廢シ分割地ヲ更ニ共有地ニ復シタリ其處分ニ甚ク困難ノ事情アリタ

リト雖モ邑會及縣令等ノ意見ニ據リテ適宜處分ノ方法ヲ定メタリ又
 邑道ノ分界亂レ修理不行届ノモノハ悉ク其分界ヲ定メ道幅ニ制限ヲ
 設ケタリ但ニケ年ノ猶豫ヲ與ヘ路傍ノ各地主ヲシテ並木ニ果樹ヲ植
 ヘシムルノ制ヲ定メ其所得ハ各地主ノ收益ニ附レタリ而テ此期限内
 ニ此植附ヲ爲サルハ官ヨリ直ニ之ヲ行ヒ其費用ハ一切各地主ノ負
 擔ト定メタリ然モ此道路規則中甚ク不完全ノ所アリテ屢苦情ヲ起レ
 後ニ時々法令規則等ヲ發シ漸ク之ヲ完行シ得タリ
 淡水漁業ノ如キハ封建時代ニハ諸侯ノ特權ニ屬シ迄モ人民ノ利益ス
 ルヲ得ザリレモ一旦封建制度ヲ廢シ人民ニ自由及所有ノ權ヲ與ヘタ
 ルカ爲メニ水岸ノ地主當然漁業ノ權ヲ有シタリ此制度ハ嘗ニ各地主
 ニ漁業權ヲ與ヘタルノミナラス其土地濫墾又ハ其製造場ノ爲メニ自
 由ニ其水利ヲ使用スルヲ得セシメタルノ効益實ニ大ナリトス
 元來政府ハ各地方ニ充分ナル獸醫ヲ備ヘ置カン爲メニ各縣ヨリ三名
 ノ獸醫生徒ヲ募集シ官費ヲ以テ獸醫學校ニ入學セシメ卒業ノ後ナハ

各々本縣ニ歸リ營業スヘキノ制ヲ設ケ置キタルモ此規則嚴重ニ行ハ
 レサルヲ以テ千八百五年更ニ發令レ默醫學校ニ入學スル者ハ先ツ六
 百法ノ保證金ヲ納メ卒業後六年間ハ其縣下ニ於テ居住營業ノ規約ヲ
 結ビ之ニ違反スル者ハ一切ノ學費辨償ノ義務ヲ規定セリ又各縣令ニ
 論達シテ官費生ニハ蹄鐵師、農業者或ハ驛場役人ノ子弟中ヨリ撰拔セ
 シメタリ

那翁帝即位以來專ラ農業ノ進歩ヲ計リ殊ニ該業ニ獎勵ヲ與シカ爲メ
 ニ先ツ現今各縣農業ノ狀態ヲ詳細ニ調査熟察シ地主中共耕作法家畜
 飼養法又ハ家畜改良法ヲ以テ優等ナル者ニハ特別褒賞ヲ附與セント
 ノ厚意ヲ宣言レ且ツ優等功勞者ニハ勳章、賞牌又ハ賞狀ヲ皇帝ノ名ヲ
 以テ授與シ又賞金ヲ與フルノ制ヲ定メタリ是レ即チ農業共進會組織
 ノ階梯ナリトス内務大臣ハ帝意ヲ奉レ調査件名表紙ヲ作り之ヲ各縣
 令ニ送致シ各縣下農業ノ狀態或ハ簡易肝要ナル改良ノ見込又ハ改良
 ノ景況ヲ各年報告セシメ併セテ褒賞授與者名簿ヲ送達セシメタリ尤

全五年以來ハ賞牌及賞金ハ主トシテ帝國農會ヨリ附與スルコトニ定メタリ
 近來財政大ニ回復レ馬種改良費ヲ増シ外國ヨリ種馬ヲ購入シ牧馬事
 業ヲ擴張スルコトヲ得タリ該業經費ハ從來僅ニ二十萬法ニ足ラザリシ
 モ本年ニ至リ之ヲ百萬法ニ増加セリ依テ更ニ牧馬場四個所ヲ増設シ
 其他農民育馬ノ便宜ヲ計リ種馬置キ場十五ヶ所ヲ設ケ益々馬種改良ノ
 事業ヲ獎勵シタリ

牧羊事業モ亦漸次隆盛ニ赴キ農民ハ頗ニ官有牧場ノ「メリノウ」種綿羊
 ノ購入ヲ希望シ近來ニ至リ一頭ノ價額ハ七百乃至八百法ニ至レリ然
 レモ當時牧場ノ數僅ニ三ヶ所ニ過キス遠隔ノ人民之ヲ購入セント欲
 スル者多シト雖モ其距離ノ爲メ運搬ニ多額ヲ費用ヲ要シ又運送中種
 ヲ困難アリテ全國人民ヲ満足セシムルコト能ハス是レ縣令及農會ノ
 時々政府ニ報遺スル所ノ苦情ナリ是ニ於テ内務大臣ハ新ニ三ヶ所ノ
 牧羊場ヲ増設シタリ此場合ニ際シ内務大臣ハ特ニ「レニエー」氏ニ命
 テラント「レニエー」ノ模範牧場ノ効績、損益、現況及將來ノ見込ヲ調査報遺

セレメダリ
 其報道ニ據レハ千七百八十六年ランブイエーニテ凡ソ五十「エグマー」
 ル「余ノ地面ヲ牧場ニ供レ馬十四頭牝牛二十頭牡牛二頭西班牙産綿羊
 三百六十六頭ヲ放牧シ全年ヨリ千八百五年ニ至ル迄十八年間政府ノ
 支出金二十二萬六千六百六十六法收入金二十七萬千六百八十七法又
 牧場ノ現在所有財産ノ金二十六萬五千法ナリトス而テ收入金及現在
 財産高ヲ合算セハ五十三萬六千六百八十七法コシテ内支出金高ヲ扣
 除セハ實ニ三十一萬〇〇二十一法ノ利益ナリトス此利益金ヲ十八年
 間ニ分算セハ一年一萬七千二百二十三法余ノ利益ヲ收メタリ全五
 年迄ニ該場ニ於テ飼育シタル純粹「メリノ」綿羊六萬六千頭雜種三百
 萬頭ニシテ其產出スル所ノ羊毛ハ年々九百二十八萬〇〇四十四基ナ
 リトス其他人民直接ニ西班牙ヨリ五回輸入シタル綿羊及其雜種繁殖
 ノ頭數ハ凡ソ前數ノ陪以上ナルヘシ又同場ニ於テハ諸種ノ作物ヲ試
 作シ就中小麥ノ如キハ内外國ノ種類ヲ悉ク試験シ遂ニ一種善良ノ小

麥ヲ作り出シ之ヲ稱シテ「ランブイエー」ト云ヘリ千七百九十八年同
 場ニ牧羊學校ヲ設ケ學費ヲ節略シ農業者ノ子弟ヲ入校セシメ牧羊術
 及獸醫ノ初步ヲ教授シ六年間ニ卒業シタル者五十四名ニ達セリ牧羊
 ノ業已ニ如斯盛大ニ赴キ年々巨萬ノ羊毛モ外國ノ輸入ヲ要セス羅紗
 製造ノ業モ從テ隆運ニ達シ畜類増加シ土質ヲ肥シ全國ノ財貨ヲ増シ
 タル「實ニ宏大ナリトス抑羊種改良及牧羊ノ業タル其國ヲ益シ富源
 ナリト云フニ於テハ恐クハ他種ノ家畜中此ノ右ニ出ルモノアラサル
 ヘシ故ニ政府モ夙ニ此業ヲ保護獎勵シタルハ當然ノ「ナリト雖モ其
 成否ハ畢竟當局者農學士及帝國農會等種々ノ困難ニ遭遇シタルモ此
 國益ノ大義ヲ服膺シ以テ不撓不屈ノ精神ヲ持シ能ク其任ニ堪ヘタル
 ニアラサレハ爲シ能ハサルノ大業ナレハ實ニ全國譽ヲ之ヲ謝セサル
 ヘカラス
 現今農業ニ關スル官有事業其數ヲ増シ現在ノ制ニテハ其監督不充分
 ナリ省中ニ農工商顧問會ノ設ケアリト雖モ實業ノ監督ニ適セス依テ

更ニ事業場取締委員三名ヲ命シ苗樹仕立場、牧羊場及獸醫學校ヲ監督
 セシメタリ是レ既往ノ商業監督官ヲ再設シタルモノニシテ現今ノ農
 業監督モ亦是ニ基キ漸次之ヲ擴張シタルモノナリ
 千八百五年農務通常經費ハ八十六萬四千四百三十三法臨時費百二十
 七萬法ニシテ合計二百十三萬四千四百三十三法ナリトス
 千八百六年農務ノ事業ハ主トシテ牧馬場ヲ擴張シ牧羊場ヲ増設シリ
 ニキサンブリーノ苗樹仕立場ヲ整頓スルヲ務メタリ
 當時佛國產メリノ「羊毛」ハ已ニ遠ク外國ニ其聲價ヲ博シタルヲ以テ
 尙ホ益々該種綿羊番息ヲ盛大ニシ且ツ其羊毛ノ專賣權ヲ掌握セント
 欲シ政府ハ全六年法令ヲ發シメリノ「種」及其雜種ノ輸出ヲ禁レタリ
 全年牧馬場組織ヲ改正シ牧馬場六ヶ所種子馬置キ場三十ヶ所及調馬
 場二ヶ所ヲ設置シ其他人民中種子馬ヲ所有スルモノニシテ牧馬監督
 官ノ檢查ヲ經番息用ノ認可ヲ得タル者ハ其飼養費ヲ受クルノ制ヲ設
 ケ競馬ニ賞金ヲ出シ又牧馬監督官ヲ設ケ官有牧場其他民有ノ認可シ

タル種子馬等ノ取締ヲ爲サシメタリ而テ牧場事務費ヲ増加シ二百萬
 法ト定メタリ此年ノ改正組織最モ完全ナルヲ將來尙ホ之ヲ因襲シテ
 更ニ變更ヲ要セサリキ夫レ馬種改良番息ノ計畫ハ如斯盛大ニシテ且
 ツ完全ナルカ爲メニ佛國ハ遂ニ馬種ヲ改良シ大ニ其富ヲ増殖セント
 スルニ至レリ
 地方ノ狀況ハ已ニ千七百九十九年地方官ヨリ具申セシメタリト雖モ
 尙ホ其足ラサル所ヲ補ハシカ爲メニ有名ノ農學士ド、カンドール氏ニ
 命シ各縣ヲ巡回各地ノ博物及農業ヲ調査セシメ以テ其觀察ノ實況ヲ
 公クニ報道セシメントセリ
 佛國ハ元來綿ノ供給ヲ英國ニ仰キタルカ故ニ兩國葛藤ヲ生レタルハ
 ハ此物品欠乏シ製造家困難スレハ政府ハ內務省ノ上申ニ據リ獎勵金
 ノ法ヲ設ケ農業者中綿ヲ栽培スル者ニ之ヲ與ヘント定メタリ
 農業教育ハ世人屢論議スル所ノ問題ニシテ帝國農會ノ如キハ已ニ千
 八百二年之ヲ普通教育中ニ設クルノ必要及其方法ヲ詳細ニ論究シ

篇ノ建言書ヲ内務大臣ニ出シタルヲアリ抑モ農業教育ハ千七百三十七年
 一年ベルタン氏ノ保護ニ據リ實地學校ヲアナルニ設置シタレトモ同
 氏ノ辭職後暫時ニシテ廢滅ニ歸シ降テド、カロンヌ氏ハドールバントン
 氏ニ命シテアルホール獸醫學校ニ農業經濟ノ一科ヲ設ケ教授セレメ
 タルモ後チ遂ニ之ヲ廢止シタリ然ルニ外國ニ於テハ農業教育ハ稍好
 結果ヲ奏シタリ學國ノ如キハ千七百年ノ初ニ當リフレドリク一世王
 ハ農業科ヲ大學中ニ設置シ瑞典國王フレドリク一世モ亦之ヲ大學中
 ニ設ケ填國ニ於テハ千七百六十年マリ、アレイヌ女王國中ニ多クノ學
 校ヲ創立シ又農學ヲ教授セシメタリ其他漢那花、健馬、索運、瑞西ノ諸國
 前後相接テ農業教育ヲ設ケタリ
 佛國ニ於テモ革命ノ前後屢論究シタリト雖モ兎角實際ニ行ハレヌ然
 レモ稍民望ニ満足チ與ヘント欲シ政府ハ已ニ千七百九十五年發令シ
 若干ノ學校中博物獸醫農業經濟ノ諸科ヲ設ケタリト雖モ經費不充分
 ニシテ悉ク之ヲ實行スルヲ得ス止マアルホール、里昂及博物館ニ於

テ此科ヲ教授シタルニ過ス又特ニ農業專門學校ヲ設立セタルヲナシ
 千八百二年一般ノ教育組織ヲ改正シタルモ農教育ノ論議ナキニアラ
 スト雖モ深ク之ヲ講究セス稍度外視シタルモノ、如シ然モ帝國農會
 ノ如キハ特ニ其必要ヲ感レ全年農業教育組織ノ件ヲ建議シ次チ千八
 百六年上申シタリ而テ此上申書ニハ其教育ノ法案ヲ添テ提出セリ然
 レ政府ハ大ニ躊躇シ未ダ此意見ヲ採用セス抑政府ノ今日尙モ農業教
 育ヲ組織セサル所以ノモノハ或ハ農民智識ノ度未ダ之ヲ要セサルモ
 ノト認メタルニ因ルヘシ然レ此意見ノ如キハ全國ノ利害ニ關スルヲ
 大ナレハ政府モ亦之ヲ全ク放棄シ能ハサルヲ以テ更ニアルホール獸
 醫學校ニ專科ヲ設ケイバール氏ニ命シテ農學ヲ教授セレメタリ爾後
 政治上ノ變遷ニ係ラス此專科ハ依然トシテ永續レ實ニ現今佛國ノ農
 業教育組織モ亦此ニ起因ス
 共有不動産ヲ賣却シ土地ノ大ナルモノヲ分割シタルハ農業上ニ最モ
 利益ヲ與フヘキモノナリト雖モ隨テ不動産ノ賣買相續分離甚シヤカ

爲メ土地ノ區畫ヲ小ナラレノ農民ハ無用ノ義務ヲ帯ヒ損害ヲ蒙ル
 ニ至レリ夫レ土地區畫ノ小ナルカ爲メニ通路ヲ増シ甲乙相接スルカ
 爲メニ播種及收穫ヲ同時ニセサルヲ得サルノ場合アリ又灌溉用水ヲ
 設ケ或ハ垣墻ヲ設ケ或ハ人造牧場ヲ設ケルカ如キノ土地改良ヲ計ル
 一ヲ得キヲシメタリ此不便不利ヲ除クニハ唯ク人民申合ノ上其土地
 ヲ交換スルヨリ宜キハナシ而テブルゴーヌ縣ループス邑ニ於テ
 ハ千七百年頃ニ此法ヲ用キ土地ヲ交換レ其結果最モ好シ是ニ於テ
 スーシヤトー氏ハ此結果ノ頗末ヲ記シ帝國農會ノ贊成ヲ得テ千八百
 六年之ヲ内務大臣ニ建議シ以テ政府ノ當時エーズレー邑民ノ出願中
 ノ交換ヲ許可シ且保護セラレンヲ勸告セシニ内務大臣モ亦之ニ同
 意シ遂ニ政府ニ上申セリ政府ハ其意見ヲ採用レ且ツ此法ヲ獎勵セシ
 カ爲メニ此交換ニ限り財産轉換ノ價額比較配入稅ヲ廢シ單ニ手数料
 ヲ一法ト定メタリ
 千八百六年農務通常經費ハ七十八萬二千六百十三法臨時費二百三十

九萬法合計三百十七萬二千六百十三法ナリトス
 先年新ニ牧馬場ヲ増設レ各場ニ種馬ヲ配布レ總計千八百二十五頭ヲ
 常備スルノ目的ヲ以テ千八百七年已ニ八百七十頭ヲ有レ尙新ニ種馬
 ヲ購入シテ益其養殖ヲ計ラントシタリ
 馬種改良ニハ競馬ノ方法ヲ以テ第一ト唱道スル者アリ英國ニ於テハ
 已ニ此方法ヲ設ケ盛ニ行ハルハカ爲メニ佛國ニ於テモ亦之ニ倣ヒ巴
 里府其他ノ地方ニ之ヲ開設シタリ
 全年又西班牙國ヨリ「メリノ」種ヲ輸入シタリシニ當時動物傳染病ノ
 流行アリ之ヲランブイエー牧場等ニ放牧セハ其數多キニ過キ傳染病
 ノ爲メニ悉ク之ヲ失ハントテ恐レテ牧羊場ヲ増設セントノ議起リ當
 局者モ亦之ヲ至當ト認メ以テ牧羊場ヲ増設レテ七ヶ所ト定メ各場ニ
 綿羊凡ソ三百頭ヲ飼育レ各場長ヲ置キ別ニ總監督ノ官ヲ設ケテ之ヲ
 ナシユー氏ニ任シ總轄セシメタリ此牧羊場分離増設ニ際シ那翁帝ノ
 命ニ依リランブイエー牧場ヲ帝室ノ直轄ニ附シ經費ヲ増シ時ニ之ヲ

保護セントシテ其場長亦ダテシエー氏ニ命シタリ
 佛國南方ラント縣ニ廣大ノ沼地アリ不毛ニシテ殆ト之ヲ利用スルノ
 道ナキヲ以テ放棄シタリシモ全年水牛ヲ移殖シ其土地ヲ豐饒ニシ且
 ツ一物産ヲ起シタリ抑其因由ハ千七百九十六年ヨリ全九十七年ニ至
 ルノ間佛國ハ伊國ト交戦シ那翁伊國ニ侵入レトスカリス及ボレタリ
 地方ヲ經過シタル中該地ノ沼ニ水牛ヲ使用シ其効力ノ大ナルヲ察
 知レ此時水牛數十頭ヲ本邦ニ送りタルニ因レリ而テ本國ニ於テハ之
 チランプアイエー、アルホール等ノ牧場ニ配布シ後テ其中ヲ撰拔シテ更
 ニ數頭ヲバント地方ニ送りタリ降テ那翁帝千八百七年西班牙國事
 ノ爲メニ南方ハイヨン府ニ赴カントシテ遂次ラント縣ヲ過キ其沼地
 ノ廣大ニシテ打棄タルノ狀況ヲ見テ大ニ感スル所アリタリ依テ帝ハ
 農務局ニ命シランプアイエー及アルホールヨリ水牛杜登頭此四頭ヲラ
 ント縣モント、アルホール地方ニ送り特ニ縣令ニ調達シテ該地ニ於テ
 地主中有識者ヲ撰ニ此動物ヲ委托レテ繁殖ヲ計ラシメタルニ風土能

ク適シ益繁殖ヲ極メタリ然ルニ此地主ハ其動物ヲ利用スルヲ知ラ
 ス此委托ヲ以テ却テ迷惑ニ思ヒ居タリ然リト雖モ敢テ亦之ヲ放棄
 セズレテ遂巡日ヲ送リタルニ千八百十四年ノ事變ニ際シ該牛ヲ悉ク
 野ニ放テテ追拂ヒタリ是ニ於テ水牛ハ海濱荒野ノ地ニ奔散シ野生ノ
 有様ヲ以テ生活シ其數モ漸次増加シ遂ニ人民之ヲ恐レテ或ル日牛羣
 チ全ク數頭ヲ銃殺シタリ當時此地方ノ人民ハ貧窮ニシテ水牛ノ肉食
 ヲ以テ甚ク満足シタリ抑此水牛ノ甘味ハ尋常ノ牛肉ニハ及ハスト雖
 モ固ヨリ食料ニ供スルヲ得ルノヨナラス使役ニ最モ適當シ殊ニ沼
 地ノ濕氣傳染病等ニ能ク堪ヘ水草ヲ食スルヲ以テ野地ニ飼育スルニ
 ハ此動物ニ若クモノナシ是ニ於テ人民其牛肉ノ需用ヲ知り之ヲ販賣
 スルヲ恰モ尋常牛ノ如シ其後牛ヲ羣スルノ勞ヲ省ンカ爲メ人民ハ其
 積ヲ捕獲飼育シ且肥太ナラシメ之ヲ屠リテ以テ食料ニ供スルニ至レ
 リ尙ホ進シテ人民ハ水牛ノ能ク勞働ニ堪ヘ重量ノ荷物ヲ運搬スルニ
 適當ナルヲ悟リ之ヲ盛大ニ飼育シ遂ニ水牛ノ群衆ヲ作ルニ至レリ

シト地方ノ如キ實ニ人力ノ到底利用シ能ハラントレタル無用ノ地
 チシテ有用ノ地ヲヲシメ莫大ノ富源ヲ起レタルハ眞ニ此動物ノ利ニ
 因ラサルハナシ

總監督官ヲシエー氏ハ政府ノ命ヲ受テ綿ノ栽培方法書ヲ爲リタルニ
 政府ハ之ヲ南方及東南地方ニ配布シ專ラ人民ニ知ラシメ又精藍ノ移
 殖ヲ獎勵セント欲シ同様ノ方法ヲ用キタリ是レ英國ト攻戰後ハ東洋
 物産ノ價額非常ニ騰貴シ且着荷甚ク不規則ナルカ爲メニ政府ハ務テ
 之ヲ内國ニ移植レ外國ノ供給ヲ待サラントテ企圖スルニ因レリ

沼地ノ排水開墾事業ハ固ヨリ政府ノ特ニ注意ヲ要スヘキ公益ノ大工
 事ナレハ此事業ニ關スル從來ノ製度法律ヲ調査折衷レ尙ホ足ラサル
 所ヲ補ヒ以テ全年其法令ヲ發布シタリ此法令ノ目的タル無用ノ地ヲ
 轉シテ有益ノ地ト爲ントスル者コレヲ之ニ關シテハ現行ノ法律ニ就
 キ一層ノ完全ヲ得セシメタルニ過キス然レ此法令中未ダ農業直接ノ
 利益ニ就キ保護ノ足ラサル所アリ若レ當時ニ在テ愛ニ注意周到ナラ

シメハ農業ノ進歩ハ今日如何ナル点ニ迄達シ得タルヤ知ルヘカラス
 夫レ今回ノ法令ニ於テ沼地ノ排水河海締切リ、道路運河ノ開墾及改良
 ノ如キ公益ニ關スル事業ニハ必ス會社組合ニ由テ起業スヘキノ制ヲ
 設ケタルハ固ヨリ善良ノ法ナリ然レ此組合ノ組織及幹能ノ方法ニ
 於テ更ニ周到ノ法則ヲ定メサルカ爲メ大体ノ法令ヲレテ有テ無キカ
 如キ有様ニ陷ラシメタルハ世人ノ最モ遺憾トスル所ナリ

全七年内務卿ヲ交送アリシヤンピー氏ハ轉任シテ外務卿ト爲リシ
 レター氏入テ内務卿ニ任セラレタリ

給養事務即チ麵包肉類ニ關スル政策ハ兎角經濟ノ原則ニ悖リ其方向
 チ誤リ已ニ全七年ノ如キモ亦チ麵包製造家ニ積立金ノ制ヲ設ケ同業
 チ檢束セントシタリ

千八百七七年農務通常經費二百七十三萬法臨時費百六十一萬三千九百
 九十九法餘合計四百三十四萬三千九百九十九年餘ナリトス
 千八百七七年ノ末農務局中更ニ開墾課ヲ置キ全八年ノ始メニ大藏省ハ

帝ノ勅令ニ依リ官有地十萬「エ」ヲ割テ開墾事業ハ徐々抄取
 リ全八年終ニ整理シ委員ヨリ草案ヲ内務卿ニ提出シテ内務卿ハ更
 ニ「エ」ヲ「ト」氏ニ命シテ調査セシメ後テ勅令ヲ以テ更ニ調査委員ヲ
 控訴裁判所在ノ各地ニ置キ裁判官縣會議員及農業者或ハ農會員ヲ委
 員ニ命レテ其委員ノ調査ニ附シテ面テ此農業律草案ハ千八百二年
 地方官ニ命レ蒐集シテ諸材料ニ據リテ編纂シ條ヲ分テ通計二百八
 十條トシ之ヲ「レ」三篇ニ別テ第一篇ニハ土地地主ノ權利第二篇ニハ
 地主相互ノ關係第三篇ニハ土地ニ對スル政府ノ保護干涉等ノ諸件ヲ
 逐條掲載セリ新案ノ現行律ニ著ク改正ヲ加ヘタル要點ハ先ツ三個ト
 ス第一ハ共同放牧制ノ廢止第二不產產抵當法ヲ改正シ土地ノ細分製
 ヲ防キ相互ニ交換法ノ簡易獎勵第三通給セサル河川ノ水利使用權改
 正ニアリトス

千八百八年モン「レ」マ「ル」サン牧羊場長ボイ「レ」氏ハ非常ノ危險ヲ冒
 シ綿羊數百頭ヲ西班牙國ヨリ輸入シテ「レ」董「レ」氏ハ全年四月ノ末政府

ノ命ヲ受ケ同國ニ赴キセ「レ」地方ニ於テ綿羊六百頭ヲ買集メタル
 ニ地方人民ハ大ニ國ノ利害ヲ憂ヘ非常ニ奮激シ其輸出ヲ拒ミ還ニ院
 カニ訴ヘテ之ヲ取戻サントシ「レ」氏ハ不得止同國ノモン「レ」將軍
 ニ訴ヘテ保護ヲ歎願シ種々困難艱苦ノ末漸ク其保護ニ據リ旅次ニテ
 月半ヲ費シ辛クシテ佛境ニ達スルヲ得「レ」然レ綿羊ハ其間僅ニ七頭
 ヲ亡失シタルニ過キス「レ」余ハ悉ク無事ニ若シ之ヲ「レ」牧羊場
 ニ送りテ飼養シテ「レ」愛ニ於テ政府ハ大ニ氏ノ功勞ヲ賞シ直ニ勳章ヲ
 附與シ總監督官補ニ任レ「レ」

全年種馬ヲ亞刺比亞土耳其獨逸ノ諸國ヨリ購入シタルハ凡ソ二百頭
 ニシテ當時年々草尾ノ用ニ供スル牝馬ハ已ニ二萬四千乃至二萬五千
 頭ニ達シ「レ」

農會ハ農務局ノ輪運ニ基キ地方官ノ獎勵ニ依リテ各地方ニ陸續興起
 シ帝國農會ノ外已ニ開設スルモノ五十ヶ所トナリ農會中共進會ヲ開
 設シ賞金及賞牌ヲ附與シ優等者ヲ褒賞スルモノアリ就中ツ「レ」

農會ノ如キハ特ニ名譽共進會ノ法ヲ設ケ耕作現業ノ優秀ヲ競争セシ
 メルハ實ニ卓越ノ良法ナリ然レハ該會ノ資本ハ概テ會員ノ儲金ヨ
 リ成リ甚ク微弱ナルカ爲メニ遂ニ永續維持スルヲ能ハスシテ中止レ
 グルハ最モ惜ムヘシ蓋シ此事情ハ各地皆同一ナリ而シテ他ノ農會ハ
 主トシテ農業ノ利害ヲ研究シ及新規耕作ノ法ヲ試驗セリ此研究試驗
 ノ如キハ會員中財產家ハ皆テ私金ヲ投シテ其業ニ從事シ其結果ノ報
 告ハ概テ其會ノ雜誌ニ登載シテ世人ニ知ラレメタリ
 農會中直接ニ政府ノ保護ヲ受ケタルモノハ止ク帝國農會アルニ而
 テ此會ノ補助金ハ年々多少ノ増減アリト雖ハ概テ二萬法ニシテ内四
 千法ハ印刷及實牌費八千法ハ會議費八千法ハ内務卿ノ認可ヲ經テ附
 與スヘキノ褒賞金ナリトス夫レ佛國ニ於テ農業ノ進歩ヲ助ケ其改良
 ヲ計リテノ効ハ有名ノ農學者ヲ以テ組織セル帝國農會ノ意見及報
 告等ノ力ニ因ルモノ多シ該會ノ聲價ハ已ニ外國ニ高ク農業家ノ最モ
 若目スル所ナリ北米合衆國大統領タリシセフヘルソン氏ノ如キハ夙

ニ農業ニ熱心ナル人ニシテ千八百八十年同國共進會ニ於テ專ノ使用競
 争ニ臨ミ躬ク之ヲ執リテ競争シ又氏ノ發明ニ係ル率ヲ出品セリ氏
 ハ曾テ佛帝國農會ヲ賞賛シテ嘗ヘルコトアリ該會ノ事業ハ細大トナシ
 親シク注意セサルハナレト米國農務局及英國農務局ヨリモ其事業
 報告其他書類ヲ帝國農會ニ寄贈シ此會ト協同一致レ農業ノ進歩ヲ計
 リ以テ世ノ福利ヲ増サント希望スルノ意ヲ申送リタルコトアリ
 火災、雹災等ノ損害救助ハ地方稅ヲ以テ縣令ノ處分ニ委任シタルモ地
 方ノ貧富ニ依リ救助ニ厚薄ヲ生シ甚ク公平ナラサルカ爲メニ全八年
 勅令ヲ以テ此制ヲ一變シ各地方救助金ヲ一旦國庫ニ納メ其一半ハ大
 藏卿ニ委任シテ免稅ヨリ生スヘキ欠額ヲ補ヒ其一半ハ損害救助費ト
 シテ内務卿ノ使用ニ供セリ而シテ地方官ハ毎年縣下人民中損害ヲ蒙
 リ救助ヲ要スヘキ人名表ヲ作り政府ニ於テハ全國ノ損害ヲ通算シ以
 テ公平ニ救助スルノ法ヲ設ケタリ
 千八百八十年農務通常經費二百三十八萬法臨時費六十萬法ニシテ合計

二百四十四萬四千法ナリトス
 千八百九年佛國ハ西班牙國ト戰ヒ佛兵戰勝ニ乘シ入テ西國ヲ占領セリ此場合ニ於テ綿羊ヲ佛國ニ輸入レ一時ニ其數ヲ増加レ爲メニ羊毛大ニ下落シ資本ニ乏キ小農ハ極メテ維持ニ困難シ其中ニハ此下落ノ原因ヲ知ラズ又牧羊ノ方法ニ暗ク權利ノ道ヲ知ラキル者アリテ其業ヲ廢スル者多シ政府ハ大ニ此狀態ヲ憂ヘテレニエー氏ニ命シテ綿羊ノ精撰飼養法及權利ノ道ヲ詳細ニ記載シ併セテ綿羊ニ屢發生スヘキ病氣ノ治療法ヲ簡單ニ示シタリ其他農學者トイハントノ著述ニ係ル綿羊飼養書ヲ再版シ二十五年間實験ノ事項ヲ増補シ或ハ改正ヲ加ヘ以テ出版シタリ又新ニ牧羊場一個ヲ設ケ西班牙國ヨリ輸入ノ綿羊ヲ放牧セリ
 綿草移植ノ業ハ曾テ世人ノ頗ル熱心シテ試ムル所ノモノナリト雖も千八百九年氣候不順ニシテ好結果ヲ得ス抑佛國ニ於テ綿草栽培ハ固ヨリ至難ノ業タルハ農學者又ハ政府モ能ク了知スル所ナリ是迄ノ例

ニ微シ實用又ハ愛植用ヲ固ハス苟モ外國産ノ植物ヲ内地ニ移植センニハ幾千ノ艱難辛苦ヲ容メ官民共ニ計畫シタルヤ知ルヘカラス故ニ政府ハ今回百方力ヲ盡シ綿草ノ栽培ヲ獎勵レ之ヲ試作スル者ニハ賞金ヲ與ヘ又其繁殖ヲ計リ人民ニ實例ヲ示サント欲シ綿草栽培場ヲ四ヶ所ニ設ケ大ナル規模ヲ以テ培養セリ場長ニハ該業ニ精キ經驗家ヲ撰ンテ之ヲ委任シタリ而テ此場於テ主トシテ研究スヘキモノハ先ツ佛國ノ風土ニ能ク適スヘキ綿草ノ種類ヲ檢査シ綿草中最高品質ニシテ製造家ノ最モ珍重スヘキモノヲ査定スルニアリヨリ
 政府ハ綿草栽培ノ業ヲ獎勵スルヤ最モ周密ニシテ國家ニ利益ヲ與ヘタルヲ具ニ莫大ナリト云フヘシ此業ノ起リタルカ爲メニ國ノ財産及事業ヲ増シ人民ハ巨萬ノ金ヲ外國ニ輸出セタルノ大益ヲ収メヨリ故ニ農業ノ爲メニハ權利多キノ一大物産ヲ起シ許多ノ肥料ヲ生シ動物ノ爲メニ適當ノ食料ヲ産シ農業經濟上ニ大益ヲ與ヘタリ又工事ノ爲メニハ莫大ノ原料品ヲ供給シ其製ノ爲メ職工ニハ多額ノ賃銀ヲ得

セシメ製造家ニハ巨萬ノ利益ヲ與ヘ商業ニ在テハ賣買品ヲ増シ取引
 高ニ六七億萬法ヲ加ヘタリ需用者ノ爲メニハ日用欠クヘカラサルノ
 物品ヲ充實シ安價ニテ自由ニ之ヲ購求スルノ便ヲ與ヘタリ又國庫ニ
 在テハ割合ニ多額ノ費用ヲ要セスシテ好結果ヲ得テ新ニ一大税源ヲ
 開キ現今其税額ハ政府歳入ノ二十分一ヲ占メタリ
 佛國ノ英國ト交戦シタルヨリ東洋物産價額ハ非常ニ騰貴シタルカ爲
 メニ政府ハ專ラ其物産ノ移植ヲ務メタリ然レモ如キハ固ヨリ内
 地ニ繁殖スヘキモノニアラスト雖モ砂糖ニ在テハ甘蔗ノ代リニ内國
 産ノ或ル植物ヲ以テ糖分ヲ取得スルノ望ナキニアラス千八百九年砂
 糖ノ價額已ニ騰貴シ半基ノ價五法ニ達シ政府ノ大ニ憂慮スル所トナ
 レリ而テ植物中葡萄及甜菜ノ如キ糖分ヲ含有スルモノハ已ニ世人ノ能
 ヲ知ル所トナリレモ其糖分果シテ結晶スヘキヤ又糖分ハ果シテ多量
 ニシテ利益ヲ與フヘキヤ未タ世人ノ知ラサル所ナリ然レハ葡萄若ク
 ハ甜菜ヲ以テ製シタル砂糖ノ價額及品質ヲシテ尋常ノ時ニ於テ甘蔗

製砂糖ト能シ競争レ得ヘキノ製造法ヲ查定シ且ツ此方法ヲ普シ人民
 ニ知ラシメ以テ其信用ヲ喚起シ新設事業ニ向ヒテ資本ヲ注入セシム
 ルノ方策等ハ政府ノ主トシテ務ムヘキノ任ナリ而テ葡萄ヲ以テ砂糖
 ヲ製スルノ業已ニ屢試驗ヲ經タリト雖モ第一ニハ其産額ハ到底一般
 ノ需用ニ應スルニ足ラス第二ニハ其糖分ヲ結晶スルニ於テ困難アリ
 故ニ葡萄ヲ以テ未タ充分ニ其目的ヲ達セサルヘレ之ニ及シテ甜菜ハ
 學理上充分ノ見込アリテ世人ノ最モ研究スル所トナレリ蓋シ甜菜ノ
 糖分ヲ含有セルモノハ已ニハンリー四世ノ時有名ノ農學者ドセル氏
 ノ發見ニ係リ千七百四十七年獨逸ノ化學士マルグラーフ氏佛國農學者
 ノ業ヲ繼ヒテ頻リニ研究シ製糖ノ業ヲ試ミダレトモ當時米國ヨリ歐
 洲輸入ノ砂糖價額甚ク安値ニシテ壹基ノ價僅ニ八十五參乃至九十參
 ニ過キス故ニ甜菜ヲ以テ製糖ノ業ヲ企圖スルヲ得スマルグラーフ氏
 ノ發明モ亦實際ニ適用セスシテ止ミタリ降テ獨逸化學士アレーヤル
 氏出テマルグラーフ氏ノ業ヲ繼テ之ヲ試驗シ殊ニフレタリク大王ノ獎

願ヲ蒙リ千七百九十五年遂ニ試験ノ報告ヲ作り甜菜ノ農業及工業上
 ニ利益アルヲ示シ全十九年甜菜糖ヲ製シ李國王ニ献上シ又全年
 佛國政府ニ此報告ヲ贈リテ其結果ヲ報道セリ爰ニ於テ那翁思ヘテ
 是レ眞ニ英國商工業ノ特權ヲ奪フノ良策ナリト即チ大學ニ命シテ委
 員ヲ置キ李國化學士ノ製法ヲ調査セシメタルニ果シテ好結果ヲ報シ
 タリ然ルニ當時佛國ハ英國ト和睦シ隨テ砂糖ノ價傾モ下落シタルヲ
 以テ新起業ノ機會ヲ失シタリ降テ千八百六年那翁帝英國ト攻戦シ封
 鎖ノ令ヲ下シテヨリ復タ製糖ノ必要ヲ感シ農務局ハ全八年甜菜製糖
 ノ結果ヲ世ニ公クニシ全九年政府ニ建議シテ製糖試験場ヲ設立レ以
 テ該業ヲ獎勵セントシタリ此時ニ於テ政府ハ有名ノ化學士及農學士
 ヲ撰ミテ該場ノ指揮ヲ委任シタルニ學士ハ各種ノ甜菜ヲ培養シ糖分
 ヲ試験シタリ其試驗法未ダ完全ナラスト雖モ糖分ノ割合ハ凡ソ百分
 ノ二ヲ得タリ之ヲ精製セハ壹基ノ價三法五十參ナルヘシト雖モ其製
 造ノ規模大ナルトハ其價ハ壹法八十參ニ減シ得ヘレ爰ニ於テセー氏

ナル者アリテ一大製糖所ヲゾーグ地方ニ設立セリ

内務卿クレター氏死シモンダグラー伯代リテ後任ヲ襲ヒ農務局ニ變
 更ヲ行ヒタリ

千八百九年農務通常經費ハ二百五十壹萬八千法ナリトス千八百八年
 調査委員ニ下附シタル農業新律案ヲ調査モ已ニ其業ヲ終リ委員等ノ
 意見ヲ參酌シ以テ更ニ改正ヲ加ヘタル新案脱稿セリ當時宛モ和蘭、伊
 太利、瑞西ノ諸國ヲ佛帝國ニ合併レタレハ該諸國ハ永ク佛領ニ屬スル
 モノト想像シ此新領地ニモ亦調査委員ヲ命レ草案ニ就キ其意見ヲ諮
 問スヘキ爲メ遂ニ時日遷延シ農業律完成ノ期ヲレテ益遲滯セシメタ
 リ

那翁帝ハ頻ニ牧馬ノ事業ヲ擴張セント務メラレ其目的ヲ達スルニハ
 當時ノ如ク官有牧場ニ種馬ヲ繁殖スルヲ以テ足レリトセス牧馬ノ業
 ニ精キ人物ヲ養成スヘキノ必要ヲ感シ特ニ農務局ニ命レテ其實施ノ
 方法ヲ調査セシメ新ニ馬學校ヲ設立シ以テ馬醫、馬術師及馬丁ノ養成

所ニ供セリ而テ政府ハ此學校ノ卒業生ヨリ牧馬場ノ役員ヲ登用シテ
 リ蓋シ此馬學校ハ現今ノ牧馬學校ノ元祖ニシテ時勢ノ變遷進歩ニ依
 リ組織ニ改正ヲ加ヘタリト雖ヒ依然トシテ今日尙ホ存立シタリ是レ
 牧馬ノ業ニ最モ必要ノ制ナルカ故ナリ
 全十年ニ至リ製糖ノ業ニ注目スル者多シ農務局ハ此機ニ乘シ該業ヲ
 勵獎センカ爲メ甜菜栽培法及製糖法ヲ編纂センメ之ヲ普ク全國ニ配
 布シ以テ起業ヲ勸告セリ已ニシテ葡萄製糖ノ業盛ニ行ハレ本年ノ如
 キハ其産出高凡ソ拾萬基ニ達シ殆ト政府ノ期望ヲ満足セリメントス
 ルソ勢ナリフーシ及ブルース兩氏ノ如キハ已ニ結晶砂糖ヲ製シ當
 時其價額ハ甘蔗製糖ニ比シ遙ニ安値ナリキ政府ハ兩氏ノ發明ノ功勞
 ヲ謝センカ爲メニ勅令ヲ以テブルース氏ニ十萬法フーシ氏ニ四萬法
 ノ賞金ヲ贈與シタリ而シテ製糖家中兩氏ノ方法ニ依リテ葡萄ヲ以テ
 製糖ヲ試ミダレト兎角充分ノ結果ヲ得ヌ斯クテ後ヲ遂ニ甜菜製糖法
 勝利ヲ得テ漸次盛大ニ赴カントセリ

農務局ハ内外國ノ植物及種子ヲ各地方ニ配當シタルカ爲メ國內ニ
 種々ノ植物ヲ繁殖シ全十年ノ如キハ久ク廢業ニ歸シタル「バスター」
 草ノ培養ヲ獎勵シタリ蓋シ此植物ハ純粹內國産ニシテ古來培養シ藍
 色ノ染料ニ供シタルモ精藍ノ輸入ニ達フテ遂ニ廢滅シタレハナリ然
 ルニ近來藍不作ナルヲ以テ政府ハ人民ニ勸告シ「バスター」栽培ノ業
 ヲ回復シ以テ精藍ニ代用セント欲シ帝國農會員ヲシテ其培養法ヲ記
 シ之ヲ人民ニ知ラシメタルニ靡然トシテ之ニ應スル者多カリキ
 全九年勅令ヲ以テ内務卿ニ經費五十萬法ヲ與ヘ以テ羅馬府ニ綿絲紡
 績場ヲ設立シ府ノ近傍ニ綿作ヲ獎勵シ沼地ニ排水工事ヲ施シ農業ヲ
 勸メント計レリ農務局ハ工學及農學ニ精キ學士ヲ撰拔シ其實況ヲ調
 査シ以テ帝意ヲ遂メテ務メタリ
 近來動物傳染病ノ著ク消滅シタルハ年々地方ニ獸醫ノ數ヲ増加シタ
 ルニ職由セサルハナシ然レ農民中或ハ衛生法ヲ怠リ往々病毒ヲ發ス
 ルヲアリ全十年傳染性齧口瘡及炭疽病ヲ發生シ猖獗ヲ極メ家畜中驚

ル、モノ多シ依テ此病類傳染豫防法ヲ記シ之ヲ人民ニ分テ與ヘテ
 資産家ハロー氏ハ千八百一年ツールズ府ニ於テ電及獸疫保險會社
 ヲ開設シ全五年社則テ改メ資本ヲ增加シ保險ノ區域ヲ擴メ農務局ノ
 認可ヲ得テ其規模ヲ大ニシ當時保險ノ區域ハ七縣ヲ包括セリ然ルニ
 其組織未ダ永久維持ノ体狀ヲ作ラス依テ全九十年政府ノ認可ヲ得テ
 之ヲ鞏固ニセシメテ計レリ而テ全八年ラント縣ニ同種ノ會社起リ假
 規則ヲ提出シテ政府認可ヲ得全九年愈之ヲ組織セリ又ツールズ保
 險會社ハ頻リニ其社則認可ヲ出願シタルニ參事院ノ議ヲ經テノ觀裁
 ヲ仰キ會社ノ主意ハ公共有益ノモノト認メ政府ヨリ相當ノ保護ヲ附
 與スヘキ旨ヲ達シタリ
 然レ其規則ハ未ダ完全セサル所アルヲ以テ之ヲ認可セズ參事院ヨリ
 其改正スヘキ要件ヲ示シ以テ之ヲ却下シタリ而テ內務省ハ此會社ノ
 有益ナルカ爲メニ參事院ノ改正案及意見書ノ寫ヲ各地方官ニ回達シ
 此會社ノ設置ノヨリ縣下一般ニ獎勵セシメタリ是レ即チ農業保險會

社ノ起因ナリ示後內務省ハ益此會社ノ設立ヲ獎勵保護シ其各地一般
 ニ行ハレシメテ務メタリ
 全十年政府ハ頻リニ綿作ヲ保護シ勅令ヲ以テ特ニ內務卿ニ查萬法ヲ
 下附シ南方ニ於テ該業ニ從事スル者ノ獎勵金ニ供シタリ
 全十年政府ハ烟草及其栽培ニ關スル制度ヲ定メタリ是レ固ヨリ國庫
 ノ爲メニ必要ノ法ナリト雖ハ亦農業上害ナシトセテ抑政府ハ十七世
 紀ノ交已ニ烟草稅ヲ設ケ後テ其專賣權ヲ占有レ遂ニ其栽培ヲ人民ニ
 許サ、ルニ至リタルヲアリ當時西部印度貿易會社ハ烟草稅徵集チ一
 手ニ請負居タリレモ千七百十九年瓦解レ後テ政府ハ烟草栽培ヲ自由
 ニシ且ツ其專賣權ヲ廢止シ單ニ輸入品課稅ノ法ヲ存シタルノミ革命
 ノ時農務部ハ烟草ノ栽培ヲ保護獎勵シタルカ爲メニ農業者ニ莫大ノ
 利益ヲ與ヘ大ニ農家ノ富實ヲ增加セリ其後國費愈多端ニシテ政府ハ
 不得稅源ヲ求メサルヲ得サルニ至リ千七百九十八年ノ法律ヲ以テ更
 ニ烟草ニ課稅シ之ヲ製造家ヨリ徵集シ其栽培ハ依然トシテ自由ニ任

セ置キタリ
 降ヲ千八百八年ニ至リ煙草ヲ栽培セント欲スル者ハ豫メ収稅官ニ開
 申スヘキノ制ヲ設ケ全十年遂ニ煙草ヲシテ政府ノ專賣ニ販シ而シテ
 縣令ノ特許ヲ得タル者ニアラサレハ之ヲ栽培スルヲ得サルノ制ヲ
 定メタリ
 經濟學者ハ頻ニ煙草栽培ノ檢束ヲ嘆シ是カ爲メニ政府ニ於テモ屢激
 論ヲ生シタルモ國庫ノ利害ヲ以テ第一トシ論スルカ爲メ毎ニ檢束主
 義勝テ制ス然レ檢束論者ハ其栽培ヲ自由ニ放任セハ果シテ如何ノ損
 益ヲ國庫ニ與フルヤ深ク研究セサルハ世人ノ最モ遺憾トスル所ナリ
 殊ニ其栽培免許ノ權ヲ大藏省ニ屬シ却テ其主務省ニル要務ニ與ヘサ
 ルハ穩當ナラサルヘシ
 當時經費豫算表調ハ各省皆同一ノ方法順序ニ據レリ之ヲ作ルニハ先
 ツ各課其經費豫算表ヲ調製シ其目途前年度ノ結果及事務ノ狀況ヲ詳
 細ニ記シタル説明書ヲ附シ該局長ノ認可ヲ經テ會計局ニ送附シ會計

局ハ各局ノ豫算表ヲ取纏メ更ニ之ヲ卿ニ呈出シ檢査ノ上卿ハ更ニ内
 閣ノ内務部會ニ提出ス該會ハ内務卿參事院議官五名及國務卿ヲ以テ
 組織シ皇帝若クハ大宰相之カ會頭トナリテ豫算表ヲ審議々決ノ上皇
 帝更ニ之ヲ裁定ス而テ此豫算表ハ更ニ國務卿ニ出シ國務卿ハ他省ノ
 豫算表ト共ニ之ヲ一括シ以テ政府全体ノ經費豫算表ヲ作り之ヲ立法
 院ニ提出ス參事院議官之カ説明委員トナリ該院ニ出席シ議案ヲ辨議
 説明ス蓋シ立法院ニ於テハ先ツ調査委員ヲ作り豫メ議案ヲ調査シ説
 明委員ノ辨論モ多クハ此調査委員ニ對シ之ヲ爲スニ止マル且ツ議案
 モ調査委員ノ報道如何ニ據リテ概不定マレリ而テ議院ノ投票權ハ議
 案ノ可否ヲ決スルニ止マリ修正ヲ加フルヲ得ヌ蓋シ帝政中ハ立法
 院ニ於テ議案ニ異論ヲ唱フルモノナシ常ニ原案ノ儘ニ可決セリ
 那翁帝ハ最モ顧問會ノ制度ヲ敬愛シ帝政ノ顧問ニ參事院ヲ置キ縣令
 ノ顧問ニ參事會ヲ設ケ其他陸軍ニ步兵騎兵內務ニ土木、礦山、商業、牧馬
 等ノ如キ種々ノ會ヲ設置セリ又全十年勅令ニ依リ內務省ニ農業中央

諮問會ヲ設ケ農業經濟或ハ農政ニ關シ內務卿ノ下問ニ對シ其意見ヲ陳述セシメタリ蓋シ此會ハ純然農業ノ利益ヲ代表スルモノニシテ單ニ官吏ノミヲ以テ組織セズ其一半ハ地方有名ノ農學士ヲ撰拔レ以テ會員ニ命シタリ

全十年農務通常經費ハ三百二十二萬九千二百二十六法臨時費六十萬法ニシテ合計三百八十二萬九千三百三十六法ナリトス

千八百十一年ハ帝政已ニ隆運光榮ノ佳域ニ達シ當ニ兵力政權ノ盛況ナルノミナラス內政共宜キヲ得テ財政ハ既ニ興復シ富實ヲ爲レタリ是レ那翁帝政務ノ冗費ヲ省キ嚴密ノ節儉制度ヲ布キタルニ職由セザルハナシ然レモ有益ノ事業ニ在テハ決シテ其費用ヲ吝マズ「メリノ」綿羊ノ如キハ七ヶ年間ニ全國千萬頭以上蓄息セシムルノ目的ヲ以テ全十一年發令シ其種ヲ置キ場ヲ六十ヶ所ト定メ一ヶ所ニ百五十頭乃至二百五十頭ヲ備ヘ其管理ヲ地主或ハ小作人ニ委任シ年々相當ノ手當ヲ給シ交尾ノ期節ニ至リテ之ヲ人民ニ貸與スルノ制ヲ設ケタリ又

綿羊所有者メ濫リニ綿羊ニ奄術ヲ施スヲ禁シ牧羊監督官ノ許可ヲ得サレハ之ヲ許サズ而テ監督官ハ種ヲ羊ヲ撰キ之ヲ購入レ以テ種ヲ置場ニ備ユルノ權及奄術許否ノ權ヲ有セリ又種ヲ置場近傍ニ於テ雜種綿羊ヲ所持スル者ハ必ズ其綿羊ニ奄術ヲ施サレムルノ制ヲ設ケ之ヲ犯ス嚴罰ニ處セリ

綿羊蓄息ノ目的ヲ達スル爲メニ那翁帝ハ西班牙國ヨリ更ニ「メリノ」種ノ輸入ヲ命シ其購入費トシテ內務卿ニ六十萬法ノ經費ヲ下附レ且ツ其目的ヲ達スル迄ハ年々百萬法ヲ支出スルヲ約セラレタリ斯クテ全年ハ二萬頭輸入ノ豫算ナリシモ戰爭起リ僅ニ九千頭ヲ購入レタリノミ蓋シ此急施策ハ綿羊ノ改良ヲ速ニセントスルノ意ニ出タルト雖ニ政府ノ任タル獎勵保護ノ適法ト云フヲ得ズ是レヲ以テ政府モ亦遂ニ其非ヲ悟リ後「メリノ」種及雜種羊毛輸入ニ重稅ヲ課シ普通ノ羊毛ニ輕稅ヲ課シ以テ「メリノ」牧羊者ヲ保護シ漸次其蓄息ヲ計ルノ策ヲ取ルニ至レリ

牧馬ノ獎勵ハ最モ著實ナリ那翁帝ハ千八百十年ノ末其料馬ヲ撰拔レ
 亞刺比亞産牝牡馬三十頭ヲ牧馬場ニ下附シ全十一年獨逸北方ヨリ種
 子馬六十頭ヲ購入レ官有種馬ハ總計千七百七十三頭ニ達セリ而テ民
 有馬中種子用ノ認可ヲ得タルモノヲ分テ三等トナシ第一等三百法
 第二等二百法第三等百法ノ補助金ヲ下附セリ
 政府ハ馬種改良ノ爲メ數縣ニ競馬ヲ設ケ各縣ニ五千六百法ノ褒賞金
 ヲ與ヘ巴里府ノ如キハ五千六百法ノ外ニ壹萬法ヲ下附レタリ馬學校
 ハ千八百十年ヲ以テ設ケ巴里府ヲ始メ其他十ヶ所之ヲ置キ全府ノ學
 校ハ高等學科ヲ教授レ高等校ノ位置ヲ占メタリ
 甜菜糖及苧藍ノ製造ハ國益ノ關スル最モ大ナルヲ以テ那翁帝ハ別シ
 テ其獎勵ニ意ヲ用ヒ全年勅令ヲ發シ甜菜ヲ以テ製糖シ其品質及價額
 甘蔗糖ト同一ナルノ結果ヲ得ルノ製法ヲ發明レタル者ニハ賞金六十
 萬法苧藍ヲ以テ精藍ニ代用スヘキ製法ヲ發明レタル者ニハ四十萬法
 ヲ與フルノ獎勵法ヲ設ケタリ

當時製糖ノ法實際ニ行ハレザルモノハ止ク甘蔗糖ノ外ニ葡萄糖アル
 ノニ然レ此製法未ダ完全セザルヲ以テ世人モ亦頻リニ之ヲ攻究シ化
 學士プロリス氏ハ政府ノ命ヲ受ケエロールニ一ノ葡萄糖兼糖蜜換範
 製造所ヲ設ケ其他二三ノ製糖家ハ政府ノ保護ヲ蒙リ各製造所ヲ開設
 レ其製出ノ砂糖及糖蜜ハ可ナリ世人ノ嗜好ニ適セリ
 綿樹ハ氣候不順等ノ爲メニ兎角好結果ヲ得ス到底急ニ成效ノ見込ナ
 キヲ以テ別ニ代用品ヲ得ント那翁帝大ニ憂慮レ遂ニ亞麻ニ注目セテ
 レタリ而テ當時亞麻製絲ノ方法ハ悉ク手業コシテ多費ヲ要レ隨テ需
 用廣カラス是ニ於テ政府ハ亞麻製絲器械ヲ發明シタル者ニハ五十萬
 法ノ賞金ヲ與フルノ法ヲ定メタリ是レ間接ニ亞麻作擴張ヲ獎勵シタ
 ルモノナリ
 家畜市場内ノ爲換所規則及組織ハ屢改正變更ヲ蒙リ已ニ全十年ノ如
 キハ又其組織ヲ一變レ巴里府ヲシテ之ヲ管理セシメ共資本金ニハ先
 ツ肉類商ノ身元保証金及府廳ノ補助金ヲ以テ之ニ充テ此爲換所ハ實

主及買主ノ中間ニ立テ却テ金錢取扱ヲ擔任セリ其後政府ハ巴厘府下ノ肉類商ノ數ヲ三百ニ減セント欲シ制限ヲ設ケ果シテ其數ヲ減レタルモ其結果ハ商業ノ自由ヲ妨ケ競争ヲ止メ市場ニ專賣權ヲ生レ以テ牧畜家及需用者大不利ヲ與ヘタルヲ認レトセヌ

全十一年道路修繕及開墾ノ制ヲ定メ全四年ノ法律ヲ補充完全ニ並木植附方ヲ嚴ニセリ道路ハ農業ノ進歩發達ニ欠クヘカラス要具ニシテ必スヤ善長ノ道路ヲ設ケ交通ノ便ナカルヘカラス故ニ本制度ノ如キハ其將來ニ農業ヲ利スルコト亦大ナルヘシ

並木植附ノ爲メニ安價ヲ以テ苗樹ヲ村邑及久民ニ拂下シカ爲メ從來廢棄ニ屬シタル地方ノ苗樹仕立場ヲ再興シ經費ヲ増シ成ハ新股レ或ハ場積ヲ廣メテ全十一年ノ如キハ其事業ハ甚ク活潑ニシテ數年ヲ出メシテ各縣皆テ該場ノ設ケナキハ非サルニ至ラントセリ

「アルホー」ニ於テハ巴ニ農業經濟科ヲ設ケ其結果ノ好キカ爲メニ内務卿ハ更ニ「リニキサン」ニ苗樹仕立場内ニ農業科ヲ設ケ農業ノ實

地及樹木栽培法ヲ教授セシメタリ

全十一年那翁帝ハ内務省ニ大變革ヲ行ヒ之ヲ分離シ新ニ工商務ノ一省ヲ設置シ「ニシ」伯卿ニ任セラレタリ蓋シ近來佛領ヲ擴張メ海濱ヲ増シ加フルニ英國諸港ノ封鎖ヲ行ヒタルカ爲メニ海關事務繁ク稅關員ヲ増シ其他工業ノ發達、海商ノ保護、英國商品取締、諸規則施行、訴訟事件等日々頻繁ニ至リ内務卿一人ノ能ク其任ニ堪フル所ニ非ラサルヲ以テ之ヲ分任シ政務ノ繁ヲシテ務メタリ此變更ノ爲メニ從來ノ農務部中給養事務即チ食料品ノ統計、市場ノ景況、食料品貯蔵ノ景況農產物收穫ノ狀況、商品輸出入ノ取締事務ヲ分離シ農務部ハ依然内務省ニ屬シ農業、學校、事業場、度量衡、職工學校及巴里工藝博物館ノ事務ヲ管理セリ

全十一年農務通常經費四百六十四萬〇三百二十九法幣臨時費百萬法幣合計五百六十四萬〇三百二十九法幣ナリトス

千八百年ヨリ全四年ニ至ル迄麥作不充分コレヲ又共商業ニ檢束ヲ加

ヘタルカ爲メニ麥類ノ價(一エントリットル)ハ平均凡ソ二十二法六十一
 參ニ達シタルモ其後全十年ニ至ルマテ幸ニ豐作打續キ其價頗モ若シ
 ク下落シ平均十八法四十七參ニ減セリ然ルニ全十一二ノ兩年旱魃強
 キカ爲メニ麥作最モ不真ニシテ其價ハ全十一年ニハ二十八法七參ヨ
 リ全十二年ニハ三十三法ニ昇騰セリ是レ歐洲ニ戰爭起リ貿易ノ途ヲ
 壅塞シ麥類ノ輸入ハ止マ埃及其他歐洲外ノ諸國ヨリ仰クニ在ルノ
 然ルニ其諸國モ亦旱魃ノ爲メニ麥類不作ニシテ英佛ハ共ニ其供給ヲ
 仰カント相争フモ產額ハ到底需用ニ應スルニ足ラズ佛國ノ如キハ不
 足ナカラズモ自國產ヲ以テ全國ノ需用ニ應セサルヲ得サルノ勢ナルニ
 依リ全十二年麥價ハ非常ニ騰貴レタリ人民ハ恐慌心ヲ懷キ妄說百出
 レ此騰貴ヲ防止スルニ法律ノ必要ヲ論スル者多シ爲メニ那翁帝ノ心
 少シ感動シタルニ際シ當時ノ給養局長ノ如キハ元來檢束主義ノ人ニ
 シテ革命ノ時已ニ此主義ヲ行ヒタルヲアリテ此回復ヲ帝ニ其意見ヲ
 陳シ政府干涉ノ必要ヲ論シ遂ニ千七百九十三年ノ如キ麥商ニ非常ノ

檢束ヲ加ヘタルモ絶テ其効ナキカ爲メニ重テ嚴重ノ法令ヲ設ケ麥價
 ニ制限ヲ置キテ三十三法ヲ超過スルヲ禁レタリ而テクローイ縣々令
 ハ法律ノ主意ヲ守リ之ヲ嚴ニ施行シタルニ益其騰貴困難ヲ來スヲ視
 テ大ニ悟ル所アリ麥價三十三法ノ制限ヲ目安ニ立テ斷然束縛ノ制ヲ
 緩メタルニ俄然麥類市場ニ幅濫レ來リテ價額ハ頓ニ下落シ遂ニ十九
 法四十參ニ減レタリ夫ヨリ全年ノ末迄其價值ハ十七法九十參ト二十
 三法五十九參ノ間ヲ昇降セリ而テ政府ハ此結果ヲ見テ其非ヲ悟リ價
 額制限ノ法律滿期ニ至ルモ亦之ヲ延期セズ翌十二年ハ麥作豐饒ナル
 ニアラスト雖モ地方ニ於テ其價ハ平均二十二法八十二參ヲ超過セス
 又巴里府ニ於テ政府ハ全十一二兩年間該府ノ給養ヲ擔任シタルカ
 爲メ國庫ノ損失ハ千二百萬法アリト雖モ府民ハ一トレテ其餘澤ヲ蒙
 ラス麥價ハ歐洲他ノ大都會ト同一ニシテ毫モ不廉ナルナキカ如キハ
 政府ノ干涉効ナキノ實證タリ
 フンブイエ牧場ニ牧夫學校ヲ設置シ其他之ヲ増設シタルモノ二三ヶ

所トス地主タル者ハ授業料及食料費トシテ毎月三十六法ヲ納ムレハ其子弟一名ヲ入學セシムルコトヲ得タリ其後農務局ノ意見ニ依リ内務卿ハ給費生二十名ヲ置キ縣令ノ推撰ニ據リテ之ヲ命シ専ラ動物取扱方ヲ教授セリ又全年ランプイエニ於テ夥多ノ羊毛、綿羊、牛、水牛、驢馬等ヲ公賣シタルニ各地ヨリ輻湊シ之ヲ購入スル者多シ其評一時世上ニ高キヲ極メリ

甜菜製糖及苧藍製造ノ業ハ政府ノ獎勵篤キカ爲メ將ニ實効ヲ奏セシトス甜菜糖ノ如キハ己ニ三百五十萬基以上產出世上ノ需用ニ應シ其價值ハ未ダ廉ナラスト雖ニ學術日進ニ際シ其製法ヲ容易ナラシメ以テ之ヲ安價ナラシムルコト敢テ難キニアラス全十二年農務局ノ上申ニ依リテ政府ハ製糖専門ノ化學校ヲ五ヶ所ニ設ケシ又帝ノ命ニ依リ内務卿ハ五萬町餘ノ耕地ヲ甜菜作ニ供シ該校製糖ノ原料ヲ倍養シ以テ毎年二萬基以上ノ砂糖ヲ產出セント計畫セリ其他ランプイエニ帝室所屬ノ製糖所一個ヲ設ケ年々二十萬基ヲ製造セシムルノ目的ヲ以テ

其經費ハ始終帝室費目ニ載セタリ政府ノ獎勵實ニ如斯ナルヲ以テ民間ニモ其業績々興起シ爲メニ特別保護ヲ蒙リ就中四ヶ年間ハ入邑稅其他諸種ノ稅ヲ要セサルノ特典ヲ享ケタリ斯クテ遂ニ政府ノ目的モ殆ト成リ製糖ノ業已ニ自國ニ起リ年々巨萬ノ金ヲ殖民地ニ出スニ及ハサルニ至リタルハ蓋シ當局者ノ奮勵尽力ノ効ヲラサルハナレ

苧藍製造ノ業漸次起リ之ヲ製スルモノ已ニ數ヶ所ニシテ其製品ハ敢テ印度產精藍ニ下ラス且ツ其價額モ亦千七百九十年ノ頃輸入ノ印度藍ニ比シ少シク高價ナルニ過キヌ又農務局ヨリ苧藍培養及製法ヲ記シ世ニ公布シタルカ爲メニ愈好結果ヲ顯シ此業モ亦タ當局者ノ目的ヲ達シタリ是レフロンクス及テニラン兩府ニ於テ調査委員ノ試驗報告ニ據リテ之ヲ證スルニ足レリトス

全十二年夏季ノ末ニ雲霞蝗羅馬府近傍ニ蔓延シ作物ヲ荒害スルモノ夥シ是ニ於テ縣令ハ其地方有識者中地主三名小作人三名ヲ撰拔シ委員ヲ設ケ害虫發生ノ場所及害虫及蛋撲殺ノ方法ヲ調査セシメ縣令ハ

其意見ニ基キ驅除法ヲ施行セリ而テ其費用ハ十分ノ五ヲ害虫發生ノ地ノ地主及小作人ニ共三分ヲ發生地近傍ノ地主及小作人ニ其二分ヲ其他縣下ノ地主及小作人ニ分擔セシムルノ法ヲ以テ委員ハ其分擔額ヲ割付シ直税ノ如ク之ヲ徵集セリ此驅除法ノ施行ハ辰モ嚴密ニシテ其害虫及蛋ヲ取りタルノ數日ニ莫大ナリシヲ以テ從來各年發生シ作物ヲ害シタルモ今回ノ驅除ヲ以テ悉ク其根元ヲ絶ツニ至レリ

全十二年内務省ハ農務ノ成績ヲ調査シタルニ當時政府ノ農政ノ方法其宜キヲ得タルヲ證スヘキヲ得タリ其實證即チ穀物ノ如キハ千七百九十年前ニ比シ二十分一ヲ増加シ葡萄酒ハ其産額ヲ倍シ木材ノ如キハ全年以前ハ悉ク外國輸入ヲ仰キタルモ其半額ヲ減シ余ハ自國產ヲ以テ之ヲ補ヒ植物製油類モ亦同一ニシテ其輸入額ハ凡ソ二千萬法程ナリシモ却テ之ヲ外國ニ輸出スルモノ已ニ巨額ニ達セリ其他羊毛ノ如キハ全年以前ニ在テハ自國產ヲ使用スルコトヲ欲セザリレモ今ハ其需用ノ半ハ皆テ自國産細線ノ羊毛ヲ以テ之ニ充テ又苧藍及亞麻

ヲ培養スルモノ其數ヲ増加セリ千八百一十二ノ兩年饑饉打續キタルカ爲メ一般ニ馬鈴薯ノ需用ヲ増シ農務局ニ於テハ頻リニ研究レ試驗ノ方法ヲ示シ帝國農業者之ヲ實驗レ遂ニ馬鈴薯ヲ以テ澱粉及玉澱粉ヲ製シ「パン」製造原料中三分一之ヲ混入シ大ニ利益アルコトヲ發明セリ

全十二年農務經費ハ四百七十萬一千二百四十法ナリトス

千八百十三年新ニ牧馬場及種馬厩場ヲ數ケ所ニ設ケタリ

苧藍製ノ精藍業ハ新ニ試驗場ヲ三ケ所ニ設ケ大ニ獎勵ヲ受ケタリ此試驗場ニ於テ目下研究ヲ要スルモノ四件アリ即チ第一印度ノ草藍ト苧藍精藍ノ産額多少第二製造ノ方法第三精製法第四其原價ノ高低ナリトスキエール試驗場長ヨチベール氏ハ極メテ簡單ニシテ費用ヲ要セサルノ製法ヲ發明シ且ツアムピ試驗場長ヒユイモラン氏ノ方法ニ依リ之ヲ精製セハ品質最美ノ精藍ニシテ半基ノ價ハ九法或ハ十法ニ過キササルコトヲ實驗シ即チ印度産ニ比シ却テ安値ナリトス蓋シ印度

及亞非利加ノ南島等ニ産スル草藍ノ收穫ハ一ケ年二回以内ナリト雖
 而佛國南方伊國栽培ノ苧藍ハ一ケ年十回ニシテ佛國中央及北方ニ於
 テモ三四回ノ收穫ヲ得故ニ苧藍ノ「エングタール」ノ産額ハ草藍ヨリ最
 モ多シ且ツ精藍産出高ハ同一ノ量ヲ以テ苧藍及草藍ト比較スルニ概
 テ相同シ依テ苧藍ハ安値ニシテ利益多キハ明白ノ事實ナレハ之ヲ以
 テ專ラ内國需用ニ應スルニハ其培養法ヲ普ク人民ニ示レ且ツ之ヲ獎
 勵スルニ在リトス政府ハ此目的ヲ以テ其獎勵法ノ計畫ヲ立テ先ツ帝
 室製藍所ヲ三ヶ所ニ設立セリ又民業ニシテ年々二百基以上ノ精藍ヲ
 製スル者ニハ賞金及諸稅免除ノ特典ヲ與ヘン「トチ約」アルビーノ製
 藍家フーシ氏ハ從來ノ製藍業擴張ノ爲メニ一萬法ノ補助金ヲ得タリ
 元來苧藍栽培ノ業未タ普クカラサル所以ノモノハ其方法ヲ知ルモノ
 至テ僅少ニシテ且ツ其種子甚ク不充分ナルニ是レ因レリ故ニ政府ハ
 苧藍栽培法及製藍法ヲ印刷シ地方ニ分配シ且三個ノ試驗場ヲ設テ專
 ラ其種子ヲ作り無代價ヲ以テ之ヲ有志者ニ下附セリ其他外國製精藍

ノ輸入稅ヲ重クシ以テ内國ノ製藍業ヲ保護セリ
 全十三年ノ發令ニ依リ巴里府ニ年々一回改良最美ノ羊毛市場ヲ設ケ
 六七兩月ノ頃五十日間之ヲ開キ市毎ニ毛質最美ノ品ヲ出ス者ニ賞金
 附與ノ制ヲ定メタリ
 土木局ハ農務局ト協議シ屢沼地排水開墾ニ關スル法令ヲ發シタリ其
 實行ノ日ニ至テハ將ニ農業及衛生上ニ善良ノ影響ヲ與フルヤ大ナル
 ヘシ
 獸醫學校ノ組織ハ千七百九十五年頃改正ノ議起リタルモ苦情ノ爲メ
 ニ中絶シ別ニ改正ヲ加ヘ依然トシテ舊制ヲ維持セリ是ニ於テ校長及
 總監督官等類リニ其改正ノ必要ヲ論シ農商局ハ帝ノ裁可ヲ經テ學校
 組織ノ改正ヲ發シアルホールノ學校ヲ以テ高等獸醫學校ト定メ外ニ
 初等學校ヲ四ヶ所ニ設置シ高等學校卒業ノ者ニ獸醫ノ免狀ヲ授ケ初
 等學校卒業者ニ蹄鐵工兼獸醫ノ免狀ヲ與ヘタリ此制度ハ千八百二十
 五年迄維持シタリト雖而學科不完全ニシテ實業ヲ全フシ學理ヲ勉メ

ス修業ヲ易々ニシテ醫學ヲシテ甚々淺薄ナラシメタルハ最モ遺憾ト云フヘシ

全十三年農務通常經費四百七十七萬五千法外ニ工商務省經費中製糖製藍及亞麻製絲保護及賞與金二百四十一萬法ナリトス

全十四年佛國ハ非常ノ事變ニ遭ヒ外敵ノ侵入ヲ蒙リ戰亂ヲ極メ殖産興業ニ關スル行政ノ力ヲ減殺シ帝政ノ末年ニ至リ僅ニ麥作播種ニ關シ地方官ニ訓令ヲ與ヘ又麵包商業ノ檢束ヲ嚴ニシタルニ過キヌ斯クテ四月二日ヲ以テ那翁第一世ノ廢帝及一族ノ失權ヲ布告シ次テルリ

一十七世即位シ元老院ヨリ之ヲ佛國王ト布告セリ

政体變革ノ爲メニ内務及工商務省ノ組織ヲ一變シ工商務省ヲ廢シ共事務ヲ内務大藏ニ分属シ農業中央顧問會ノ組織ヲ改正シ牧馬會ト改稱シ従前ノ幼ク農業牧畜ノ改良進歩ニ關スル事項ノ調査ヲ擔任ス

千七百九十二年以來佛國ハ其版圖ヲ大ニ廣メ其所領地ニ牧場、學校、製造所ヲ設置シタルモ千八百十四年戰敗ノ爲メニ悉ク之ヲ失ヒ又軍務

ノ巨費及殖民地保護ノ爲メニ内地ノ費途ヲ節減セント欲シ事業場ヲ廢シ殖産興業ノ爲メニ政府ノ獎勵保護ノ途ヲ杜絶スルニ至レリ牧羊場、牧馬場、苗樹仕立場、獸醫學校等多ク廢止シ甜菜製糖及製藍ノ獎勵及褒賞ノ法ヲ廢シ其製造所及試驗場ヲ閉鎖シメリノ一編羊購入ヲ止メ唯々從來ノ契約ニ依リ不得止ノ支出ニ應スルニ過キヌ

殖産興業ノ獎勵保護ヲ廢止シタルカ爲メニ自國ノ精藍ハ品質善良ニシテ價值モ高カラサルニ係ハラヌ未ダ幼稚ナルヲ以テ遂ニ印度藍ノ爲メニ壓倒セラレ成業スルヲ得ス然レモ一國ノ利害ニ非常ノ關係ヲ有スル甜菜製糖及メリノ一種牧羊ノ業ハ各幸ニ其効ヲ収メ已ニ一大物産ヲ爲セリ

那翁廢帝ノ後農政ノ形勢頓ニ一變レ沈滯ノ狀ヲ顯シタルハ兵馬ノ勢ト相同シ然レ帝政十五年間民業ヲ起シ富源ヲ開キ一國ノ富ヲ進メ歲々ノ所得ヲ増シタルモノ億ヲ以テ數フルニ至リタル餘業實ニ宏大ナリト云フヘシ

全十三年穀物ハ稍豐作全十四年モ亦將ニ豐饒ナラントスルノ景況ナ
 ルニ農民ノ負擔ハ重シ其作物ノ販路ハ殆ト閉塞ノ姿ナルヲ以テ其困
 難ヲ救フノ道ヲキカ如シ是ニ於テ穀物輸出ノ禁制ヲ一時緩メ其利餘
 ノ分ヲ販賣スルヲ許シタリ
 帝政ノ時「メリノ」綿羊ノ繁殖ヲ勉メ自國產羊毛使用者ニ特典ヲ與ヘ
 タルモ今ハ政策一變レ保護ノ途全ク絶ヘタリ然レハ佛國羊毛ハ其聲
 價ヲ諸國ニ博シ之ヲ購求セントスル者多シ而レテ農家ハ戰爭ノ爲メ
 ニ困難ヲ増シ爲メニ羊毛ヲ外國ニ販賣シ權利ノ自由ヲ得ントテ希望
 ス然ルニ織物製造家ハ其利害ヲ異ニシ羊毛ニ輸出ノ自由ヲ與ヘハ原
 料品ノ價額ヲ騰貴シ已ニ堪ヘサラントスルノ負擔困難ヲ急増加スル
 モノト見テ頻ニ其輸出ヲ拒ミ雙方互ニ政府ニ歎願セリ是ニ於テ政府
 ハ輸出ニ重稅ヲ課シ羊毛ノ輸出ヲ許シ又千八百六年ノ綿羊輸出ノ禁
 止解キ課稅ノ法ヲ以テ之ヲ制限シ其他外國產ノ羊毛輸入ヲ自由ニシ
 僅ニ課稅ノ法ヲ以テ其輸出入ノ權衡ヲ取ラントセリ

全十四年農業律草案脱稿シ政府ニ提出シタルモ政務多事ニシテ之ヲ
 審査スルノ暇ナク遂ニ法律トナラズシテ復テ放棄セリ蓋レ此草案ハ
 甚ク不完全ニシテ實際ニ適セサルモノ多ク殊ニ最モ緊要ナル開墾、灌
 漑、山林植附ノ件ヲ舉ゲザレハ或ハ其法律トナラサルハ敢テ惜ムニ足
 ラサルヘシ
 全十四年農務經費ハ三百萬〇〇千法ナリトス
 前年敵兵佛國ニ侵入シタルト其糧食ノ爲メニ許多ノ動物ヲ輸入レタ
 ルモ其手當食料ヲ欠キ斃死セルモノ多ク遂ニ傳染病ヲ發生シ尙翌十
 五年ニ至リ病毒益蔓延レ其勢猖獗ヲ極メタリ是ニ於テ從來ノ傳染病
 豫防取締規則ヲ施行シタルモ其効用少ナク殊ニ牛類ノ如キハ日々斃
 ル、モノ其數ヲ知ラス蓋シ傳染病豫防ノ如キハ必ス非常ノ果斷ヲ以
 テ之ヲ處分セサルヘカラサルニ處置爰ニ出テス爲メニ動物非常ノ損
 害ヲ禁リ漸ク翌年ノ終ニ至リ始メテ之ヲ防止スルヲ得タリ
 帝國農會ハ改名シテ王國農會ト稱シ全十五年該會ト地方農會トノ區

係ヲ定メ地方農會ハ年々其事業報告ヲ王國農會ニ出シ該會ヨリ之ヲ
 一括シ全國ノ農況及事業報告ヲ作り更ニ之ヲ政府ニ出シタリ
 全十五年ハ那翁一世再ヒ師ヲ興シ帝權ヲ回復シタルモ復タワーナル
 一戰敗ノ爲メニ王政トナリ同盟ノ國兵佛國ニ在ルモノ凡ソ百二十
 萬人ニシテ一時ニ糧食ノ需用ヲ増シ其欠乏ヲ告ケ經濟上非常ノ變動
 ヲ惹起シ或ハ更ニ麵包商業ニ檢束ヲ加ヘ或ハ農産物ノ輸出ヲ許シ或
 ハ之ヲ嚴禁シ施政ノ方向一定セス殊ニ過激ノ王黨ハ數年失フタルノ
 政權一時ニ回復レタルヨリ怨恨ヲ他黨ニ懷キ猜疑ノ心深ク勢ニ乘レ
 テ過激無謀ノ變革ヲ行政部内ニ行ヒ官吏ノ善惡動情ノ差別ナク苟モ
 帝政黨ノ疑アルモノハ悉ク之ヲ免職シ事務滯滞政務頓ニ閉塞シ上下
 與ニ非常ノ混雜ヲ覺ヘ當局者モ亦殖産興業ヲ願ルニ迫アラヌ
 全十六年佛國ハ戰亂及氣候不順ノ爲メ未曾有ノ災害ヲ蒙リ數十萬ノ
 敵兵内地ニ留リ事業ヲ妨害シ農産物ノ收穫ヲ損害シ穀物秣草ノ貯蓄
 ヲ欠キ掠奪横行シ軍用賦稅頻繁ニシテ農業者ハ資産ヲ破リ又農業ニ

從事スルモノアラザラントス地方ニ依リテ勞役スヘキ牛馬ヲ欠キ或
 ハ播種用ノ種子ニ乏テ告ケ耕地變レテ荒地トナリ氣候ハ不順降雨連
 月ニ涉リテ止マヌ或ハ河水漲溢シテ牧場ヲ冒シ牧草ハ水ニ浸サレテ
 動物發病レ葡萄ハ不作ニシテ殆ト收穫ナカラントス是ニ於テ政府ハ
 王國農會ニ命シテ浸水シタル牧草ノ利用法、病獸取扱方、冬期牧草ノ用
 ニ供スヘキ植物、牧草代用植物等悉ク記載セシメ地方官ヲシテ普ク之
 ヲ人民ニ示シ穀物其他食料品ノ輸入稅ヲ廢シ王室及王族費ヨリ一千
 百萬法ヲ出シテ救民費ニ供シ又地方官ニ命シテ冬期中職工ニ就職ノ
 法ヲ授ケ就中道路修築ノ業ヲ起シ或ハ窮民ニ物品ヲ賑恤セシメタリ
 政府ハ穀物ノ輸入ヲ獎勵セント欲シ賞與金ノ法ヲ設ケタリ本年ノ如
 シ危急存亡ノ場合ニ於テハ人心恟々トシテ憂慮ニ堪ヘス穀物商ノ外
 ニ自家用ノ爲メ又ハ投機商ノ爲メニ穀物ヲ購求セント欲シ地方ヲ奔
 走スル者アルハ決シテ怪ムニ足ラス然ルニ政府ハ或ハ穀類ノ騰貴ヲ
 以テ是等ノ所爲ニ歸シ爲メニ嚴重ノ法ヲ設ケ之ヲ禁制シ又本營業者

ノ爲メニ不得止最モ繁雜ノ手續ヲ定メ商業ノ自由ヲ妨害シ穀物ハ益
 騰貴シ小麥「エクトリトル」ノ價二十二法二十四參ヨリ俄然昂貴シ三十
 三法九十六參ニ達シ翌十七年ニハ四十五法四十六參ニ騰貴セリ
 次テ又地方官ニ三個ノ訓令ヲ與ヘタリ即チ第一ハ馬鈴薯ヲ貯蓄シ次
 キノ収穫期迄之ヲ保存スルノ法第二ハ馬鈴薯ヲ干燥シ以テ澱粉ヲ製
 スルノ法第三ハ早生馬鈴薯ノ培養法ニシテ食料ヲ補充シ以テ維持ノ
 方法ヲ訓諭セリ
 政府ハ頻ニ農家窮民ノ救助ヲ勸告シ王族及有志家ハ此危難ヲ濟ハン
 ト大ニ盡力シ國王及王族ハ千百萬法ノ外ニ巨萬ノ金ヲ投シテ巴里府
 其他大都會ニ於テ貧民ニ麵包及「スーブ」ヲ給恤シ農家及穀物商中或ハ
 低價ヲ以テ食物ヲ賣却スルモノアリ實ニ窮民慘狀ヲ極メ見ルニ忍サ
 ル所アリ屯營ノ敵兵ニ至ル迄各應分ノ力ヲ尽シ儲金ヲ以テ之ヲ救ヘ
 サルモノナシ又政府ハ外國ヨリ巨額ノ穀物ヲ購入シ之ヲ各地ニ分配
 シ市價ヨリ低價ヲ以テ之ヲ賣却シタルニ全國ノ都府亦之ニ習ヒ儲金

チ以テ穀物ヲ購入シタリ抑政府及地方廳穀物ヲ購入シ市價ヨリ低價
 チ以テ之ヲ賣却シタルハ專ラ慈善ノ主義ニ基キタリト雖ヒ亦失策ナ
 ルチ免レヌ蓋シ是カ爲メニ商業家ハ政府ト競争スルヲ能ハスシテ市
 場ヲ去リ自然穀物ノ輸入ヲ妨ケ其價格ハ一旦人爲ヲ以テ制シ得タル
 モ需用供給自然ノ道理ニ據ラサルカ爲メニ遂ニ之ヲ維持スルヲ能ハ
 ス却テ自然低落ノ期チシテ遲滞セレメタリ

此危急存亡ノ秋ニ方リ上下與ニ其力ヲ極ヒ應分ノ救助ヲ盡シタルモ
 如何セン氣候不順降雨頻リニシテ水陸共ニ運輸ノ便ヲ欠キ河水漲溢
 シ道路泥濘ニシテ窮民ハ已ニ蜂起シ糧食ヲ掠奪シ道路安全ナク運搬
 ニ護衛ヲ要シ穀類ハ愈拂底愈騰貴セリ斯クテ翌十七年ノ春ニ至リ
 ルモ貯蓄ノ糧食ハ殆ント消費シ盡クシ篤志家ノ救助モ亦タ將ニ竭キ
 ラントス穀物ノ價格ハ四十四法九十四參ヨリ已ニ四十五法四十六參
 ニ達シ巴里府其差ハ悉ク府廳ノ負擔トセシモ僻陬ノ地ニ於テハ如斯
 負擔ニ應スルヲ得サルカ爲メニ其價額ハ四法或ハ五法ニシテ地方ノ

小民ハ之ヲ求ムルヲ能ハス或ハ飢餓ニ濱シ草根木皮ヲ食ヒ野ニ餓斃アリ男女老若打毘シ二十人或ハ五十人或ハ百人ノ隊伍ヲ作り村落ヲ徘徊シ公衆ニ憐ヲ乞フ巴里府ニ於テハ許多ノ窮民往來ノ左右ニ羅列シ飢ニ堪ヘスレテ救恤ヲ請フニ至レリ是ニ於テ政府ハ一層救濟ニ奮勵シ穀物搭載ノ外國船ニ入津其他一切ノ稅ヲ免除シ又馬鈴薯培養ヲ獎勵スルカ爲メニ特ニ三萬法ヲ出シ外國種子ノ購入費ニ供レタリ巴里府ニ於テ麵包賣買ノ爲メニ特ニ金錢取扱所ヲ設ケ麵包商ト政府ノ間ニ生スル諸計算ヲ取扱ヒ政府ヨリハ千九百萬法巴里府廳ヨリハ五百萬法ヲ出シ以テ麵包賣買ノ差引差額ノ資ニ充テ其他功手發行ノ特許ヲ與ヘテ年六朱ノ利子ヲ附シ之ヲ使用セシメタリ政府ハ各地ニ於テモ同様ノ金錢取扱所ノ設立ヲ獎勵シ穀物ノ賣買ヲ取扱ハシメタリ此取扱所ハ有志者慈善者ノ結合ニ依リテ成リ毫毛ノ利益ヲ計ラズ倉庫費其他諸雜費ヲ自辨シ且ツ各自皆無給ニテ從事勉勵シタルハ實ニ實費スヘキ美事ナリトス

麥粉ノ如キハ運搬中屢浸水ノ害ヲ蒙リ之ヲ製造用ニ供スルヲ得スシテ損失莫大ナルヲ以テ利用方ノ調査委員ヲ作り之ヲ講究シ併セテ小麥代用品ヲ穿索セシメタルニ各目的ヲ達シタルハ其方法書ヲ地方官ニ送りテ各人民ニ教示セリ王國農會モ亦有益ノ調書ヲ地方官ニ送り糧食ノ欠乏ヲ補充センコトヲ勉メリ如斯上下共ニ百方心ヲ尽スト雖ヒ穀物運搬ニ種々ノ困難アリ着荷充分ナラス麵包ノ價額ハ依然トシテ昂貴シ巴里其他大都府ニ於テハ制限ニ依リ一法廿五參地方ニ於テハ三法乃至五法トセリ無智ノ地方窮民ハ其價都鄙ノ間ニ非常ノ差異アルヲ見テ其原由ヲ探究セス一概ニ投機商ヲ補助シ窮民ヲ賣ルモノト想像シ各自憤怒結合シ商家ヲ襲撃シ暴行ヲ加フ是ニ於テ政府ハ地方ニ依リ或ハ兵力ヲ以テ之ヲ防止セサルヲ得サルニ至レリ然レ人固リ反逆騒亂ノ企圖アルニアラス畢竟其饑餓ニ迫リ不得止ニ出ダルモノナレハ警察官等ノ説諭ニ依リテ解散スルモノ多ク其間執拗ニシテ屈服セス兵力ヲ以テ鎮定シタルモノ僅ニ二三ヶ所ニ過キサリ其

鎮定ノ際死傷アリテ人民モ少シク恐怖心ヲ懷キ稍鎮靜ニ皈レ且穀物
 モ漸次來着シ農業稍豐作ノ徵ヲ顯レ諸職業稍回復シ事業モ亦將ニ起
 ラントセリ政府ハ一時ノ鎮壓ヲ以テ満足スヘキ事情アルニ抱ラス當
 時軍法裁判所ハ此蜂起ヲ以テ現政府ニ抗抵シ反逆ノ謀略アルモノト
 誤認シ窮民ハ男女ノ差別ナシ簡單ノ審問ヲ經テ刑罰ニ處セラレタル
 者多シ是ニ於テ政府ハ此苛酷ノ處分ヲ中止センカ爲メニ特赦ノ令ヲ
 發シ未決ノ者ニハ免訴ヲ許シタリ
 抑物品價額ハ以上國難ノ場合ニ於テ現出シタル事實ニ徴レ決シテ人
 爲ヲ以テ濫ニ制シ得サルヲ知ルニ足レリト中央政府及地方廳ハ
 人民ノ恐懼心ヲ防キ慈善ノ心ヲ懷キ困窮ヲ救助セント欲シ麵包ノ價
 額ヲ低落シ以テ貧民ニモ之ヲ分與センヲ計リタリ然レハ此方策ハ
 公平ノ道理ニ悖リ人民ノ一部ヲ利スル爲メニ全國民ノ負擔ヲ増シ人
 民ノ姦計或ハ投機心ヲ涵養シ世人ハ政府ヲ以テ姦計者又ハ投機商ヲ
 保護シタルモノト認メ政府モ亦其責ヲ免ルヲ得サルヘシ且ツ夫レ

政府干涉シ糧食ヲ貯藏シ或ハ低價ヲ以テ之ヲ賣却スルカ爲メニ商家
 ハ物品價額ノ變動ヲ恐レ損失ヲ被ラサラン爲メニ其購入ヲ見合セ自
 然其供給ヲ増サ、ル故欠乏ノ困難ヲ救フ能ハサラレム
 内務卿ニ更迭アリ新任レイチ氏ハ從來干涉政策ノ非ナルヲ悟リ國王
 ニ意見書ヲ呈シ之ヲ一變セント爲セリ
 全十六年及全十七年間穀物購入救助費ノ爲メニ國庫ヨリ支出シタル
 モノ實ニ三千〇五十八萬壹千六百六十二法ノ巨額ナリトス
 全十七年ノ收穫ハ稍豐饒ナルノ徵アリ然レモ地方一般ニ糧食欠乏ノ
 秋ニ際シ或ハ成熟ヲ待スレテ之ヲ収納スルノ慮アリ爲メニ政府ハ王
 國農會ヲシテ其豫防ノ注意ヲ爲サシメタリ
 斯ル凶年ノ後ニハ開墾論ノ起ルハ其常ナリ本年モ亦果シテ此議論類
 ニ盛ニシテ遂ニ政府ハ地方官ニ命シテ原野沼地ノ統計ヲ作ラシム蓋
 シ荒蕪地ハ邑有ニ屬シタルモノ最モ多キカ故ニ地方官ハ其開墾事業
 ニ關シテハ邑會及縣會ニ協議シ其意見ヲ問ハサルヲ得サルヲ以テ之

ニ協議シタルモ各會ニ於テ之ヲ企圖スルモノナカリキ
 近年孤狼非常ニ繁殖シ農業ヲ害シ全十八年撲殺法調査委員ヲ作り其
 方法ヲ定メ之ヲ地方官ニ達シ施行セシメ且其撲殺褒賞金ノ制ヲ定メ
 タリ全年農業者中農業律ノ必要ヲ論シ其編纂ヲ請願スル者アリ是ニ
 於テ政府ハ調査委員ヲ命シ其必要ノ有無ヲ調査セシメタルニ委員ハ
 該律ヲ以テ必要トセス現行ノ法律ヲ以テ足レリトシタル爲メ該律
 モ亦消滅セリ

全十九年ドカールズ氏内務卿ニ任セラレタリ氏ハ有識ノ農學士ニシテ
 農政ヲ活潑ニシ農業ノ進歩ヲ計ラント欲レ第一着ニ農業顧問會ノ組
 織ヲ改正シ農業ニ關スル法律及行政計畫ノ件ハ之ニ諮問レ又農業ノ
 改良進歩獎勵褒賞ニ關シ其意見ヲ提出セシムルノ任ヲ定メタリ而テ
 會頭ハ卿躬ヲ之ニ任レ常設會員ヲ十名ト定メ外ニ各縣ニ一名ノ通信
 員ヲ置キタリ通信員ニハ地方ニ於テ有識ノ農業者ニシテ五十ニシテ
 「ル」以上ノ耕地ヲ有スル者ヨリ撰拔シ巴里府ニ滞在在中ハ會議ニ與カ

ルヲ許ス然レ投票權ヲ有セス又其所有地ノ一部ニハ必ス新式善良
 ノ耕作方ヲ施シ農會ヨリ告示スル所ノ試験ヲ實行レ且ツ其地方農業
 ノ狀況及要件ヲ通報スルノ義務ヲ負擔セリ蓋シ此通信員ハ單純ノ學
 者ニアラス實地ト學理ヲ併有スル者ニシテ善良ノ新耕作ヲ施行シ即
 チ各地方ニ模範場ヲ設ルモノニシテ無學ノ農民ヲ誘導シ目前ニ實例
 ヲ示シ以テ其舊慣陋習ヲ脱セシムルニ屈竟ノ良法ナリトス且農會ヨ
 リ命スル所ノ試験ヲ各地ニ施行シ其結果景況ヲ報道セシメ廣ク實験
 ヲ集メ以テ事ノ適否ヲ知ルノ便ヲ與ヘタリ

全十八十九ノ兩年ハ農作最モ豐饒ニシテ小麥ノ價值ハ十三法乃至十
 法ニ下落シタルヲ以テ穀物輸出ノ禁ヲ緩メ輸入ノ穀物ニ稅ヲ課セリ
 然レハ佛國ノ船舶ニ搭載シ輸入シタルモノニハ減稅シ以テ自國ノ商
 船ヲ保護シ大ニ其擴張ヲ助ケタリ

ランニヨンジニ於テブリセー氏ハ一ノ市場屋舎ヲ建築シ稅率ヲ定メ
 此市場ニ於テ物品ヲ賣買スル者ニ席料ヲ課シタルニ其稅多キニ失ス

ルヲ以テ苦情ヲ引起シタリ邑廳ハ所有主ニ協議シ之ヲ邑ニ賣却或ハ貸與センコトヲ勸告シタルモ所有者ハ之ヲ拒絕シ遂ニ法庭ニ訴出テ、公然タル取引場ハ邑ヨリ豫メ所有主ニ協議シ賣却或ハ貸與ノ價額ヲ定メタル上ハ公共用ニ供スルコトヲ得ヘシト判定アリタリ爾後斯ル事件ハ皆此例ニ依リテ處分スルコトナレリ

全十九年地方稅ニ苗樹仕立場、農會、獸醫等ノ獎勵及保護金ノ費目ヲ設ケタリ又當時內務卿ハ農會ヲ以テ農業進歩ヲ計ルニ最モ緊要ノ機關ト認メ地方官ニ訓令シテ各區各部ニ其設立ヲ勸告セシメタリ而テ野ハ區ノ農會ヲシテ專ラ學理ヲ講究セシメ郡ノ農會ニハ農業ノ實地及共進會ノ件ヲ專任セシムルヲ以テ其目的トセリ

果樹栽培ノ術ハ巴里近傍ニ於テハ大ニ進ミタルモ全國ニ於テハ未ダ幼稚ナリ千七百年ノ末政府ハ之ヲ改良セント欲シタリユキサンアール苗樹仕立場ニ於テ其術ノ學科ヲ設ケエルビ氏ヲシテ教授セシメタルニ千八百十四年全十五年ノ事變ノ爲メニ之ヲ廢棄セリ是ニ於テ內

務卿ハ大ニ此術ノ必要ヲ感シ再ヒ此學科ヲ興シ生徒ノ入學ヲ許シ授業科ヲ要セシメシテ之ヲ教授セシメタリ

英國ニ於テハ千八百年ノ初メヨリ年々農業共進會ヲ開設シ其費用ハ皆有志者ノ獻金ヲ以テ辨シ會場ハ農業市場ニ設ケ莖モ裝飾ヲ加ヘス地主、小作人等更ニ貧富ノ差別ナク悉ク之ヲ一場ニ集メ耕作法ノ得失穀物及種子ノ善惡、肥料ノ配合及使用ヲ論議スルモノタリドカース氏ハ大ニ是ニ注目シ親ク此方法ヲ研究シ殊ニ全十九年倫敦ノ食用品市場ニ於テ共進會ヲ催シ褒賞ニハ四千法ノ賞金及六百法ノ賞牌ヲ附與シ諸侯ハ農夫ト伍テ同フシ互ニ其功ヲ競争シ就中一貴族ハ親シク養成シタル四歳ノ牛一頭ハ肥大ニシテ且美ナルヲ以テ賞金百五十法ヲ得其名譽ヲ博シタルコトヲ公言シタリシニ氏ハ之ヲ聞キ其感覺ニ一層深キヲ與ヘタリ是ニ於テ氏ハ此實況ヲ各地方官ニ示シ如何ノ方法ニ依リ內國ニ如斯共進會ヲ組織シ得ヘキヤ否其意見ヲ下問セリ是レ即チ佛國ニ食用動物共進會開設ノ階梯ナリトス其他氏ハ專ラ勸農ニ心

ヲ用ヒ開墾、排水、灌溉工事ノ計畫ヲ立テ大ニ爲ス所アラントセシモ一朝冤罪ヲ蒙リ遂ニ其目的ヲ達スルヲ能ハザリキ

印度ノ毛製肩掛地ハ千七百八十八年初メテ佛國ニ輸入シ後々漸次共流行ヲ來シ世人モ大ニ其製造ニ注目シ就中製造家ベランセー氏ハ夙ニ此業ニ熱心シ其製法ヲ研究シ遂ニ製造器械ヲ發明シ千八百一年ノ工業博覽會ニ之ヲ出品セリ是ヨリ後々製造家ノ競争益盛ニシテ製造器械ノ改良ヲ促シ殊ニ彼ノ有名ナルジャカール機ノ發明アリテ千八百十八年ヨリ之ヲ用ヰタリ然ルニ印度製品ノ原品ニ種々ノ説アリ或ハ綿羊ノ一種或ハ山羊ノ一種ト云ヒ或ハ駱駝ノ毛ト云フ是ニ於テ農學士兼製造家某亞細亞ニ旅行シ之ヲ搜索シタルニチペー國ノ山邊ヲサ地方ニ産スル山羊ノ一種ナルヲ發見セリ

此山羊ハ歐洲ニ於テ未ダ曾テ知ラサル所ノ一種ナリ當時佛國ハ勿論英獨國ニ於テモ肩掛地製造已ニ行ハレ其原料品需用ノ許多ナルヲ以テ此山羊ノ繁殖ハ即チ國ノ一大物産タルヘキヲ確信シドカーズ氏ハ

國庫ヨリ二十八萬五千法ヲ出シテ之ヲ購入シ地ヲトシテ放牧シタルモ繁殖セス漸次悉ク斃死セリ蓋シ是レ特別ノ取扱ヲ要シタルモ成ハ之チ欠キタルニ原由スルナランカ

其他英國エコス産ノ山羊ヲ移植シ其蕃息ヲ試ミタルモ毛質不長ニシテ經濟上引合サルヲ以テ之ヲ放棄セリ次々又英國ヨリ支那産ノ豚ヲ輸入シタルニ其結果最モ好ク殊ニ其蕃息極メテ速ニシテ肥養ニ便ナリ之チ分ケテ各地ノ顧問會通信員ニ與ヘタリ是レ現今佛國ニ繁殖ノ支英雜種豚ノ發端ナリトス全十九年牧畜家某ヲ瑞西國ニ遣シ牛類ヲ購入セシメ自國産ノ雜種ヲ作り大ニ牛種ヲ改良センヲ企タリ然レテ遂ニ其効ヲ奏セズ

ドカーズ氏ハ殖産興業ヲ勸メ甜菜製糖ノ如キハ其保護ニ依リテ甘蔗製糖ト充分ニ競争ヲ試ミ益昌盛ニ至リ且ツ氏ハ農業教育ヲ普及セント計リ農學校ノ設ケナキ地ニ在テハ新聞ヲ利用シ農事ヲ掲載セシメタリ其雜誌中ニハ官ノ保護ヲ受ケタルモノ二個アリ氏ノ農業振起ノ

計畫已ニ成リ其實行ノ効モ今將ニ顯レントスルニ際シ一朝冤罪ヲ蒙
リ遂ニ其職ヲ辭セリ

中略

千八百四十年以後ハ農政稍其面目ヲ一變シ從來試驗ノ姿ヲ脱シ施政
ノ方向ヲ定メ經濟上重要ノ變更ヲ行ヒ農業者其歩ヲ進メ者々改良
ノ途ニ就ントス那翁三世ハ千八百四十八年ノ末大統領ノ撰ニ當リ政
務繁劇ニシテ常ニ之ニ執掌シ未ダ意ヲ農事ニ回スノ意ナシ然レ全五
十二年ニ至リ遂ニ帝政ノ基礎ヲ定メダレハ亦將ニ其意ヲ農事ニ委ネ
前者ノ經驗ヲ鑑ミ其長短ヲ取捨レ以テ大ニ農業ノ振起進歩ヲ計ラン
トス
那翁帝三世ハ夙ニ農業ニ熱心シ頻ニ農民ヲ慈愛シタリ是レ一ハ其
政略上ニ出タルモノアリト雖ヒ亦メ親テ該業ヲ愛顧スルノ衷情ナカ
ルヘカラス帝曾テ英國ニ於テ理簡工事ノ効用ヲ熟察シ當局者モ亦ダ
此工事ヲ自國ニ輸入シ以テ土地改良ヲ計ラントテ勸告シ帝之ヲ嘉納

シ時宜ヲ待テ此法ヲ洽ク全國ニ知ラシメト欲シ先ツ勅令ヲ下シ農務
局勸農費目中ヨリ年々二萬乃至二萬五千法ヲ積立テ以テ土管製造器
購入費ニ備ヘ而テ此器械ハ無代價ニテ煉瓦製造人ニ下附シ約束ヲ立
テ以テ能ク之ヲ保存シ且ツ其製管ハ官ヨリ定メタル低價ヲ以テ賣却
スルノ制ヲ定メントセリ
從來年々地方農會ニ補助金ヲ與ヘ牛羊改良ノ爲メニ種子動物購入費
ニ備ヘタルニ本年ヨリ亦其額ヲ大ニ増加シタリ帝ハメロイギニ地方
巡遊ニ際シ該地ノ沼ニ排水工事ヲ施シ以テ棄レタル土地ヲ耕地ニ利
用セント欲シ其計畫ヲ命シタルニ調査モ迅速ニ捗取リ此工事ヲ以テ
荒蕪地五十萬「エングター」ヲ變シテ耕地ニ化シ殊ニ此沼地ハ病毒ノ漏
源ニシテ其地方七萬五千ノ人口ヲ擧テ減減セシメントスルノ勢ナリ
シモ將ニ其病源ヲ絶ントス
農業上ノ救助金額ヲ増加シタルヲ從前ヨリ五六割ニ達シ又動物傳染
性肺癆症豫防法或ハ治療法發明ヲ獎勵シ壹萬法ノ賞金ヲ設ケタリ

農科大學ノ設置ハ既ニ千八百四十八年ニ定マリヘルサイコノ官有地ヲ以テ之ニ供シ學理實地研究ノ便ヲ計リ其建築モ亦巨額ヲ費シ是カ爲メニ一時議院ニ於テ議論器々トシ遂ニ辭職シタル者アリタル程ニシテ其形狀壯麗ナリ全五十二年生徒ノ募集ニ着手セント已ニ省遠ヲ發セシニ俄然勅令ヲ以テ大學ヲ廢シ其蒐集品及動物等悉ク分ケテ他ノ農學校ニ讓與セシメタリ抑如此突然變更ヲ來シタル所以ハ種々ノ口實アルモ其實ハベルサイコ王宮ヲ帝室ニ屬シ近傍ノ官有地ヲ併有シ宮側ニ人ノ輻湊繁雜ナカラントスルノ帝意ニ外ナラス是最モ農學ノ爲メニ大ニ惜ム所ナリ夫レ此大學ハ物件能ク整頓シ佛國ノ爲メニ大ニ其効ヲ奏シ學理實業ニ精練ナル農學教授農業監督官、茶農家ヲ養成シ以テ當時佛國農事ノ一欠点ヲ補充スル所アラントセシム一朝之ヲ廢棄シ有益ノ物件ヲシテ濫ニ散亂セシメタルハ農業ノ爲メニ一大不幸ナリトス

食用動物共進會ハ漸次各地ニ増設シ英國麗「ロニフォーム」即短角牛、白

國產ノ雜種ハ好結果ヲ奏シ地方ニ依リテハ始終純粹ハ內國產改良牛ノ右ニ出テ勝利ヲ得タリ

種子動物共進會モ亦均シシ盛ニ行シ千八百五十二年ニハ之ヲ各地ニ増設シベルサイコニ於テハ大共進會ヲ設ケ各地方共進會ノ優等者ヲ相集メテ其優劣ヲ競争セシメ親ク精粗ヲ鑑別シ優等者ハ益進ミタルヲ以テ劣等者ハ奮テ改良進步ノ方法ヲ攻究スルニ至リタリ

全五十二年ハ農業不作ニシテ穀物全國ノ需用ニ不足シ大ニ政府ノ注意ヲ惹起シ饑饉ノ豫防ニ專ラ其力ヲ盡シタリ當時經濟學ハ已ニ進歩シ稍從來ノ姑息說ヲ矯正シ十五ケ年以來穀類麵包食肉ノ如キ食料品ノ商業上屢々精密ノ調査ヲ行ヒ經驗ヲ積ミ當局者モ亦刮目シテ其眞理ノ存スル所ヲ悟リ饑饉ノ豫防ニハ姑息ノ檢束主義ヲ捨テ斷然寬大ノ自由主義ヲ取り成ルヘク商品輸入ニ便利ヲ與フルノ一策アルヲ知リ將ニ其自由主義ヲ施行セントスルモ兎角掣肘ヲ蒙リ恣ニ如クナラス要路ニ在ル者或ハ檢束主義ヲ固守シ貿易上施政ノ首尾貫徹セス

其間往々組語混雜ヲ生シタリ政府ハ先ツ總テ穀類ニ關スル輸入稅ヲ減シ鐵道會社ノ穀類運送賃ヲ定價外ニ引下クルヲ許シ通船稅ヲ廢シタリ是レ固ヨリ輸入ノ便宜ヲ計リ必要ノ處分ナリト雖モ遂ニ穀物及蔬菜ノ輸出ヲ嚴禁スルニ至リタルハ實ニ商業ノ自由ヲ妨害シタルモノナリ

如斯狹隘ノ政策ヲ執リタルハ畢竟那爾帝ノ信任ヲ受ケタル要路ノ者ノ説行ハレ當局者ノ目的ニハ非サルナリ又本年ノ初メニ當リ農業大諮問會ヲ開設セントシ遂ニ成ラズシテ延期シタルモ亦此固陋狹隘ノ説ヲ有スル者自由主義ノ注入ヲ恐レタルニ是レ因レリ而テ此回ノ不作ハ往年ト異リ數年ニ涉リ殊ニ未ダ曾テ見サル所ノ妄説類リニ流傳シ是カ爲メニ政府ノ煩勞盡カシタルモノ亦タ容易ナラス

同年內務省ヨリ農商務ヲ分離シ工部ト合シ新ニ農商務兼工部省ヲ組織セリ蓋シ內務省ハ內國ノ政略ヲ掌握シ往々農商工ノ大体上利害ニ關スルモノアリテ施政上不便ナル爲メニ遂ニ之ヲ分離セリ

全五十三年ノ頃ハ作物ニ種々ノ病類ヲ發生シ馬鈴薯ノ如キハ已ニ全四十五年以後引續キ病害ヲ蒙リ不作ヲ極メタルヲ以テ其救濟法ヲ發明スル者ニ賞金附與ノ獎勵法ヲ設ケ殊ニ帝國農會ハ專ラ其方法ヲ研究シ馬鈴薯種子撰方耕作法収穫法並保存法ヲ世人ニ公示シタルハ幾分カ其害ヲ防シテ得タリ然レ病種一ナラサルカ爲メニ頗ル豫防方ニ困難シ農業ノ損害甚シトセス

全四十六年以來甜菜ニ二種ノ病害ヲ發シ就中其一種ハ猛烈ニシテ全五十二年ノ如キハ砂糖ノ產額ヲ減シタルヲ實ニ二千萬基ナリトス佛國ノ富源タル一大物產即チ葡萄モ亦災害ヲ死ル、一能ハスシテ其ノ一種ヲ生シ葉、莖、果實ヲ害シ其蔓延甚ク迅速ニシテ其病源ヲ殆ト全國ニ流シ殊ニ全五十二年ハ其勢極メテ猖獗ナリキ又其病原ニ關シテ二派アリ何レカ眞理ニ恰當スルヤ未ダ確定セス然レ帝國農會ノ調査研究ニ依リテ該病ニ罹リタル葡萄ヲ以テ製シタル葡萄酒ハ衛生ニ無害ナルヲ發見レタルハ最モ緊要ノ事ニシテ人心ハ大ニ安堵スルヲチ

得たり
 其他穀物、秣草、果樹ヨリ養蠶ノ業ニ至ル迄此回ノ災害ニ罹ラサルハナ
 シ就中蠶ニ種々ノ病症ヲ發シ其勢猛烈ニシテ學理ノ力ニ依ル亦容易
 ニ之ヲ防止スルコト能ハス遂ニ調査委員ヲ作り其病原ヲ研究セシメタ
 リ
 全五十三年ノ如キハ非常ノ凶歲ニシテ農家ノ損害實ニ莫大ナリ茲ニ
 於テ此損害負擔ヲシテ成ルヘク輕減セント計ル者アリテ農業保險ノ
 制設置ノ議起リ政府ヨリ各年救助費ニ供スル經費ヲ以テ官立ノ保險
 社ヲ設クルノ論盛ニ行ハレタリ依テ調査員ヲ命シ其利害得失ヲ攻究
 シタルニ種々困難ノ事情アリ到底行ハレ難キ理由ヲ報告シタリ然
 當時此議論盛ニシテ其勢力モ亦甚ク強キカ爲メニ帝ハ特命ヲ下シ更
 ニ調査委員ヲ作り再ヒ其審議ニ附シタルニ前報道ヲ以テ至當ト認定
 シ遂ニ廢案ニ歸セリ
 當時政府ノ農事ニ注意スルヤ最モ周密且親切ニシテ苟クモ農業ノ進

歩農産増殖ニ關スルモノハ一トシテ忽ニセス農業ノ利益ヲ計ルニハ
 其法律制度ノ外ニ學理、資本勞力、所有權、行政等協力一致ノ助ナカルヘ
 カラサルヲ悟リ務メテ其發達活用ヲ獎勵シタリ經費中保護金額ヲ增
 加レ種々ノ事業ヲ保護シ其金額モ亦様々ニシテ多キハ數萬少キハ數
 十法ニ過キス即チ借ボントー氏ニハ葡萄酒研究用顯微鏡購入費ニ三
 十法ヲ與ヘタリ故ニ政府ハ農業ノ改良ヲ勸ムルニ於テ苟モ農事進歩
 チ計ル者ニハ卑賤ノ勞力者、有名ノ學者ノ差別ナク齊ク之ニ保護ヲ與
 ヘタリ
 千八百五十四年ノ初メ食料品欠乏シ已ニ極點ニ達シ小麥、豆、エクトリッ
 トルノ價ハ三十二法以上ニ騰貴シタレハ政府ハ益種々ノ方法ヲ設ケ
 麵包ノ昂貴ヲ防ント務メタリ其方法ハ即チ從來ノ檢束主義ニシテ千
 七百八十九年ヨリ全九十五年ニ至ル迄チユルゴ氏實施ノ政策ヲ再行
 シタルニ過キス人民ニ安價ヲ以テ麵包ヲ拂下ケ下等人民ヲ救済スル
 チ以テ目的トシタルモ其目的ヲ達セサルノミナラス國庫并巴里府ノ

損失莫大ナリトス此策ノ拙ナルハ當局者ノ固ヨリ能ク知ル處ナリト雖也一ハ要路ニ在ル者常ニ固陋説ヲ守リ一ハ那翁帝モ那翁第一世ノ政策等ヲ墨守シ且ツ下等人民ニ仁政ヲ施シ其甘心ヲ得ント我々務メラル、ノ餘リ遂ニ其方向ヲ誤リテ密ニ目的ヲ達セサルノミナラス反テ人民ノ怨恨ヲ醸成シタリ

理簡工事ノ法律モ已ニ成リ全五十四年ヲ以テ之ヲ決議發布シタリ蓋此法律ハ農務局ノ起案ニシテ那翁帝治世中農業及田野所有權ニ關スル法律中最モ緊要ナルモノ、一ナリトス

千八百四十九年ノ頃内務卿ビニフヘー氏ハ曾テ博覽會ノ教育上ニ於ル効用ヲ感シ全年開設ノ内國博覽會ノ規模ヲ大ニシ萬國博覽會ニ變シ博ヲ各國ノ物品ヲ蒐集スルハ人民ノ利益ナルヘント考案計畵ヲ立タリ而テ當時其主意ヲ贊成セサルモノナカリシト雖也時日已ニ切迫シ其猶豫ナキヲ以テ唯テ内國博覽會ヲ開設シタルノミ然ルニ英國ニ於テハ早クモ其起案ノ方法ヲ開キ即チ千八百五十一年ヲ以テ第一ニ

之ヲ實施セリ是ニ於テ佛國政府モ斯進步ニ後レテ取ラザランヲ欲シ千八百五十四年ノ發令ヲ以テ五十五年巴里府ニ萬國大博覽會開設ノヲ定メ直チニ委員ヲ作りタリ

法朗西國農務沿革

(自千八百二十八年一月四日)	商工務省
(自千八百三十一年三月十三日)	内務省
(自千八百三十四年四月四日)	商務兼工部省
(自千八百三十六年二月廿三日)	商務省
(自千八百三十六年九月十九日)	商務兼工部省
(自千八百三十九年五月十二日)	工部農商務省
(自千八百五十二年一月廿五日)	農商務省
(自千八百五十三年六月廿三日)	内務兼農商務省
(自千八百六十九年七月十七日)	農商務兼工部省

(自全日) 至千八百八十一年十一月十四日 農商務省
 (自全日) 至今 農商務省

○即千八百八十五年 法朗西國農務省經費

第一部 歲出 管理費

項 目	費 目	金 額
第一項	卿俸給及本省官吏俸給	○六、三〇三、〇〇〇、
第二項	應 費	○一、二六七〇、〇〇〇、
第三項	印刷費	○一、五〇〇、〇〇〇、
第四項	獸醫學校役員俸給	○四、一八八〇、〇〇〇、
第五項	全 什器費	○五、八一〇〇、〇〇〇、
第六項	家畜傳染病事務費	○一、七八五八〇、〇〇〇、
第七項	全 撲殺手當費	○五、〇〇〇、〇〇〇、
第八項	農學教育職員俸給	○七、四一五七〇、〇〇〇、

第九項	全 教授用什器費	○九、八二七〇、五〇〇、
第十項	農學教育補助費	○、八一七四〇〇、
第十一項	農業視察費	○一、三一〇〇〇、
第十二項	農業及排水獎勵費	一九、一八四〇〇、
第十三項	農業褒賞費	○〇、〇三〇〇〇、
第十四項	葡萄及其他害蟲費	二一、〇〇〇〇〇、
第十五項	害狼撲殺賞與費	○一、〇〇〇〇〇、
第十六項	牧場及種馬畜養所職員俸給	一六、〇三二三〇、
第十七項	全 什器費	二六、六七六三五、
第十八項	牧馬、胡馬費	一五、八三二〇〇、
第十九項	牧馬獎勵費	二二、四九〇〇〇、
第二十項	農事二種之水運事務官及土沙 土木橋梁職員俸給 灌溉排水助泥及農具改良事業研 究費並補助費	○三、一五二〇〇、 一五、〇八五〇〇、
第二十一項	農業道路及檢演道事業費	○〇、一五〇〇〇、

第廿三項	邑持沼排水費	〇〇、〇一〇〇〇、
第廿四項	灌溉及排水貸與費	〇〇、一〇〇〇〇、
第廿五項	灌溉用水事業會社利子保證費	〇六、四五二五〇、
第廿六項	水利更正事業及研究費	二八、五〇〇〇〇、
第廿七項	會社、種馬製造所、監督費	〇〇、一四〇〇〇、
第廿八項	アルセリ農業獎勵費	〇一、三九〇〇〇、
第廿九項	全 牧馬獎勵費	〇六、五〇〇〇〇、
第三十項	全 水利事業費	〇七、五〇〇〇〇、
第三十一項	費目略ス	
第三十二項		
合計		二、三六、八六四七〇、

四百六十六

第一部歳出ニ對スル事業ノ歳入

第五四項	獸醫學校	〇四、四九〇八四、法
第六項	輸入動物検査稅	〇一、七〇〇三七、
	農學校	〇三、七三五六四、
	農大學校	〇〇、三五二五〇、
第九八項	園藝學校	〇〇、〇八三四一、
	牧羊收入	〇二、一九一九八、
	牧牝牛收入	〇〇、三八五六七、
	食用獸共進會收入	〇〇、四五〇〇〇、
第十二項	褒賞謝金收入	〇〇、〇三〇〇〇、
第十三項	牧場及種馬收入	一一、八〇一二七、
第十七項	諸會社及踏製造收入	〇〇、一四〇〇〇、
合計		二五、三六一六八、

第二部歳出

官林管理費、全稅收入費、官有地所得稅徵收費、

項 目	費 目	金 額
第三十三項	地方山林事務役員俸給	六〇、一七九九三、法
第三十四項	山林教授職員俸給	〇一、三二〇〇〇、
第三十五項	全 什器費	〇〇、三三六八五、
第三十六項	官林改良費	一三、四〇〇〇〇、
第三十七項	全 保護費	〇六、五九五五〇、
第三十八項	山地保護及改築費	三三、〇四〇〇〇、
第三十九項	海濱砂山防禦費	〇三、〇〇〇〇〇、
第四十項	雜費(遊獵ヲ許スニ關スル)	〇二、一四八七六、
第四十一項	官林稅	一七、二二〇〇〇、
第四十二項	綠替金	〇五、三三〇〇〇、
第四十三項	フルセリー山林事務役員俸給	一四、〇六一四九、
第四十四項	フルセリー山林用什器費	〇三、九〇〇〇〇、
第四十五項	全 雜費	〇〇、八〇九五〇、

合 計

一六一三四二〇三、

第三部 歳出

山林産出物品掛戻費
(掛下ケ格ヨリ實際品物劣リ不得已適合ニ係ル價
金ヲ云)

〇〇、五〇〇〇〇、

第四部 歳出 特別費

物品毀損及天災救助費

二三、七九六五〇、

右寄

歳出ノ部

第一部 二、三六、八六四七〇、法

第二部 一、六一、三四二〇三、

第三部 〇、〇〇、五〇〇〇〇、

費總計三口合計 三、九八、七〇六七三、

第四部特別
總計 〇、二三、四七九六五、
四、二二、五〇三二三、

收入ノ部

山林產物 佛蘭西
フルゼリ
三、五〇、八五六〇〇、
〇、〇五、二〇三四五、
合 計 三、五六、〇五九四五
雜 入 〇、二五、三六一六八
總 計 三、八一、四二一一三

○法朗西國農務省組織及事務章程

卿 一名

官房

官房長 一名

全次長 一名
僚屬 四名

官房中ニ左ノ四課ヲ置キ事務ヲ分掌セレン

第一課 書記部

課長 一名
次長 一名
編輯掛 二名
雜務 二名
受付專務 一名
受付兼復寫掛 一名
復寫補助 一名
以上九名

一文書ヲ受付ト簿冊ニ記入シ主務ノ局課ヘ分配ノ事

- 一 特別ノ文書往復ノ事
- 一 卿ノ面謁ニ關スル事務ノ事
- 一 機密事務ノ事
- 一 官報々告事務ノ事
- 一 電報ニ關スル事務ノ事
- 一 勅章ニ關スル事務ノ事
- 一 農業ニ關スル事務ノ事
- 一 外國勅章ニ關スル事務ノ事
- 一 卿ノ查印スヘキ事務取扱ノ事
- 一 法律按布告按ノ諸書類ヲ上院下院參事院へ送致事務ノ事
- 一 上下兩院ノ議事ニ必用ノ文書取題メノ事
- 一 官報掲載ヲ要スル事務ノ事
- 一 他局他課ノ主管ニ屬セサル事務ノ事
- 一 省中官吏ノ進退ニ關スル事務ノ事

- 一 給仕小使進退ノ事
- 一 吏員ノ昇級ニ關スル事務ノ事
- 一 退職休暇及省規ニ背シモノ、處分事務ノ事
- 一 官吏諸手當ニ關スル事務ノ事
- 一 官吏及小使ノ寡婦孤兒救助ニ關スル事務ノ事
- 一 内外在務官吏ノ恩給ニ關スル規則ノ事
- 一 一定限時間外臨時職務ニ從事規則ノ事
- 一 農業高等會ニ關スル事務ノ事
- 一 布告布達ノ原書保存ノ事
- 一 關係ノ事務所へ書類寫送致ノ事
- 一 法律雜誌ニ原文ヲ送附シ及該雜誌配當ノ事
- 一 文書復寫ノ事
- 一 電信郵便ノ事務整頓ノ事
- 一 本省年報編纂及分配ノ事

- 一回文及訓令書類保存ノ事
- 一備考書類貸借事務ノ事
- 一新聞及雜誌ノ購入并補助金支給ニ關スル事務ノ事
- 一邑立其他ノ書籍館へ書籍寄附ニ關スル事務ノ事

第二課 會計部

課長 一名

次長 一名

編輯 三名

會計方 二名

雜務 一名

以上八名

- 一會計上總テノ事務ノ事
- 一經費豫算并臨時及補闕經費ニ關スル起技ノ事

- 一經費ノ使用監督ノ事
- 一本省内外事務ニ關スル支出費監督ノ事
- 一支拂人へ與フヘキ命令書及決算ノ異同大藏省通知事務ノ事
- 一縣令及山林保護官ノ具狀書調査ノ事
- 一控簿冊整理ノ事
- 一彙帳調整ノ事
- 一月計表及「バランス」調整ノ事
- 一支拂假計算ノ事
- 一總計算ノ事
- 一第二級ノ命令者及大藏省又ハ會計検査院へ往復ノ事
- 一派出所諸計算ノ精算及帳簿整理ノ事
- 一會計検査院ニ送ルヘキ總決算書調整ノ事
- 一什器表ヲ調整シ及之ヲ布告スヘキ事務ノ事
- 一什器價格表調整ノ事

一 諸帳簿ニ照シ什器調査ノ事

第三課 内務部

課長 一名

次長 一名

金庫掛 一名

物品掛 三名

内査名ハ臨時

記録掛 一名

受付 一名

以上八名

本課ヲ左ノ三掛ニ分ツ

金庫掛

一 俸給、日給、手當、旅費、派遣費前渡、什器購入費、家畜傳染病委員費、及農業

水理諮問會費支拂ノ事

一 俸給ヲ巴里ニテ仕拂フヘキ農業監督官并派遣官ノ俸給計算書ノ調

査及計算書送致ノ事

一 委任狀渡方ニ係ル事務ノ事

一金員隨取帳簿登記事務ノ事

一金庫帳簿及控帳簿登記ノ事

一支拂切符及派遣前渡金戻入ノ事

物品掛

一 建物保存及修繕事業ノ事

一 官舎、什器保存及薪炭證明ニ係ル事務ノ事

一 小使ノ監督及進退ニ係ル上申ノ事

一 省中消耗品ニ係ル事務ノ事

一 入札及約定ニ關スル事務ノ事

一 省中ノ費用拂方ノ事

- 一 官舎、什器目錄調製ノ事
- 一 物品購入納入ノ計算帳及新聞購入ニ係ル事務ノ事
- 一 死税ニ係ル郵便狀記入ノ事
- 一 文書ニ郵便印紙粘用發遣ノ事
- 一 荷物受付及發遣ノ事

記録掛

- 一 省中ノ記録書ヲ受付ケ之カ順序ヲ立テ保存ノ事
- 一 保存文書ノ目錄書整理ノ事
- 一 保存文書ノ出入管理ノ事
- 一 省中書籍ノ請入レ預リ事務ノ事
- 一 書籍ノ出入簿整理ノ事
- 一 著書送附ノ爲メ特別帳簿整理ノ事
- 一 書籍送致事務ノ事
- 一 本省雜誌受入及送致ノ事

印刷

- 一 内國及外國ニ雜誌送致ノ事
- 一 國立印刷局ニ印刷物合シ方ノ事
- 一 計算日記簿、計算帳簿及各事務ニ要スル印刷費監督ノ事
- 一 國立印刷局ニ支拂事務ノ事
- 一 山林官特ニ必用ノ印刷物、帳簿及罫紙貯藏事務ノ事
- 一 山林派出所、農學校及種畜場等ニ印刷物送致ノ事

第四課 文書派遣及文庫中央事務部

課長 一名

次長 無之

受付掛 拾壹名

以上拾貳名

一 行政事務ニ關スル文書派遣ノ事

- 一 卿ノ文庫備付ノ書籍受入及整理ノ事
- 一 文庫書類目錄調理ノ事

農務局

局長 一名

農務局中左ノ四課ヲ置キ事務ヲ分掌セシム

第一課 農業教育部

課長 一名

次長 一名

編輯 三名

雜務 一名

以上六名

一 農業監督及農業教育ニ關スル職員進退ノ事

一 農大學、農學校、農業實地學、農業養蠶、牧羊場、及牧羊場ニ係ル役員ノ進退及事務ニ關スル職務ノ事

一 ベルギーニ關シテ園藝學校ノ事

一 農小學、ナース製造所、及養蠶所ノ事

一 學校、學校科目、官費生徒ニ係ル事務及試験ノ事

一 類ル處ナキ農家ノ孤兒及貧民教育所ノ事

一 各地方農業演說及各縣農業演說ノ事

一 農業試驗場、養蠶試驗場、葡萄酒試驗場、葡萄酒試驗場、養魚研究及場、農業

化學試驗及農業試驗ニ關スル諮問會ノ事

一 私立教育ニ關スル補助金ノ事

第二課 農業獎勵部

課長 一名

次長 一名

編輯 四名
 全手傳 五名
 受付 一名
 以上拾貳名

- 一 農業視察ノ事
- 一 農業諮問會ノ事
- 一 農業組合ノ事
- 一 農業組合ニ關スル訴訟事件ノ事
- 一 耕地律ノ事
- 一 農業ニ關スル法律技ノ事
- 一 農業發明ニ關スル事
- 一 農業新仕方ノ事
- 一 農業派遣委員ノ事
- 一 食料家畜、種馬家畜、農具及農産物共進會ノ事

- 一 共進會規則、共進會掛、審査委員、及共進會精算規則ノ事
- 一 農業獎勵ノ事
- 一 補助金、褒章、農書ノ授與ニ關スル事
- 一 荒蕪地開拓ニ關スル事
- 一 排水ニ關スル事
- 一 排水事業ニ對スル貸與金ニ關スル法律施行ノ事
- 一 葡萄培養ニ關スル事
- 一 寄生蟲ニ關スル事
- 一 諸害蟲ニ關スル事
- 一 農業ノ害草、クワフトガムノ事
- 一 葡萄害蟲「ヒロキセラ」高等委員ノ事
- 一 「ヒロキセラ」ニ關スル法律及規則施行ノ事
- 一 養蠶事業ニ關スル事
- 一 養蠶會ノ事

一家畜籍委員會ノ事

第三課 物産部

課長 一名

次長 一名

編輯 一名

雜務 一名

受付 六名

全助 一名

以上拾壹名

一農産物殊ニ穀物ノ輸出入ニ關スル法律按ノ事

一關稅ニ關スル事

一各縣ノ農況及収穫ニ關スル報告ノ整理又ハ編輯ノ事

一食用ノ穀物其他ノ農産物ノ賣買及自由販路ニ關スル事

一外國ノ穀物収穫及商業上ニ關スル事

一市場開放ニ關スル事

一市場仲買ノ組織及法規ノ事

一食料品呼賣ニ關スル事

一麵包屋、牛肉屋、屠牛場及市場ニテ食料品ノ販賣規則ニ關スル事

一内國及外國農産物價格表調整ノ事

一舊家畜市價格表調整ノ事

一食料品及消耗品巴里市中現在高調整ノ事

一農業ニ係ル年統計表、隨時統計表、及内國食牛消費高每五ヶ年統計表

調整ノ事

一本省ノ雜誌(農務局)整理ノ事

一農具毀損天災ニ係ル補助金給與ノ事

第四課 獸醫部

- 課長 一名
- 次長 一名
- 編輯 四名
- 雜務 一名
- 受付 一名
- 以上八名
- 一 獸醫學校役員ノ進退及事務ニ關スル事
- 一 家畜傳染病諮詢會ノ事
- 一 獸醫開業ニ關スル事
- 一 家畜傳染病ニ關スル衛生規則及取締法ノ事
- 一 輸入家畜検査ノ事
- 一 傳染病家畜撲殺手當ニ關スル事
- 一 獸醫學校改良會ノ事

山林局

局長 一名

局中ノ三職ニ別ツ

第一職 職員、書記、會計、物品ニ關スル部

中林區官 一名

全 補 四名

全 試補 一名

僚屬 九名

以上拾五名

一文書記官ノ事

一 山林會議ニ係ル書記ノ事

一 山林會議ノ意見執行ノ事

一 山林監督ノ事

- 一年次山林巡回ノ事
- 一巡回報告ノ検査并總監督、山林保護官及監督官ノ事務監視ノ事
- 一縣會及區會ヨリ報告書検査ノ事
- 一縣會及區會ノ請願處分ノ事
- 一山林官ノ職務任命ニ關スル事務ノ事
- 一山林官交代、代理、休暇、退隱及派遣ニ關スル事
- 一職員ノ勤情報告書類調整ノ事
- 一職員ノ進級表調整ノ事
- 一職員ノ賞與ニ係ル上申ノ事
- 一犯罪處分ニ係ル事
- 一勳章褒章及恩給ヲ帶ヒタルモノ、死亡報知ニ係ル事
- 一職務ノ増減及林區變換ニ係ル事
- 一監守人ニ軍人又ハ普通人ヲ採用スヘキ事務ノ事
- 一山林補助金分配ノ事

- 一監守人巡回手當、事務所ノ經費及山林官家屋ノ費用ニ關スル事
- 一山林官家屋手當ノ事
- 一山林出火防禦手當及褒美金ノ事
- 一監守人ノ病氣ニ際シ陸軍病院及通常病院へ入院ヲ許ス事
- 一陸軍組織ニ關スル事
- 一山林官へ陸軍士官ヲ命スル事務ニ係ル事
- 一山林官武器器検査ノ事
- 一職員ノ事
- 一被服器具ノ事
- 一山林學校及現業學校(職員及)ニ關スル事
- 一山林學校及現業學校試驗ノ事
- 一全上官費生ニ係ル事
- 一全上學科ニ係ル事
- 一全上教科目及範師學校中ノ山林科々目ニ係ル事

- 一 文書派遣ノ事
- 一 電信發送ノ事
- 一 郵便先拂及無稅郵便取扱ノ事
- 一 訓令及廻章ニ係ル事
- 一 上下兩院各省及參事院へ呈出スへキ參考書取纏ノ事
- 一 經費豫算ノ事
- 一 各派出所ノ每月經費請求ノ事
- 一 年度末拂出金額取纏ノ事
- 一 年度締切ノ際經費ノ増額請求ノ事
- 一 俸給及手當ニ係ル計算檢査ノ事
- 一 山林局長ノ拂出切符ニ依リ拂出シタル金額計算ノ事
- 一 空上仕拂ノ事
- 一 會計月表調整ノ事
- 一 本年度及前年度ニ拂出スへキ廢書調ノ事

- 一 俸給及定手當月計表調整ノ事
- 一 各局課ノ諸拂出切符調査ノ事
- 一 被服ノ事
- 一 林務官補ノ積金収入ノ事
- 一 文庫管理ノ事
- 一 豫約出版及書籍寄附ノ事
- 一 書籍及總目錄簿調整ノ事
- 一 本省及大林區署ノ記録目錄簿調整ノ事
- 一 印刷物ノ送致及使用監督ノ事
- 一 回章印刷及配賦ノ事
- 一 不用ノ用紙賣却キノ事
- 一 山林用ノ槌、地圖入筒、其他諸雜器主管ノ事
- 一 物品運送ノ約定施行ノ事
- 一 什器購入印刷及特別購入品ニ關スル事

一本省官舎ノ修繕及保護ニ關スル事

第二職

大林區官一名

第二職ヲ二部ニ分ツ

第一部 官林ノ培養、保護、伐採

- 一 毎年ノ培養、伐採及保護圖調整ノ事
- 一 官林ノ現況點檢ノ事
- 一 培養及伐採手當給與ノ事
- 一 官林及邑林ノ培養及伐採保護ノ事 林ノ部
- 一 輪伐規則及輪代地圖調整ノ事
- 一 培養及保護法更正ニ關スル事
- 一 培養及保護監督ノ事

一 官林及邑林培養保護法ニ關スル事 地質ノ部

一 全上實施ノ事

一 伐採法及伐採區域報告調査ノ事

一 拔伐ニ關スル事

一 不期災木ニ關スル事

一 枯木根伐損木伐採及賣木ヲ道路ニ列シ又ハ道路ノ土留道路開鑿ニ

關シ雜木伐除ニ關スル事

一 山林境界及境界標ニ關スル事

一 陸海軍及諸官衙へ材木渡方ノ事

一 火藥製造用「ブ」ル「デ」メ「木」ノ事

一 砲兵用ノ鹿桑渡方及規則ニ關スル事

一 山林官試補及公務奉職ノモノへ薪木拂下ノ事

一 控木取入及賣捌ニ係ル事

一 伐木費及枝打費ノ先貸ニ係ル事

- 一 山林統計調整ノ事
 - 一 山林ノ學問上研究及、試驗ノ事
 - 一 山林氣象ノ事
 - 一 第一部ニ屬スル事業ノ經費分配定方ノ事
 - 一 林木賣拂ノ約束許可ノ事
 - 一 事業并事業用ノ什器購入ノ約定ニ係ル計算仕拂ノ調査及裏書蓋印
仕拂命令又ハ委任狀ノ如キ證據書類ヲ第一部ニ送致ノ事
- 第二部 林制、山林賣捌、諸收入
- 一 官林々政ノ組織諸種ノ公務射的演習等ニ從事ノ事
 - 一 邑持ノ林制山林事務所ノ官有建物ノ事
 - 一 邑持及公共有林制并山林ニ係ル制度ヲ遵守セシムル事
 - 一 邑持及公共山林建物ニ關スル事
 - 一 邑持及官有ノ山林ヲ臨時ニ伐木ノ事

- 一 官林ノ伐木及其他ノ副産物賣捌ノ事
- 一 伐木受負書式、并編纂及施行ノ事
- 一 木材賣捌キ特別箇條書并大林區官ノ上申書檢査ノ事
- 一 賣捌規則ニ係ル辨明ノ事
- 一 尺締増減ニ關スル代價異同ノ請願ヲ調査ノ事
- 一 貯木ノ計算調査ノ事
- 一 木材賣捌又賣捌場所廣告ノ事
- 一 伐木受負ニ係ル事
- 一 土地石切出鑛山松脂木皮栓木アルハ其他ノ僅少ノ産物ヲ拂下ケ又
ハ貸下ケノ事
- 一 不期災木又ハ重ナル副産物賣捌ノ物品檢査ノ事
- 一 各事務所ニ往復ノ精算帳簿整理ノ事
- 一 歳收入明細決算書調整ノ事
- 一 官林内遊獵許可ノ事

- 一 受負帳簿編纂小作人組合小作人約定書調整ノ事
- 一 官林地内漁業場貸與ノ事
- 一 遊獵禁制所ノ事
- 一 全上保護及產出品採撈ノ事
- 一 邑持及官林事務費ニ係ル規則ノ事
- 一 邑持及公共ニ屬スル地所入牧ニ關スル事
- 一 經濟ニ關スル事
- 一 輸出入商業及關稅制度ニ關スル事
- 一 官林諸產物需用ノ工業ニ關スル事

第一部

中林區官

一名

中林區官兼編輯人一名

中林區官補四名
僚屬 六名

第二部

中林區官

一名

以上十二名

第三職

大林區官

一名

第一部 苗木植付山林仕立砂山及事案

- 一新ニ原野苗木植付ノ事
- 一山林伐木跡ニ苗木植付ノ事
- 一木種變換植付ノ事
- 一樹實蒔付及苗木植付後手入ノ事
- 一保存木ノ枯木及害蔓ヲ芟除ノ事
- 一十年未滿ノ稗山害草木芟除ノ事
- 一山林用苗木仕立場及乾室ノ建設及保護ノ事

- 一 苗木樹種分配ノ事
- 一 苗木及樹實賣捌ノ事
- 一 空山ニ植林スヘキ約ヲ以テ地面拂下ケノ事
- 一 官林ニ從事ノ林務官補、伐木選木ニ關スル賞與ノ事
- 一 官林又ハ官林トナスヘキ土地購入ノ事
- 一 官林ニ關スル約束按調整ノ事
- 一 砂山ノ事
- 一 海岸ノ砂丘ヲ保有利用ノ事
- 一 邑及人民ニ補助金給與ノ事
- 一 道路橋梁建築修繕保護ノ事
- 一 全上ニ係ル土地ノ買上ケ又ハ約定書起按ノ事
- 一 鐵道國道縣道里道私道^{ワシラ}ノ爲メニ土地拂下ケノ事
- 一 會社或ハ邑ニシテ山林事業ニ必用ナル諸種ノ道路ヲ築設ノモノニ補助金ヲ與フル事

- 一 邑持ノ山林中ヘ林区設置研究ノ事
- 一 山林博覽會ノ事 組織及物品
- 一 山林ニ關スル地方共進會ノ褒章及賞金ヲ與フル事
- 一 監^{ガイヤカントシニエ}主人職務ノ事
- 一 監主人勤務ノ割付官林伐木課稅或ハ些細ノ副產物料收入料ヲ以テ買上ケタル消耗品ノ用方監視ノ事
- 一 邑持ノ山林及官林ニ於テ伐木受負人ノ事業ノ報告些細ノ副產物拂下ヲ請ケルモノ及監主人ノナシタル事業調査ノ事
- 一 官林ニ關スル家屋鏝塲其他ノ建物ノ建築及保護修繕ノ事
- 一 全上家屋ノ爲メニ必用ノ土地或ハ家屋借リ入及約定書起按ノ事
- 一 官林ニ關スル建物買入及保存ノ事
- 一 不用ノ不動產及物品ヲ官有地事務所ヘ返還ノ事
- 一 火災保險ノ事
- 一 官林ノ圍ヒ及官林ノ健康ヲ保ツシムル事

- 一 浚河ノ事
- 一 火災防禦ノ爲メ境ヲ作ル事
- 一 官有地ノ總テノ表ヲ調整及年々改正ノ事
- 一 本部ノ經費分配方及使用法調理ノ事
- 一 買上物ノ約束許可ノ事
- 一 事業購入物ノ計算書ヲ調査シ及裏書ヲナス事
- 一 委任狀仕拂命令書ニ必用ナル書類ヲ第一職會計へ送致ノ事

第二部 訴訟部

民事訴訟

- 一 所有地義務ノ慣習使用等ニ關スル權ノ事
- 一 「アハナリーシユ、マシヨラー」ト稱スル山林ノ事
- 一 邑持ノ秣場及購上ケノ事
- 一 官林ノ交換及分割ノ事

- 一 行政上ノ豫審及裁判豫審ノ事
- 一 一定額外ノ謝金要求ニ關スル事
- 一 官林ニ關スル民事裁判ノ宣告書取廻メノ事
- 輕罪訴訟
 - 一 輕罪豫審ノ事
 - 一 控訴ノ事
 - 一 大審院控訴ノ事
 - 一 納稅未納ニ係ル事
 - 一 輕罪ニ關スル事件取調ノ事
 - 一 審判ノ宣告延期及酌量減罪ニ係ル事訴訟停止、口供取調和解
 - 一 緬羊類家畜放牧ニ關スル訴訟及官林地臨時貸下許可ノ事
 - 一 遊獵ニ關スル訴訟ノ事
 - 一 遊獵害狼及害獸ニ關スル法律規則施行ノ事
 - 一 山林及農業ニ必用ノ馬獸保護ノ事

- 一 勤務ニ關スル訴訟及特ニ本科ノ調査ニ係ル事件取調ノ事
- 一 民有山林ノ開拓ニ關スル願書取調ノ事
- 一 全上決定布告ノ事
- 一 帳簿整頓ノ事
- 一 民事或ハ輕罪ノ豫審ニ關スル費用及書入質ノ地所看守人日給等ニ係ル費用調査ノ事
- 一 拂出命令書或ハ委任ニ關スル證據書類ヲ會計ヘ送致ノ事

第一部

中林区官

一名

第二部

全

一名

小林官補

一名

中林区官兼編輯

一名

中林区官補

三名

僚属

以上拾壹名

四名

樹林植付中央事務

- 一千八百八十二年四月四日法律以前ニ定メラレタル區畫改正ノ事
- 一 公共ノ利害ニ關シ區畫及修理ノ區畫及禁制ノ區畫ヲ定ムル事
- 一 全上ノ區畫ニ關レ境界ヲ定ムル事
- 一千八百四十一年五月三日法律ノ條項ニ依リ修理區畫内土地買上ノ事
- 一 一般ノ規則ニ依リ特別修理區畫ニ入ルヘキ土地買上ケノ事
- 一 條約書起接ノ事
- 一 諸種ノ事業及經費支出ノ事
- 一 卿又ハ局長ノ許可ヲ得ヘキ條約ニ關スル事
- 一 現品現金勞力ヲ以テ補助ノ事

- 一 區畫中ノ土地ノ所有者ニ手當金ヲ給與ノ事
- 一 禁制區畫中所有者不便手當給與ノ事
- 一 邑持ノ牧場規則ニ關スル事
- 一 全上規則ニ依ルヘキ邑ノ名簿改正ノ事
- 一 樹林植付事業ニ供スル苗場及乾室ニ關スル事
- 一 樹木ノ種子収入及試験ノ事 (苗木植付ノ事)
- 一 樹木植付ノ爲メニ備ヘタル種子ヲ各方ヘ分配ノ事
- 一 事業及買上物定書ノ調査并査印及仕拂証類ヲ第一部ノ會計ヘ送致ノ事

大林区官 但現在ハ中林区官ニテ勤之一名
 中林区官 一名
 全補 二名
 僚屬 二名
 以上六名

農業水利局

局長 一名

第一課

- 一 本省構外ニ在テ現場事務ニ従事スル職員ヲ統理ノ事 (技師技手部)
- 一 灌溉用水路ニ關スル事
- 一 泥水沈澱及滋用水ニ關スル事
- 一 里道鹽田道沙沼及「シロノマ」「ドンブ」等地方改良ノ事
- 一 邑持ノ牧場山林ノ價ヲ附クル(即改良ヲ加ル)事 (千八百六十年七月廿八日法律ニ依リ)
- 一 以上ノ諸件ニ關スル訴訟ノ事

課長 一名
 次長 一名
 受付兼編輯 一名

僚屬 一名

以上四名

第二課

- 一 經費豫算ノ事
- 一 經費分配ノ事
- 一 通船シ能ハサルノ小河取締及保護ノ事
- 一 河漁監督ノ事
- 一 製造所ニ關スル事
- 一 水ニ關スル規則及水ヲ分割ノ事
- 一 沼地ヲ乾ス事
- 一 濕地ヲ帯ヒタル地ヲ乾カシ衛生ニ適セシムル事
- 一 排水事業ノ事
- 一 以上ノ事件ニ關スル訴訟ノ事

課長 一名

次長 一名

編輯人 一名

僚屬 一名

以上四名

技術事務

- 一 技術ニ關スル目論見書檢査ノ事
- 一 現業進歩ノ景況報告ニ關スル事
- 一 地理圖及統計圖調整ノ事
- 一 水利委員ニ係ル書記事務ノ事

土水工師 一名

技手 一名

製圖方 二名

以上四名

牧場局

局長 一名

第一課

所轄官衙牲畜ノ事務及牧場調馬所

- 一 牧場役員進退ノ事
- 一 官吏進退ノ事
- 一 勤惰表及勤惰検査ノ事
- 一 任命及昇級ニ關スル事務ノ事
- 一 退隱許可ノ事
- 一 轉官ニ關スル事
- 一 休暇ニ關スル事
- 一 規律ニ依リ處分ノ事

一 會計員身元保証金ニ關スル事

一 勤章ヲ帶ヒ及恩給ヲ請ケタルモノ、死亡ニ關スル事

一 牧場學校ノ事

一 全教員ノ事

一 全入學科目ノ事

一 全教程科目ノ事

一 全内規ノ事

一 定期試験及卒業試験ノ事

一 卒業免狀ノ事

一 牧場掛リ員ニ關スル事

一 全勤惰並勤惰表及勤惰監督ノ事

一 牧場掛リ員ノ昇給任命ニ關スル事

一 全退隱ニ關スル事

一 全執務ノ轉換及休暇ノ事

- 一 全規律ニ關スル處分ノ事
- 一 褒章及恩給者ノ死亡報知ニ係ル事
- 一 交尾ニ關シ負傷者救助及褒章ノ事
- 一 牧場及種馬場管理ノ事
- 一 議院へ提出スヘキ會計豫算調整ノ事
- 一 各地方事務所ノ支出入豫算調査及卿ノ許可ヲ請クヘキ總事業盤頓ノ事
- 一 牧場及種馬場支出入總計豫算ノ事
- 一 飼葉納方入札ニ關スル事
- 一 全入札ニ關スル各所長呈出ノケ條書調査ノ事
- 一 官有地ニ生スル馬ノ肥料及諸產物賣捌ノ事
- 一 支出入月計表調査ノ事
- 一 馬ノ衛生月表調査ノ事
- 一 馬鞍委員ノ事

- 一 馬車及馬具購入ニ關スル事
- 一 購入物品ヲ各所ニ分配ノ事
- 一 全代價仕拂ノ事
- 一 各事務所物品購入ノ事
- 一 牧馬掛員ノ被服ノ事
- 一 日雇人衛生ニ關スル事務ノ事
- 一 改良用ノ種馬牝馬幼馬購入ノ事
- 一 全購入委員ヲ命スル事
- 一 種馬分配ノ事
- 一 馬ノ異動ノ事
- 一 交尾所ニ係ル事
- 一 各事務所長呈出議接ノ調査及許可ノ事
- 一 交尾ニテ產出スルモノニ係ル事
- 一 交尾事務年報調査ノ所

- 一 統計ノ事
 - 一 ポンパツール牝馬所ノ事務ヲ監査ノ事
 - 一 原品消費ノ事
 - 一 建物ノ事
 - 一 本省附建築師ノ意見ヲ調査シ及建物保存修繕ノ事
 - 一 美術上ニ係リ建物修繕ノ事ヲ美術局ヘ往復スヘキ事
 - 一 家屋建築及大修繕ノ事
- 總監督
- 一 總監督區畫定方ノ事
 - 一 總監督者訓令ノ事
 - 一 總監督ヲ監督ノ事
 - 一 總監督者ノ報告書調査ノ事
- 總事務規則
- 一 牧場及種馬置場ノ事務ニ關スル回章ノ事

- 一 内外國派遣ノ事
 - 一 官吏派遣及巡回費仕拂ノ事
 - 一 會計檢査院ト往復ノ事
 - 一 總監督官顧問會ノ事
 - 一 顧問會開議ノ事
 - 一 全上事務ニ必用ナル文書整頓ノ事
 - 一 牧場上等會議ニ關スル書類整頓ノ事
- 課長 一名
- 次長 一名
- 編輯人 二名
- 雜務費 一名
- 受付 二名
- 以上七名

第二課

馬業獎勵

- 一 議院提出ノ年度豫算調整ノ事
- 一 毎年獎勵金ノ豫算ヲ卿へ上申ノ事
- 一 競馬ノ事
- 一 競馬委員ヲ命スル事
- 一 競馬課目ノ調査及許可ノ事
- 一 競馬報告書調整ノ事
- 一 種馬試験ノ事
- 一 全委員ヲ命スル事
- 一 全科目調査及許可ノ事
- 一 全報道書調整ノ事
- 一 調馬ニ關スル賞與金ノ事
- 一 全科目ノ調査及許可ノ事
- 一 全審査委員ヲ命スル事

一 全景況報告書調整ノ事
乘馬及調馬學校

- 一 内國及アルゼリ地方馬共進會ノ事
- 一 全科目調整委員ヲ命スル事
- 一 全科目ノ調査及許可ノ事
- 一 全審査委員ヲ命スル事
- 一 全景況報告書調整ノ事
- 一 牝馬幼馬牝幼馬共進會ノ事
- 一 全科目調査及許可ノ事
- 一 全審査委員ヲ命スル事
- 一 全實況報告書調整ノ事
- 一 馬會社ト往復ノ事
- 一 牝馬幼馬駈足試験ノ事
- 一 全科目調査ノ事

- 一 全報道書調整ノ事
- 一 純粹血統ノ牝馬ニ特別ノ賞金ヲ與フル事
- 一 全賞金ヲ支拂フ事
- 一 檢査濟種馬ノ事
- 一 總監督員上申書調査ノ事
- 一 賞與金分配ノ事
- 一 種馬許可ノ證書ヲ渡ス事
- 一 檢査濟種馬名簿ヲ調整シ縣令總監督及種馬置場所長ニ送致ノ事
- 一 賞與金支拂ノ事
- 一 許可種馬ニ證書ヲ渡ス事
- 一 全名簿ヲ調整シ縣令總監督及種馬置場所長ニ送致ノ事
- 一 總監督顧問會ノ事
- 一 全顧問會必用ノ文書調整ノ事
- 一 牧馬上等會ノ事

- 一 全會員募集ノ事
- 一 全會ニ要スル文書調整ノ事
- 一 縣令請願ノ事件調査ノ事
- 一 牧畜名簿調査委員會ノ事
- 一 全委員募集ノ事
- 一 純粹血統馬ノ血統書調査ノ事
- 一 馬籍簿ノ編纂及公告ノ事
- 一 地方五步雜種馬籍ノ事
- 一 全統計ノ事
- 一 豫約出版ニ關スル豫約書支出及新聞購入代又ハ新聞公告代支拂ノ事

課長 一名
 次長 一名
 編輯 二名

僚屬 一名
以上五名

總務

- 第一 衛生掛
- 第二 醫師 二名
- 第三 建築掛 本省其他ノ建築ニ從事ス
- 第四 建築師 一名
- 第五 本省裁判事務掛
- 第六 代理人 五名
- 第七 山林事務
- 第八 代理人 一名

○會及委員會

○農業高等會

- 會長 一名 卿之ヲ勤ム
- 副會頭 三名
- 書記 一名
- 但元老議官二名下院ノ議員一名
- 但第四部員之ヲ兼ム
- 第一部 農業 會員五十三名
- 但元老議官、下院議員、現業者、參事、院議員、農家大學、技教師、法律學校教師、農業者獎勵會社、農家大學
- 第二部 山林 會員拾四名
- 但山林地主、中林區官、元老議官、山林學校長、大林区區官、下院議員、嶺山技監等
- 第三部 農業水利 會員拾七名

獸醫會社ヨリ選抜會員 五名 但書記ヲ兼ス
但獸醫四名及農務局課長

○家畜籍會

會長 一名

但卿之ニ當ル

副會頭 一名

但元老議員ニシテ現業者

會員 拾名但壹名書記ヲ兼ス

但農務局長、地主、農務局員、
農務總監督等

○農業試驗所及農業化學試驗所顧問會

會頭 一名

但農務局長之ニ當ル

會員

拾壹名内式名書記及書記助ヲ兼ス
但農大學校教員、全校長、農教育總監督、博物館事務長、
化學製品會々長、農業教育課總監督、技師等

○林制會 通常會 毎水曜日午後二時ヨリ開會ス

會頭 一名

但卿之ニ當ル

副長 一名

但山林局長之ニ當ル

會員 九名内壹名書記ヲ兼ス

但山林監督官之ニ當ル

○農業水利顧問會

會頭 一名

但卿之ニ當ル

○農業教育 農業大學、農業改良會

- 校長 一名
- 農業改良會長 一名
- 全會員 拾四名 內查名其記ヲ録ス
- 但學士院會員、下院議員、農大學校長、全教師等
- 巴里農業大學教授 貳拾名
- 全講義師 七名
- 全實業長 三名
- 全復習教師 拾貳名
- 全化學助手 三名
- 全事務掛 四名
- 全醫師 一名

農學校三ヶ所

但グリギヨン校、グランワニータン校、モンパリエー校（但農所セリ附屬）

一ベルサニ一園藝學校一ヶ所

一農業實地學校拾六ヶ所

但エキユリ校、アメルシース校、サンボン校、サンテレミー校、マナードンパスル校、レザルドー校、（灌溉ノヲナ兼ムル）、
 パー校（アルゼラ、アロース校、ラ、モリエール校、ハラール校、
 葡萄ヲ兼ム）、
 ポリス校、（葡萄ヲ兼ム）、サールキユニール、シユール、モズロ
 ット校、（牛乳ヲ兼ム）、アビヨン校、（灌溉ヲ兼ム）、スーブール校、
 トンパール校、ハラハラール校

一 農業現業學校拾九ヶ所
一 牧牛場三ヶ所

但ラソニアエ牧牛及牧僮學校、ムーゼブール全上アルゼリ
一國コルボン牝牛飼養場

一 小學師範學校八拾五ヶ所
一 全三ヶ所

但アルゼリ一國ノ部

一 農業合密講義所四ヶ所

一 農業ニ關スル講義所二ヶ所

但伐木法 苗木法 園藝

一 農業試驗場 三拾九ヶ所

但千八百八十五年補助金ヲ與ヘタル場所

一「ハスナヤ」學校 一ヶ所

但園藝及苗木仕立方ヲ實地ニ教授ス

一 獸醫學校及動物衛生事務

總監督 二名

但獸醫學校總監督 一名
事務及衛生總監督 一名

一アルホーカ獸醫學校 一ヶ所

校長 一名

事務官 六名

醫師 二名

幹事 五名

教員 十名

復習 四名

乘馬方 一名

畜病院監督 一名

鐵工場長 一名

園長 一名

布掛	一名
リヨン獣醫學校	一ヶ所
校長	一名
事務官	五名
醫師	一名
幹事	三名
教師	八名
復習	四名
蹄鐵場長	一名
園長	一名
布掛	一名
ツールーズ獣醫學校	一ヶ所
校長	一名
事務官	四名

醫師	二名
幹事	三名
教師	拾名
復習	四名
蹄鐵場長	一名
園長	一名
布掛	一名
國境ニテ家畜輸入検査所	百五拾五ヶ所
農業顧問會議所	三百七拾ヶ所
農會	九百貳拾七ヶ所
但農事ニ獸醫又ハ園藝ノヲチ加ヘタルモノアリ	
公共ノ利益ト做シタル農會	廿九ヶ所
ナントニ山林學校	一名
校長	一名

次長	一名
會計	一名
教員	八名
復習	四名
林務官補	一名
但研究所附	
以上拾六名	

ハールビルモラン官有地内

一山林現業學校	一ヶ所
校長	一名
教員	四名
一山林總監督官	八名
一級	一名
二級	二名

三級 五名

一山林地方監督官

第一管區	一名	但三級總監督官
但大八區ノ第一		但大八區ノ第一
但大八區ノ第二		但大八區ノ第二
但大八區ノ第三		但大八區ノ第三
但大八區ノ第四		但大八區ノ第四
但大八區ノ第五		但大八區ノ第五
但大八區ノ第六		但大八區ノ第六
但大八區ノ第七		但大八區ノ第七
但大八區ノ第八		但大八區ノ第八
但大八區ノ第九		但大八區ノ第九
但大八區ノ第十		但大八區ノ第十
第二管區	一名	但二級總監督官
但大八區ノ第十一		但大八區ノ第十一
但大八區ノ第十二		但大八區ノ第十二
但大八區ノ第十三		但大八區ノ第十三
但大八區ノ第十四		但大八區ノ第十四
但大八區ノ第十五		但大八區ノ第十五
但大八區ノ第十六		但大八區ノ第十六
但大八區ノ第十七		但大八區ノ第十七
但大八區ノ第十八		但大八區ノ第十八
但大八區ノ第十九		但大八區ノ第十九
但大八區ノ第二十		但大八區ノ第二十
第三管區	一名	但二級總監督官
但大八區ノ第二十一		但大八區ノ第二十一
但大八區ノ第二十二		但大八區ノ第二十二
但大八區ノ第二十三		但大八區ノ第二十三
但大八區ノ第二十四		但大八區ノ第二十四
但大八區ノ第二十五		但大八區ノ第二十五
但大八區ノ第二十六		但大八區ノ第二十六
但大八區ノ第二十七		但大八區ノ第二十七
但大八區ノ第二十八		但大八區ノ第二十八
但大八區ノ第二十九		但大八區ノ第二十九
但大八區ノ第三十		但大八區ノ第三十
第四管區	一名	但一級總監督官
但大八區ノ第三十一		但大八區ノ第三十一
但大八區ノ第三十二		但大八區ノ第三十二
但大八區ノ第三十三		但大八區ノ第三十三
但大八區ノ第三十四		但大八區ノ第三十四
但大八區ノ第三十五		但大八區ノ第三十五
但大八區ノ第三十六		但大八區ノ第三十六
但大八區ノ第三十七		但大八區ノ第三十七
但大八區ノ第三十八		但大八區ノ第三十八
但大八區ノ第三十九		但大八區ノ第三十九
但大八區ノ第四十		但大八區ノ第四十
第五管區	一名	但三級總監督官
但大八區ノ第四十一		但大八區ノ第四十一
但大八區ノ第四十二		但大八區ノ第四十二
但大八區ノ第四十三		但大八區ノ第四十三
但大八區ノ第四十四		但大八區ノ第四十四
但大八區ノ第四十五		但大八區ノ第四十五
但大八區ノ第四十六		但大八區ノ第四十六
但大八區ノ第四十七		但大八區ノ第四十七
但大八區ノ第四十八		但大八區ノ第四十八
但大八區ノ第四十九		但大八區ノ第四十九
但大八區ノ第五十		但大八區ノ第五十
第六管區	一名	但三級總監督官
但大八區ノ第五十一		但大八區ノ第五十一
但大八區ノ第五十二		但大八區ノ第五十二
但大八區ノ第五十三		但大八區ノ第五十三
但大八區ノ第五十四		但大八區ノ第五十四
但大八區ノ第五十五		但大八區ノ第五十五
但大八區ノ第五十六		但大八區ノ第五十六
但大八區ノ第五十七		但大八區ノ第五十七
但大八區ノ第五十八		但大八區ノ第五十八
但大八區ノ第五十九		但大八區ノ第五十九
但大八區ノ第六十		但大八區ノ第六十

アルゼリー 一名 但三級總監督官

一各山林管區内ニハ左ノ役員ヲ置ク其一例ヲ掲ク

大林區官 一名

中林區官 九名

全 補 二名

小林區官補 五名

以上拾七名

一ビレチー管區ノ中ニ五第ノ三八第林廿三第管ニ

中林區官 一名

一セパンヌ及アラト、サントラール管區中八第ノ四第大廿一第林第廿七第

中林區官補 一名

一アルブ管區第三十一第ノ十四第大第林廿六第管三十三

中林區官 一名

全 補 一名

一水利事務

農業水利總監督官 四名

地方水利事務官 百七拾八名

但廿六縣所ニシテ縣毎ニ各地必
要ノ六縣所ヘシテ派出官トナスル必

一牧場及種馬置場 種馬七拾數頭

牧場總監督

第一級總監督官 三名

第二級全上 四名

監督區

第一區 種馬及サンロウ

第一級總監督官 一名

第二級全上 一名

第二區 プロワー及アンゼー并クムニ種馬置場サンハブロー牧場

第二級總監督官 一名

第三區 ランパアールヘンメボンシユ、シユル、ボン及サント種馬置場

第二級全上 一名

第四區 リプールヌビヌヌー、シユル、ロウ、ボウ及タム種馬置場

第一級全上 一名

第五區 チーリヤフクロー、ベルビニヤン及アンヌシー種馬置場

第二級全上 一名

第六區 ベザンソンコンビエーニユモンチエランタル及
ローチエール、ブーサリーヌ種馬置場

第一級全上 一名

第七區 アルゼリーチユニジール

第二級全上 一名

一牧馬學校 一ヶ所

校長 一名 ビン種馬置場所長之ヲ兼ヌ

一アラビヤ種馬獎勵ノ爲メノ競馬場百廿五ヶ所

但民設ノモノニシテ官ヨリ補助金ヲ給與シ或ハ給セサルモノ

、二種トス

一 自一千八百八十五年農業上獲章ヲ賜フタルモノ七百五拾四名

佛國農會規則例規

第一項 組合ノ設立及目的

第一條 查印チナスモノ及規則ニ加入スルモノトノ間(即チ發起者及加入者)某地農會ノ名義ヲ以テ農業組合ヲ設ク

第二條 組合ノ働ハ(某縣某區)ニ及フモノトス

組合ハ某地ニ設置ス

第三條 組合ノ目的ハ組合ノ所轄スヘキ區域ニ於テ農業(或ハ工業)ノ進歩發達ヲ助クルモノトス此目的ヲ以テ組合ハ毎年共進會一回若クハ數回之ヲ催シ褒賞ヲ與ヘ講義ヲナシ雜誌ヲ(月報或又ニテ月)發刊スヘキモノトス(第三十三條參看スヘシ)

第二項 組織

第四條 發起人ノ外ニ左ノモノニシテ入會チ乞ヒ若クハ二名以上ノ會員ヨリ照會レタルモノ及第五條ニ示レタル法式ニ依リ總會議ニ依リテ入會ヲ許シタルモノヲ以テ組合員トナス

一 農業者、土地所有者、小作人、農業ニ關係ヲ有スル學藝工業商業工
 事ニ與ル人ニシテ農會組合ノ區域内ニ居住スルモノ或ハ區域
 内ニ土地ヲ所有スルモノ
 二 農業者及農業ニ關係ノ學藝若クハ工事ニ與ル人ニシテ區域外
 ニ居住ノモノ、但區域外ノ人ヲ會員ニ許スハ會員總數五分ノ一
 以上ニ超ヘサルモノトス
 三 其他名譽會員通信員ノ入會ヲ許ス此會員ハ議場ニ於テハ顧問
 ノ資格ニシテ投票ニ與ルヲ得ス
 四 會員ノ名義ノ何タルヲ問ハス總テ會員ハ丁年者ニシテ民事ノ
 私有權及法律權ヲ有スルモノニ限ル
 (組合中ニ外國人ヲ許スルハ入會特別手續ヲ定ムルヲ要ス隨
 テ第四條第五項ノ成文ヲ變更スルヲ要ス)

第五條 組合員タルヲ欲スルモノハ其旨ヲ會頭ニ申立テ現規
 則條項ヲ遵奉スルヲ約スベキモノトス但會員二名以上ノ照會

アルヲ要スヘキモノトス

入會願ハ會頭ヨリ其次ノ會ニ於テ組合ニ之ヲ報告シ入會者ノ名
 ハ直チニ會議所ノ表ニ揭示ス爾後ノ會ニ於テ入會ノ許否ヲ投票
 ス(入會ノ手續ハ變更スルヲ得然レモ此手續ハ新ニ入會ヲ請フ會員ノ望ミ
 (ワ許否スルノ手續タルヲ得然レモ此手續ハ新ニ入會ヲ請フ會員ノ望ミ
 スシテ政事上ノ望ミニ依リテ或ル會員ニテ其組)入會ノ許諾ハ出席會員
 ノ多數ヲ以テ之ヲ定ム入會許諾ヲ得タル本人ハ直ニ議席ニ就ク
 モノトス

第六條 組合員ノ何タルヲ問ハス名譽上ニ係ル事務ニシテ總會議
 決議ニ非サルヨリハ除名スルヲ得ス此場合ニ於テハ其手續ハ
 入會手續ニ准スヘキモノトス本人ハ苦情ニ對シ辯護ノ權ヲ有ス
 ルモノトス

第七條 各會員ハ何レノ場合ト雖ヒ退會スルノ權ヲ有ス然レトモ
 自己レノ望ミハ違クモ十二月一日以前ニ書面ヲ以テ會頭ニ通牒
 セサルヘカラス

會費ニ就テハ退會願チ會頭へ通牒シタル翌年ノ一月一日ヨリ効チ有スルモノトス

第三項 事務

第八條 組合へ左ノ役員ヲ以テ之ヲ管理ス

一 會頭一名

二 副會頭一名若シハ數名

三 會計方一名

四 書記一名

(此外ニ副會計方、書記助手、審議掛、及數個ノ事務者ヲ設クルヲ得)

縣令(若シハ區長)ハ組合ノ當然名譽會頭タルヘキモノトス

農會設置地ノ府ノ邑長ハ名譽副會頭タルヘキモノトス

(名譽會頭及副會頭ノ職ヲ本條ニ示シタル職員ニ加ヘタルハ此會ニ限ラサレハ此例規ニ於テモ特ニ入レタルモノニハ組合者ノ同意トナスモ妨ナシ) 名譽會頭及副會頭ニテ出頭ノ總會席ニ於テ其權ヲ欲スルキハ其會ニ於テ之ヲ授クヘキモノトス

名譽會頭及副會頭ハ其場合ニ限り役員會議録及總會々議録ヲ閱覽スルヲ得又其寫シヲ要求スルヲ得然レトモ會ノ事務上ニ立入り總會議ノ外役員ノ議事ニ與カルモノニアラス 縣令(若シハ區長)及邑長ハ他人ヲシテ名譽會頭及名譽會頭ヲ代理セシムルヲ得ス

第九條 役員ハ幾年間(三年、四年、或ハ五年)勤績選舉トシ及再選ニ當ルヲ得

(或ハ再選ニ當ル迄ニ猶豫ヲ與ヘテ再選スルヲ得ルモノトナスモ妨ナシ) 改選ハ(三分ノ一、四分ノ一、或ハ五分ノ一)最初第一第二第三年間ニ改選スヘキノ順序ヲ抽籤ヲ以テ定ムヘキモノトス

第十條 役員ノ選舉ハ毎ニ某會ニ於テ之ヲナス(總會ノ初會或ハ年ノ初會)ナス

會員ハ此場合ニ於テ議事件ヲ示シタル各自宛ノ書狀ヲ以テ招集セラル、モノトス

會議ハ組合會員多數ヲ代表スヘキ數ヲ得タル會員ノ集會ニ非サレハ有効ノ投票ヲナスヲ得ス此數ヲ得サル場合ニ於テハ會議

ヲ延會シ(十五日後日若クハ)再ヒ議事件ヲ示シタル招集狀ヲ會員ニ發スヘキモノトス第二ノ會ニ於テハ出席員ノ如何ニ拘ハラス投票ハ効力アルモノトス但投票ハ個々ノ投票又ハ名簿ニ依リテノ投票トス且選舉ノ効力ヲ有スルハ出席員ノ多數ヲ得ヘキモノトス(第二會ノ投票ニ在テハ比例多數ヲ以テ効力アルモノト定ムルヲ得)

第十一條 會頭ハ農會ノ事業ヲ管理シ會議ノ議長トナリ議事ヲ整理スヘキモノトス且特ニ取締ノ權ヲ有ス
 會頭ハ當然調査委員及共進會審査委員ニ加ヘルヘキモノトス自ラ事ニ與ルルハ調査委員長若クハ審査委員長タルヘキモノトス
 會頭ハ會計ノ支拂ヲ命令シ及事務取扱又ハ組合權利ノ保護殊更組合ノ訴訟ニ於テハ其他ノ役員ト俱ニ農會ヲ代表ス
 書記ト聯帶シテ通信及賞狀ノ查印及書類中本書タルヲ證スルノ必要ナルルハ查印ヲ以テ證明ス
 役員ノ投票及總會ノ投票ニ於テ投票同數ナルル會頭之ヲ指定ス

第十二條 會頭不在若クハ故障ノ場合ニ於テハ表ノ順序ニ依リテ副會頭ノ內壹名之ヲ代理ス

第十三條 會計方ハ組合ニ收入スヘキ金員收入ヲ担任シ且會頭ヨリ布令ヲ請ケタル總テノ支拂ノ事ヲ担任ス其他組合ニ係ル計算ヲ掌ルモノトス

第十四條 書記ハ會員ヲ招集シ役員議事及總會ノ議事録ヲ調整シ會頭連署ノ通信ヲナシ賞狀其他必用ノ文書ヲ仕出し總テ書類ノ正確ナルヲ證明ス

書記ハ雜誌ヲ編纂シ雜誌ハ印刷以前ニ役員ノ閱覽ニ供シ發刊ヲ監督シ記録及書籍ヲ整理シ器具及備考品ノ保管ヲナス(此録掛ハ事務ノ記録ニ係ル)
(書記ノ助手及會計方ノ助手)
(事務者アルトキハ事務者)
(役員ト俱ニ組合ノ事務)
(役員ノ中ヨリ特別ノ場合ニ於テ代理者ヲ選)

第十五條 役員ハ毎月某ノ日ニ集會ス(第一第二第三ノ月)役員ハ臨時會頭ヨリ之ヲ招集スルヲ得

役員會議錄ハ特ニ之ヲ設クヘキモノトス此會議錄ハ總テノ會員ニ共現場ニテ之ヲ見ンコトヲ欲スルモノニ之ヲ許ス
役員會議ハ役員ノ多數ニ依リテ決議シタルモノニ非サレハ効力ヲ有セズ

役員會議毎ニ口供ノ首メニ出席員ノ名前ヲ記入レ會頭及書記之ニ查印ス

役員ニテ正當ノ理由ナク續ヒテ三回出席セサルモノハ辭職者ト做シテ副員ヲ申立テタル次ノ催ス會ニ於テ之カ補選任ヲナス
(或ハ選任ニ當テタル會議ニテモ)

前項ノ場合ニテ辭職者ト做サレタル役員ハ其職務ヲ失フヨリ年ヨリ幾千年ノ(一、二、三)後ニアラサレハ再選スルコトヲ得ス

第四項 組合ノ財源

第十六條 組合ノ財源ハ會員ノ會費及政府、縣、或ハ邑ノ補助金ヨリ成ルモノトス

第十七條 各會員ハ年若干法ト定メタル會費ヲ拂フヘキモノトス但教員、農家ノ奴僕、園丁、等ニ在テハ會費ヲ若干法ニ減ス

會費ハ一ケ年間ノモノトス會員ノ入會又ハ退會ノ期限ニ拘ハラズ(入會金ヲ請求スルコトヲ得猶定メタル金額一時ニ拂込年々仕拂ノ會費ヲ拂ハサルヲ得ルコトヲ許ス此金額ハ一時ノ消費トナスヲ得スレテ資本トシカサハス)

第十八條 會費ハ年ノ一月或ハ(三、四、六)中ニ前金ヲ會計方ニ拂入レ新ニ入會ヲ許シタル場合ニ於テハ入會ノ翌月内ニ之ヲ拂入ルヘキモノトス

第五項 總會

第十九條 組合ハ毎年四會(若干)以上總會ヲナスモノトス(若此集會事アルノ期ハ正ニ定メ置クヘキモノトス)

其他役員ニシテ必用ト認ムルハ臨時總會ヲ催スコトヲ得

第二十條 總會ハ各會議ニ於テ會ノ景況及經濟ノ狀況ニ關スル役員ノ報告ヲ受クヘキモノトス

總會ハ會議ニ提出議按ノ件ヲ議ス

第二十一條 當日ノ議事件ハ役員之ヲ定ム其他ノ議事ヲ提出スル
ヲ得ス

各會員ハ一個若シハ數個件ノ調査ヲ需ムルノ權ヲ有ス此場合ニ
於テハ會議一ヶ月以前ニ議按ヲ會頭ニ提出スヘシ

役員ハ其議按ヲ議シ許否ヲ定ム議按ヲ許スルハ之ヲ議事件目ニ
加フヘキモノトス其議按ヲ否決シタル件ハ迅シモ翌年ニ非サレ

ハ之ヲ許スヲ得ズ然レトモ會員ノ十分ノ一以上ヲ代表シタル
モノヨリ議按ヲ提出シタルキハ役員ハ最近ノ會議ノ議事件目中

ニ其議事ニ適當ナル順序ニ加ヘテ議按トナスヘキモノトス
第二十二條 會議件目簿ニ記載ノ件ニシテ議スルノ猶豫ヲ得サリ

シカ或ハ議件ヲ記載シ得サル場合ノモノハ次ノ會議ニ提出シテ
議事件目ノ新ナル件目ニ先ツテ議按トナスヘキモノトス

第二十三條 年ノ第一開會ニ於テ總會ハ収支ノ經費ヲ定メ共進會

ノ仕様(資格)ヲ定ム

總會ハ定期ノ選舉ヲナス(總會ハ年ノ初メノ會又ハ年末ノ會ニ於テモ定
ノ事務ハ第一會ニ係ル項年末ノ會ニ係ル項ニモ明カニ定ムカサルヘカラ)

第二會ニ於テハ共進會ノ審査委員タルヘキ人ヲ指名ス第三會ニ
於テ(農會ニテ年四回以上ノ開會ヲ催スヘシ)共進會ノ模様及其結果ヲ
報告ス

其他ノ會ハ役員ノ外ニ會員ノ中數名ヲ指名シテ會計調査委員ヲ
作ル其委員ハ會計方ノ計算ヲ検査シ且會計方ノ精算報告ヲ本會
ニナスヲ負擔ス年末ノ會ニ於テ定期ノ選舉ヲナス(年ノ首メノ
會ニ於テ定期ノ選舉ヲナサ、ル場合)其他會計方ノ精算ヲ受理シ
會計調査委員ノ報告ヲ聞キ精算ヲ討議シ其許否ヲ定ム許諾ヲ了
スレハ其投票ハ會計方ノ責任ノ事了レルヲ表スルモノトス
精算ヲ否スルトキハ會計調査委員ハ更ニ精算帳ヲ調整シ會計方
若シハ役員或ハ會員ニテ外國人ノ負債セル金額ノ取立方ヲ担任

ス此目的ノ爲メニハ調査委員ハ其全權ヲ有ス
第二十四條 第十條ニ示シタル集會招集ノ手續決議及投票ヲ有ス
ヘキ法式ハ年ノ終會ノ會議ノ爲メニハ堅ク之ヲ遵奉スヘキモノ
トス

第二十五條 每總會ノ口供ハ特別帳簿ニ記入シ出席役員之ニ連署
ス口供ニハ毎ニ會議出席員ノ數ヲ示ス成規ニ依リテ成シタル決
議ハ副席又ハ意見ノ異ナルモノト否トニ係ハラス總テノ會員ハ
之ヲ遵奉スヘキモノトス組合ノ決議録ハ書記部ニ備ヘ置キ之ヲ
一覽セントスル會員ニハ其席ニ於テ閱覽セシム

第六項 共進會

第二十六條 本會ハ毎年一個若クハ數個共進會ヲ催シテ之ニ褒賞
ヲ與フ

- 一 土地ノ改良等(會テハ左ノ一個若クハ數個ノ方法ヲ)
- 二 化學試驗所設置

ろ 農業試驗所設置

は 巡回教師講談

に 農業教育獎勵ノ爲メニ小學校若クハ師範學校ヘノ賞學金
は 僱農夫ニシテ永勤續若クハ賞學ヲ得タル動物飼育ニ充分
ノ取扱ヲナシタル爲メノ賞學金

へ 農事ニ從事ノ僕婢養成ノ爲メ農業、葡萄園藝學校設立

と 害虫驅除

ち 鳥ノ保護

り 書籍及陳列品ノ保護

ぬ 花卉會社ノ爲メ市中ニ廣小路設置

第二十七條 前第二十六條ニ特許シタル獎勵法ノ外ニ會ハ家畜家
禽改良種及改良器械ノ購入ヲナス種用ノ動物ハ區域内ノ農業者
ニ割引廉價ヲ以テ販賣ヲナス尤農業者ハ種用ノ爲メニ保護シ會
ノ役員ヨリ定メタル價格ヲ以テ犂尾ノヲチ負担スヘキモノトス

器械ニシテ博シ川ヒシムヘキ必用ヲ認メタルモノハ區域内ノ農業者ニ安價ニ拂下ケテナシ又ハ賞與トシテ之ヲ請クヘキ農業者ニハ無代價ヲ以テ之ヲ與フ(受ニ揚ケタル項目ハ其區域内ノ農業者ノ振起必シモ區々之ヲ揚クヘキモノトスルニハアラス若此ノ項目ヲ採用スルハ之ヲ揚クヘキヲ必用トス但之ヲ施行スヘキ手續ハ内規ニ掲クヘキモノトス)

第二十八條 賞金及賞品ハ第二十三條ニ示シタル如ク特別審査委員ヲ命ジ審査員ハ共進會ニテ之ヲ與フヘキモノトス總會議ニ於テ審査員補助ヲ指名セサル場合ニ於テハ役員ハ不在若クハ辭職ノ審査員ヲ代理ス

第二十九條 審査員ハ斷乎ト審評ヲ下シ其決議ハ多數ニ依リ決スヘキモノトス同數ノ場合ニハ審査員之ヲ決ス審査手續ハ口供ニ記載シ其口供ハ組合ノ記録中ニ保存ス

第三十條 農業者ニシテ組合ノ區域内ニ居住ノモノ及器械器具製造人若クハ區域外ノ製造人ニシテ加入ノ如何ヲ問ハス共進會ヘ出品ヲ許ス

第三十一條 審査員ハ自ラ出品スルヲ許サス然レトモ動物農産物及器械共進會ヲ除クノ外ハ此限ニアラス

第三十二條 共進會ノ取締ハ會ノ役員ヨリ指名シタル一若クハ數名ノ取締委員ニ屬スルモノトス(組合ヲ部分ニ分テ各部ノ役員各別ハ以上ノ規則ハ各部ニ適用スヘキモノトス且本則)(若シ組合ニシテ農藝化學試驗ニ洩レタル分部ノ規則ハ特別ニ設クヘキモノトス)(若シ組合ニシテ農藝化學試驗等ヲ有セントスルハ其事務及産物)

第七項 總則

第三十三條 總テ法律、宗教、其他農業外ニ涉ル議論、演舌、廣告、チナス(合若シ雜誌ヲ發刊スルハ茲ニ發刊配賦)

第三十四條 現規則ヲ改正シ又ハ會ノ解散ニ係ル事項ハ役員若クハ會員全數五分ノ一以上ヲ代表スヘキ會員ノ集會スルニ非サレハ之ヲ議スルヲ得ス

改正按ハ改正ヲ議スヘキ會期一ヶ月前各會員ヘ議按ヲ印刷シテ各會員ニ配賦スヘキモノトス

會員招集及會議并投票ノ効力ニ關スル第十條ニ示シタル事項ハ改正按テ議スヘキ會議ニ於テ之ヲ遵奉スヘシ(規則改正及會議ノ解散ハ通帯ヨリ多クハ多數ニテ定ムルヲ得例)
ハ五分ノ三若クハ出席員ノ三分ノ二ノ如シ

第三十五條 會ノ解散原因ノ何レノ場合ヲ問ハス金庫ニ存在ノ資本、物品、書籍、陳列品、其他會ニ屬スルモノハ會ノ負債償還ノ後總會ニテ指名シタル其縣ノ農會ニ譲リ渡スヘキモノトス

第三十六條 現規則又ハ規則ニ改正ヲ要スヘキモノハ縣令ノ認可ヲ請シヘキモノトス

佛國農業總監督更正組織

農業總監督更正布告以前ニ在ル處ノ決議及布達就中千八百四十一年一月廿四日、千八百四十七年三月廿日、千八百六十一年五月廿五日、千八百七十八年三月廿四日、千八百七十九年五月二日、千八百八十年十月廿二日布達ニ依リ農業教育特別監督ニ係ル本日ノ布達ニ依リ參事院ノ議官ナル農務局長ノ報道ニ依リテ農務卿ハ左ノ條々ヲ定ム

第一條 農務總監督ハ左ノモノヲ含有ス

- 一 總監督四名
- 二 監督五名内壹名ハ特ニ「アルゼリー」ニ備フ
- 三 養蠶葡萄栽培及寄生病總監督壹名

第二條 農業總監督官吏ノ職制ハ前布達ニ示シタルモノ、如クニレテ之ヲ變更セス尤農業教育ニ係ルモノハ之ヲ除ク農業教育ノ監督ハ本日ノ布達ヲ以テ特別ノ監督官ニ之ヲ委任ス

然レハ農業現業學校動物養生所及農夫教育所ニ係ルモノハ總監督

ノ職務ニ屬ス

第三條 農務總監督官ノ俸給ハ左ノ通相定ム

第一級 總監督九千法乃至壹万法

第二級 全上六千法乃至八千法

監督官 五千法

「アルゼリー」派遣ノ農業監督官ノ俸給ハ殖民地奉職ノ爲メ増給トシテ本給ノ四分ノ一ヲ増加ス

其餘巡回費トシテ農區二個ヲ合有シタル、一部毎ニ年五千法ノ手當ヲ總監督ニ給ス

監督官ニハ農區毎ニ貳千法ノ手當ヲ給ス

此手當ハ三ヶ月毎ニ前拂トナス

總テ監督官ニシテ共進會ノ事務官長ノ職務ヲナスノ場合ニ於テハ共進會毎ニ各員ニ五百法ヲ給ス

特別ノ取調ノ場合ニ於テ監督官ニ給スヘキ手當ハ勸ノ決議ニ依

リテ之ヲ定ム

第四條 總監督ハ監督官ノ内ヨリ拔擢ス

第五條 監督官ハ左ノ項ニ依リ之ヲ採用ス

一 國立農學校國立動物養生所農業實地學校ノ校長次長、教官ニシテ六ヶ年以上勤務シタルモノ、中ヨリ

二 農業巡回教師ニシテ六ヶ年以上奉職ノモノ

三 現業學校ノ校長ニシテ十ヶ年以上勤務ノモノ

四 農業者ニシテ十ヶ年以上ノ農業實地ヲ施行シ且經驗學識ニ就キ要求スヘキ程ノ實證ヲ備ヘタルモノ

第六條 總監督ノ何タルヲ問ハスニヶ年以上同級ニ奉職セザル以上ハ上級セシムルヲ得ス

第七條 農業總監督官ハ農業教育總監督ニ轉職或ハ進級シテ轉職スルヲ得

第八條 現布達ニ抵觸ノ前決議及布達ノ條項ハ廢止トス

第九條 參事院議官ナル農務局長ハ現布達ノ施行ヲ擔任ス
千八百八十三年十二月一日巴里ニ於テ

農務卿ノリリス署名

佛國農業教育監督設置布達

農業總監督組織ニ係ル以前ノ決議及布達就中千八百四十一年一月廿四日千八百四十七年三月廿日千八百六十一年五月廿五日及千八百七十八年三月廿四日ノ布達ニ依リ參事院ノ議官ナル農務局長ノ報告ニ依リ農務大臣ハ左ノ條々ヲ定ム

第一條 農業教育總監督ヲ設置ス其職員ハ總監督ニ名監督官二名トス

第二條 此官吏ノ俸給ハ左ノ如ク之ヲ定ム

第一級總監督九千法乃至一萬法

第二級總監督六千法乃至八千法

監督官五千法

其他巡回費トシテ總監督ニ年五千法監督官ニハ年三千法ヲ定額トシテ手當ヲ給ス

此手當ハ三ヶ月毎ニ前拂トス

第三條 農業化學試驗所ノ監督ハ毎年特別監督ヲ請フヘキモノトス
卿ハ特科教育所一個若クハ數個ノ監督ノ爲メ總監督ニ高等教育專門ノ教員一名若クハ數名ヲ附隨セシムルヲ得此委任ヲ請ケタル教員ハ卿ノ決議ニ依リテ定メタル手當ヲ請フヘキモノトス

第四條 監督官ハ左ノ項目ニ依リ之ヲ採用ス

- 一 國立農業學校ノ教師ニシテ六ヶ年以上奉職シ高等教育卒業免狀若クハ國立農業學校卒業免狀ヲ有スルモノ
- 二 農業巡回教師及農業化學試驗所長ニ六ヶ年以上奉職ノモノ
- 三 農業高等教育卒業免狀ヲ有スルモノニシテ役等ノ卒業外國ニ三年以上派遣ノ許可ヲ得其職務ヲ盡シ且一個若クハ數箇ノ外國語學ヲ識リタルヲ證明スルモノ

第五條 總監督官ハ農業大學總理、教官、國立農學校長及教官ニシテ十五ヶ年以上奉職ノモノ若クハ監督官ヨリ之ヲ採用ス

第六條 總監督官ノ何タルヲ問ハスニヶ年以上同級ニ奉職セザルモノハ上級セシムルヲ得ス

監督官ハ監督職務ヲ五ヶ年以上奉職シタルモノニ非サレハ總監督官ニ進ムヲ得ス

第七條 農業教育總監督ノ官吏ハ農業總監督ニ轉職或ハ進級シテ轉職スルヲ得

第八條 現布達ニ抵觸ノ決議及布達ノ條項ハ廢止トス

第九條 參事院議官ナル農務局長現布達ノ施行ヲ担任ス

千八百八十三年十二月一日巴里ニ於テ

農務卿メリーヌ署名

法朗西國商務沿革

自千八百二十八年一月八日	商工務省
自千八百三十一年三月十三日	內務省
自千八百三十四年四月日	商工部省
自千八百三十六年二月廿二日	商務省
自千八百三十六年九月十九日	商工部省
自千八百三十九年五月十二日	工部兼農商務省
自千八百五十二年一月廿五日	農商務省
自千八百五十三年六月廿三日	內務兼農商務省
自千八百六十九年七月十七日	農商務兼工部省
自千八百八十一年十一月十四日	農商務省
自千八百八十二年一月三十日	商務兼殖民省
自千八百八十二年一月三十日	商務省
自千八百八十二年一月三十日	商務省

千八百八十五年度

○法朗西國商務省經費

通常經費

項 目	費 目	金 額
第一項	卿及本省官吏俸給	〇〇五、三二三五〇
第二項	本省用什器及雜費	〇〇一、二三〇〇〇
第三項	印刷費	〇〇二、八〇〇〇〇
第四項	工藝博物館費	〇〇四、四一一五〇
第五項	職工學校費	〇一三、〇四一〇〇
第六項	シリユーヌ時計學校	〇〇〇、五二〇〇〇
第七項	ブリー徒弟學校 <small>但アルゼリイ區</small>	〇〇〇、八六八五〇
第八項	工藝大學校 <small>官費 生徒費</small>	〇〇〇、三〇〇〇〇
第九項	商業教育費	〇〇〇、七三三五〇
第十項	技術學校補助費	〇〇一、一五〇〇〇

五百六十二

第十一項	製造所勞役小兒監督費	〇〇一、七六〇〇〇
第十二項	會社及製造所監督費	〇〇〇、三五四〇〇
第十三項	工業商業獎勵及 <small>臨時會費</small>	〇〇〇、六〇〇〇〇
第十四項	工業所有權費	〇〇〇、三六〇〇〇
第十五項	外國貿易鑒定及 <small>商標調費</small>	〇〇〇、四八〇〇〇
第十六項	海上漁業獎勵費	〇二〇、〇〇〇〇〇
第十七項	商船補助費	一〇五、〇〇〇〇〇
第十八項	度量衡役員俸給	〇一〇、八四八〇〇
第十九項	度量衡用什器及雜費	〇〇一、一四五〇〇
第二十項	「アルコー」測定檢査費	〇〇〇、三五〇〇〇
第二十一項	礦泉所役員俸給	〇〇一、〇五五〇〇
第二十二項	全什器及雜費	〇〇〇、七五〇〇〇
第二十三項	衛生事務役員俸給	〇〇三、二五〇〇〇
第二十四項	全什器及雜費	〇〇一、〇〇一〇〇

法

第廿五項	藥品店巡察費	〇〇二、五〇〇〇
第廿六項	<small>サンビエールミクロン及カナタ達ジノサントメン 殖民補助費</small>	〇〇〇、七五〇〇〇
第廿七項	アルゼリー度量衡事務費	〇〇〇、六八三〇〇
第廿八項	全礦泉所補助費	〇〇〇、〇三〇〇〇
第廿九項	全海上衛生事務費	〇〇〇、三四七二〇
第三十項	全藥品巡察費	〇〇〇、一一五〇〇
第三十一項	品年度決算濟ナラサル費用	金員無之
第三十二項	前年度經費精算費	全上
合計		一八一、七五六二〇
外ニ増補	工藝大學校費	一一、〇〇〇〇〇

卿

〇法朗西國商務省組織及事務章程

一名

官房

官房長 一名

秘書官 一名

僚屬 貳名

一到着ノ文書ヲ帳簿ニ記入シ分配ノ事

一特別文書往復ノ事

一秘密事務及ヒ他ノ局課ニ屬セサル事

一卿ノ面謁ニ係ル事務ノ事

一大統領へ呈出スヘキ事務取纏メノ事

一上院下院及參事院へ法律布告按其他ノ書類送致ノ事

一上下兩議院ノ議ニ關シ必用ノ書類取纏メノ事

一電信ノ事

一勳章下賜及昇勳ニ關スル事務ノ事

編輯兼官房次長ノ事務取扱 一名

編輯掛 二名
 受付兼雜務掛 一名
 全助 以上五名

教育事務

- 一 學術兼商業高等會ニ關スル事務ノ事
- 一 工藝博物館工藝大學校職工學校及「クリューズ」時計學校職員及事務ニ關スル事
- 一 學術及商業ニ係ル教育總監督ノ事
- 一 學術及商業學校補助金分配ノ事
- 一 徒弟學校ノ事
- 一 以上ノ學校ニ書籍圖式又ハ器械ノ寄附ニ係ル事
- 一 巴里高等商學校及內國現在ノ商法學校官金給與配當ノ事

事務長 一名

但學術及教育總監督官ヲ云

課長 一名

副課長 一名

編輯掛 二名

受付 二名

以上七名

書記兼會計局

局長 一名

第一課 中央會計

一 會計總事務ノ事

一 經費并補助經費及臨時經費案調整ノ事

一 獎勵金ノ事

- 一 經費使用及支出監督ノ事
- 一 經費仕拂及委任狀ニ關スル事
- 一 經費剩餘金ニ關スル事
- 一 縣令ノ具申調査ノ事
- 一 會計控帳簿日記彙帳月計表、ハランス「假表總計算ニ係ル事務ノ事
- 一 第二ノ命令者大藏省會計検査院往復ノ事
- 一 會計ノ現狀集合調査ノ事
- 一 簿記ノ事
- 一 會計検査院へ呈出スヘキ總計算帳及略解ニ係ル事務ノ事
- 一 毎年什器ノ計表調整公告ノ事
- 一 什器價格計表調整ノ事
- 一 會計現況及什器年表調査ノ事
- 一 學校及其他ノ官衙經費豫算取極メノ事
- 一 仕拂監督諸計算調査及精算ノ事

- 一 工藝大學校支出入監督ノ事
- 但會計検査院へ呈出スヘキ計算ノ事
- 一 會計検査院往復ノ事
- 一本省構外事務ニ従事スル官吏ノ仕拂及積金收入監督ノ事
- 一 サンビエールシクロン及カナダ逃亡ノサンロミンシク殖民補助費ノ事

課長 一名
 次長 一名
 編輯 三名
 受付 四名
 以上九名

- 第二課 總統計課
- 一年統計表ノ調整及公告ノ事

- 一 人口ノ事
- 一 人口異同調ノ事
- 一 慈善會ノ事
- 一 癡狂者ノ事
- 一 貯蓄金ノ事
- 一 質屋ノ事
- 一 公共ノ建物へ寄贈品ノ事
- 一 農工生産物ノ事
- 一 邑ノ統計委員ノ報道書ヲ集メ年々統計表調整ノ事
- 一 關稅及消費物品ノ事
- 一 職工給料調整ノ事
- 一 重ナル工業略統計調整ノ事
- 一 時々公告ニ關スル事
- 一 每五年ニ人口統計ノ事

- 一 全國年統計編纂及公告ノ事
- 課長 一名
- 編輯 三名
- 受付 二名
- 受付助 一名
- 以上七名

第三課 書記及職員

- 一 本省ノ職員進退ニ關スル事
- 一 恩給仕拂ノ事
- 記録
- 一 布告布達回章訓令其他ノ書類受入保存送附ニ係ル事務ノ事
- 一 印刷及復寫ノ事
- 一 國立印刷局へ印刷ヲ命スル事

- 一 書籍預リ場事務ノ事
- 一 諸書類受入預リ入及返戻ノ事
- 一 本省諸公告ニ關スル事
- 一 豫約出版及新聞購入ノ事
- 一 書籍購入及交換ノ事

文庫

- 一 本省ニ屬スル書籍保管及送附ノ事
- 一 書籍總目錄及各局預リ書類目錄調整ノ事
- 一 本省年報調整ノ事

金庫

- 一 俸給殖民扶助物品購入仕拂金及日給金仕拂ノ事
- 一 衛生顧問會及工業顧問會ニ係ル費用仕拂ノ事
- 一 本省官吏ノ俸給及互惠社監督員俸給表調整ノ事
- 一 仕拂ニ係ル委任狀ノ事

- 一 會計帳簿整頓ノ事
- 一 金庫帳簿及控帳簿整頓ノ事
- 一 支出帳簿編纂ノ事

物品

- 一 家屋保存及修繕事業ノ事
- 一 什器保存ノ事
- 一 室内暖爐及燈明ノ事
- 一 雇小使監督及進退ニ係ル上申ノ事
- 一 本省内ノ支出金仕拂ノ事
- 一 消耗品ノ事
- 一 注文書裏書及施行ノ事
- 一 入札拂及物品購入約束ノ事
- 一 書類郵便無稅送致ニ係ル事
- 一 各局課什器目錄調整ノ事

一 物品購入ニ係ル日記及帳簿整頓ノ事

課長 一名

次長 一名

書籍兼記録掛 一名

受付 四名

雇人取締 一名

以上八名

内國商務局

局長 一名

第一部

部長 一名

第一課 商業

一 内國商業ニ關スル法律及規則按調整ノ事

一 商法會議所ノ事

一 商法裁判所ニ係ル事

一 商業取引所設立及取締ノ事

一 商業獎勵會ノ事

一 市場港其他輻湊地商業取締及大道ニテノ商業ニ關スル規則ノ事

一 商品借庫ノ事

一 大物公賣ニ關スル事

一 商業特別取締委員ノ事

一 仲買人ヲ命スル事

一 海上仲買及保險仲買ヲ命スル事

一 仲買稅ノ事

一 合本會社ノ事

一 生命保險會社ノ事

- 一 互救會社ノ事
 - 一 貯蓄金ノ事
 - 一 互救會社監督委員ノ事
 - 一 合本會社取締委員ノ事
 - 次長ニテ課長ノ職ヲナスモノ 一名
 - 編輯但次長ノ職ヲ爲スモノ 一名
 - 全 二名
 - 受付 三名
- 以上七名
- 第二課 工務
- 一 工藝ニ關スル法律及規則案調整ノ事
 - 一 工藝顧問會及全會議所ノ事
 - 一 工業獎勵ノ事
 - 一 工業獎勵會社ノ事

- 一 工業會社ニシテ工業利益タルノ申立ニ關スル事
- 一 製造品博覽會ノ事
- 一 內國工業ニ關スル時々ノ書類編纂ノ事
- 一 工業會議ノ事
- 一 職業組合ノ事
- 一 生産及消費共同會ノ事
- 一 交互金貸會社ノ事
- 一 小民融通銀行ノ事
- 一 職工就僱簿ノ事
- 一 職工徒黨及一揆ニ關スル事
- 一 製造場事業ニ關スル事
- 一 製造場使役幼稚ノ男女取締委員會ノ事
- 一 全上監區監督官ノ事
- 一 全上縣區監督官ノ事

- 一 全上地方委員ニ關スル事
 - 一 職工徒弟條約ニ關スル事
 - 一 織物及絲曳業ニ關スル事
 - 一 製造物負傷者ニ關スル事
 - 一 全退老及負傷者扶助金ニ關スル事
 - 一 全退老金ニ關スル上等委員會ノ事
 - 一 全扶助金ニ關スル上等委員會ノ事
 - 一 絹羊毛及木綿織物改所ノ事
 - 一 絹羊毛ノ絲線及斤量改所ノ事
 - 一 銃器試驗ノ事
 - 一 全上サンテイエンス試験所ノ事
 - 一 全巴里試驗事務ノ事
- 課長 一名
- 編輯 一名

但次長ノ職チナスモノ

全 一名

受付 三名

以上六名

第二部

第一課 衛生及工業取締

- 一 衛生取締ノ事
- 一 衛生顧問會ノ事
- 一 衛生事務總監督ノ事
- 一 衛生委員ニ關スル事
- 一 檢疫所ニ關スル事
- 一 檢疫事務ノ事
- 一 衛生會ノ事

- 一 内外國ニ關スル衛生成分ノ事
- 一 傳染病ノ事
- 一 醫學校ト往復ノ事
- 一 種痘獎勵普及ノ事
- 一 衛生取締役員進退ノ事
- 一 鑛泉ノ事
- 一 鑛泉ニ關スル法律及規則ノ事
- 一 鑛泉所監督及取締ノ事
- 一 藥品營業取締ノ事
- 一 藥品及藥店監督ノ事
- 一 秘密藥品ノ事
- 一 衛生ニ係ル一般ノ處分法ノ事
- 一 危險有害及公衆ニ妨ケアル製造所取締ノ事
- 一 爆烈藥製造及貯藏ニ關スル事

- 一 メートル尺ニ關スル事
 - 一 全上萬國委員會ノ事
 - 一 度量衡調査ノ事
 - 一 度量衡調査役員ニ關スル事
 - 課長 一名
 - 次長 一名
 - 編輯 三名
 - 受付 二名
 - 全助 一名
- 以上八名

第二課 工業所有權

- 一 專賣免許ノ事
- 一 製造圖及全離形ノ事

- 一 商標登録ノ事
 - 一 商名登録ノ事
 - 一 工業所有權ニ關シ外國ノ法律書類ヲ總メ研究スル事
 - 一 專賣免許公告會ノ事
 - 一 工業所有權官報發刊ノ事
 - 課長 一名
 - 次長 一名
 - 編輯 三名
 - 受付 九名
 - 以上拾四名
- 外國貿易ニ關スル商務局
局長 一名

第一部
部長 一名

第一課 稅關法律及稅率

- 一 商工上等會ノ事
- 一 商業及航海條約ノ事
- 一 稅關法律及稅率調整ノ事
- 一 全上施行ニ關スル苦情ニ係ル事
- 一 輸入品鑒定所ノ事
- 一 商業稅關及問稅事務上ニ係ル爭訟鑒定委員ニ係ル事
- 一 臨時輸入許可ノ事
- 一 稅表ニ洩レタル稅ヲ定ムル事
- 一 工藝顧問會トノ往復ノ事
- 一 商品借庫及「ドック」設置又ハ制度ニ關スル事
- 一 外國貿易年報ニ佛國稅格及稅格施行ニ關スル事件公告ノ事

課長 一名
 次長 一名
 編輯 四名
 受付 三名
 以上九名

第二課 外國商法律及稅格

- 一 外國商業律及海上律ニ係ル文書并通商條約ニ係ル文書蒐集ノ事
 - 一 外國稅格及航海法律ノ反譯又ハ研究ノ事
 - 一 外國商業律及稅格ノ佛國商業ニ關シ苦情アルモノ調査ノ事
 - 一 外國商業年報及官報ニ外國ノ航海ニ係ル方法掲載ノ事
- 課長 一名
 次長 一名
 編輯 三名

受付 一名
 以上六名

第三課 船舶

- 一 商船ニ係ル法律及布告按調整ノ事(船籍、噸數、航海律)
 - 一 造船及航海ニ關スル保護金仕拂ノ事
 - 一 鯨獵營獎勵ノ事
 - 一 全上保護金仕拂ノ事
 - 一 移住會社身元許可及保證金額定メノ事
- 課長 一名
 編輯 一名
 受付 三名
 以上五名

第二部

長 一名

第四課 商業及航海ノ景況

- 一 各國航海商業工業ニ係ル公文及其他ノ文書蒐集ノ事
- 一 全上ノ公文其他ノ文書領事具狀ノ事項ヲ研究鑒別ノ事
- 一 外國市上景況ニ係ル往復ノ事
- 一 反譯ノ事
- 一 外國貿易年報及官報ニ外國商況掲載ノ事
- 一 外國ニ商業派遣者事業ノ事
- 一 物品ノ見本及検査ノ事
- 一 税關價格定メ常置會ノ事
- 一 萬國博覽會ノ事
- 一 佛國領事ノ報告雜誌刊行ノ事

課長	一名
次長	一名
編輯	一名
受付	二名
以上五名	

第五課 商業報告

- 一 商業報告發刊ノ事
- 一 全上官報掲載ノ事
- 一 公告スヘキ文書ヲ各課ヨリ纏ムル事
- 一 卿ヨリ下附ノ文書ヲ研究鑒別ノ事
- 一 商業及經濟ニ係ル公告書類ヲ蒐集鑒別ノ事
- 一 外國刊行ノ書類反譯ノ事
- 一 外國ニテ大ナル入札ニ係ル意見ノ事